

厚 木 市
子ども・子育て支援事業二一ズ調査
報 告 書
《 概 要 版 》

令和6年3月

厚 木 市

I 調査の概要

1. 調査の目的	3
2. 調査対象	3
3. 抽出方法	3
4. 調査期間	3
5. 調査方法	3
6. 回収状況	3
7. 報告書の見方	4

II 未就学児調査結果

1. お住まいの地域について	7
(1) 居住地区	7
2. 宛名のお子さんご家族の状況について	8
(1) 宛名の子どもの年齢	8
(2) 宛名の子どものきょうだい数	8
(3) 記入者	9
(4) 記入者の配偶者有無	9
(5) 子育てを主に行っている人	9
(6) 現在の暮らしの状況	10
(7) 暮らしの状況が苦しい理由	10
3. 保護者の就労状況について	11
(1) 保護者の就労状況	11
(2) 1週当たりの就労日数、1日当たりの就労時間	12
(3) 家を出る時刻と帰宅時刻	14
(4) パートタイムで就労している人の今後の就労意向	15
(5) 未就労者の今後の就労意向	16
4. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	18
(1) 定期的な教育・保育事業の利用状況	18
(2) 定期的に利用している教育・保育事業	18
(3) 定期的に利用している教育・保育事業の利用頻度	19
(4) 利用している教育・保育事業の実施場所	21
(5) 平日に定期的に教育・保育事業を利用している理由	21
(6) 定期的に教育・保育事業を利用していない理由	22
(7) 「こども誰でも通園制度」の開始に伴う保育所等の利用希望	23
(8) 平日の教育・保育事業の今後の利用意向	23
(9) 教育・保育事業を利用したい場所	24
(10) 幼稚園の利用希望	24

目 次

5. 地域の子育て支援事業の利用状況について	25
(1) 地域子育て支援拠点事業の利用状況	25
(2) 地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向	26
(3) 子育て支援事業の利用状況	28
6. 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について	31
(1) 土曜日、休日の教育・保育事業の利用希望	31
(2) 教育・保育事業をたまに利用したい理由	32
(3) 幼稚園が長期休暇期間中の際の教育・保育事業の利用希望	32
(4) 長期休暇期間中に教育・保育事業をたまに利用したい理由	33
7. 病気の際の対応について	34
(1) 子どもが病気やケガで通常の事業が利用できなかった経験の有無	34
(2) 教育・保育事業が利用できなかった場合の対処方法	34
(3) 病児・病後児保育施設等の利用希望	36
(4) 病児・病後児保育の望ましい事業形態	37
(5) 病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由	38
(6) 子どもが病気やケガのときに仕事を休んで看たいと思ったか	38
(7) 仕事を休んで看ることが難しい理由	38
8. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	39
(1) 不定期に利用している預かり事業	39
(2) 不定期に預かり事業を利用していない理由	40
(3) 不定期の預かり事業の利用希望	41
(4) 不定期の預かり事業の望ましい事業形態	42
(5) 短期入所生活援助事業等の利用希望	43
9. 小学校就学後の放課後の過ごし方について	45
(1) 希望する放課後の過ごし方（小学校低学年）	45
(2) 希望する放課後の過ごし方（小学校高学年）	47

Ⅲ 小学5年児童・中学2年生徒調査結果

1. お住まいの地域について	51
(1) 居住地区	51
2. 宛名のお子さんご家族の状況について	52
(1) 学年	52
(2) 性別	52
(3) 同居家族	53
(4) 自分自身について	54
(5) 食事の頻度	55
(6) ふだんの就寝時間	56
(7) 困っていることや悩みごとがあるときの相談相手	56
(8) 生活の満足度	57
(9) 家庭生活について	58

(10) 日常生活について	59
(11) 安心できる居場所	61
(12) 孤独感について	62
(13) 「社会のために役立つことをしたい」と思うか	63
(14) 将来について明るい希望の有無	63
(15) 家での時間の使い方	64
(16) 外出の頻度	64
(17) 現在の外出状況になってからの期間	65
(18) 現在の外出状況になった年齢	65
(19) 現在の外出状況になった理由	66
(20) 最近6ヵ月間の家族以外の人との会話	67
(21) ヤングケアラーの認知度	67
(22) ヤングケアラーを知ったきっかけ	68
3. 学校での生活状況	69
(1) 学校の授業以外での学習状況	69
(2) 学校の授業でのわからないことの有無	70
(3) 希望する進学先	70
(4) 進学先の希望理由	71
(5) 学校の部活動や地域のスポーツクラブ等への参加状況	71
(6) 学校の部活動や地域のスポーツクラブ等に参加していない理由	72
(7) 社会のために役立つことをしたいと思うか	72
(8) 将来について明るい希望の有無	73
(9) 施設等の利用状況	74
(10) 施設等を利用したことによる変化	75

I 調査の概要

I 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、子ども・子育て支援法に基づき 2025 年度から 2029 年度までの 5 年間を計画期間とした「第 4 期厚木市子ども・子育て支援事業計画」を策定するに当たり、確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」の算出等に活用するため、ニーズの現状を把握し、分析を行う。また、「自治体子ども計画」策定に向け、こどもの貧困等の実態調査を目的とする。

2. 調査対象

- (1) 未就学児調査 市内在住の小学校入学前の子どもがいる保護者 2,000 人
- (2) 就学児童調査 市内在住の小学生の子どもがいる保護者 2,000 人
- (3) 小学 5 年児童・中学 2 年生徒調査 市内在住の小学 5 年生及び中学 2 年生 2,000 人

3. 抽出方法

年齢別、地域別の分析が可能となるように、令和 5 年 11 月 1 日時点で住民基本台帳から未就学児・就学児童の保護者及び小学 5 年生・中学 2 年生を無作為に抽出した。

4. 調査期間

令和 5 年 12 月 1 日（金）～12 月 28 日（木）

5. 調査方法

アンケート調査票の郵送による配付・回収

6. 回収状況

調査区分	母集団数	標本数	有効回収数	有効回収率
未就学児	8,499	2,000	862	43.1%
就学児童	12,500	2,000	832	41.6%
小学 5 年児童・中学 2 年生徒	3,836	2,000	787	39.4%

7. 報告書の見方

- (1) 集計は、小数第2位を四捨五入しているため、数値の合計が100%にならない場合がある。
- (2) 設問の回答数(基数)は、(n)で表示している。
- (3) 回答の比率(%)は、その設問の回答数を基数として算出しているため、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100%を超える場合がある。
- (4) 回答数(n)が30未満のものは、基数が少なく誤差が大きくなるため、一部を除き本文では触れていない。
- (5) 未就学児のクロス集計の年齢区分は以下の通りとなっている。

年齢	生年月日	年齢	生年月日
0歳	2022年4月以降	3歳	2019年4月～2020年3月
1歳	2021年4月～2022年3月	4歳	2018年4月～2019年3月
2歳	2020年4月～2021年3月	5歳	2017年4月～2018年3月

Ⅱ 未就学児調査結果

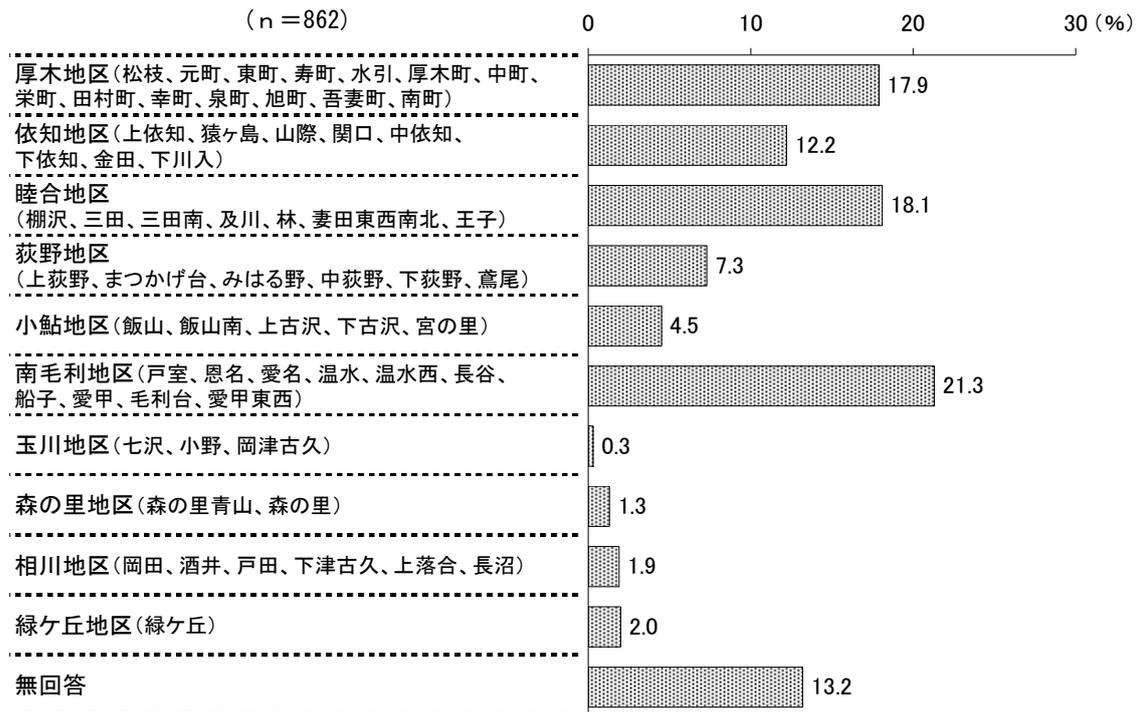
Ⅱ 未就学児調査結果

1. お住まいの地域について

(1) 居住地区

問1 お住まいの地区として当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。

居住地区は、「南毛利地区」が21.3%で最も高く、次いで「睦合地区」が18.1%、「厚木地区」が17.9%、「依知地区」が12.2%となっている。

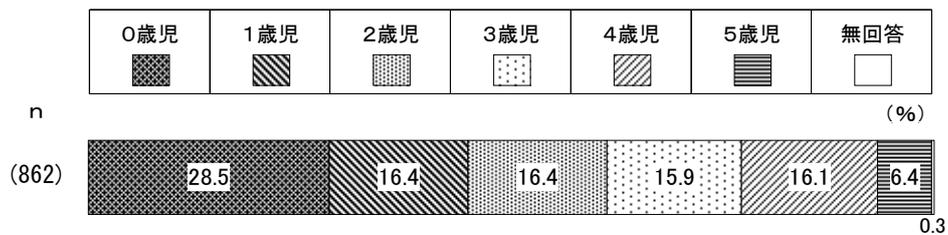


2. 宛名のお子さんご家族の状況について

(1) 宛名の子どもの年齢

問2 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。

宛名の子どもの年齢は、「0歳児」が28.5%で最も高く、次いで「1歳児」と「2歳児」がともに16.4%、「4歳児」が16.1%となっている。



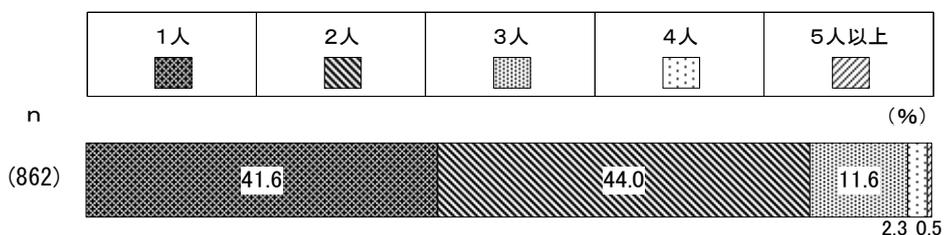
(2) 宛名の子どものきょうだい数

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

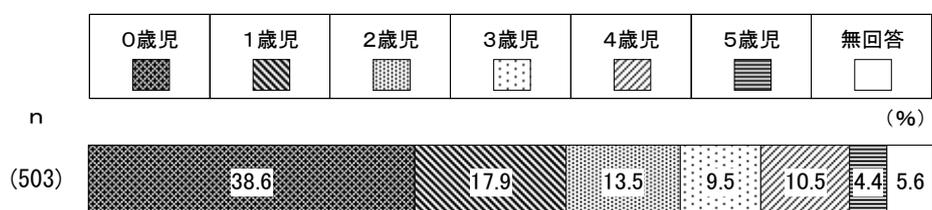
宛名の子どものきょうだい数は、「2人」が44.0%で最も高く、次いで「1人」が41.6%、「3人」が11.6%、「4人」が2.3%となっている。

末子の年齢は、「0歳児」が38.6%で最も高く、次いで「1歳児」が17.9%、「2歳児」が13.5%、「4歳児」が10.5%となっている。

【きょうだい数】



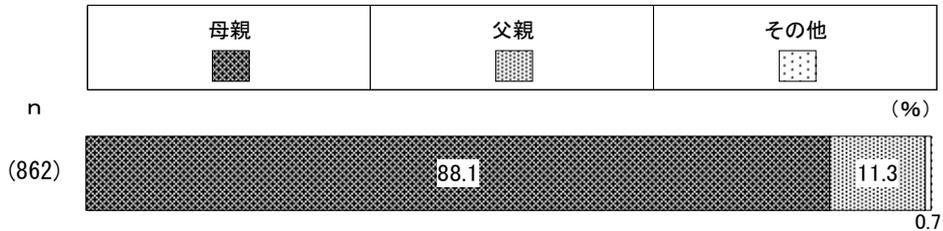
【末子の年齢】



(3) 記入者

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

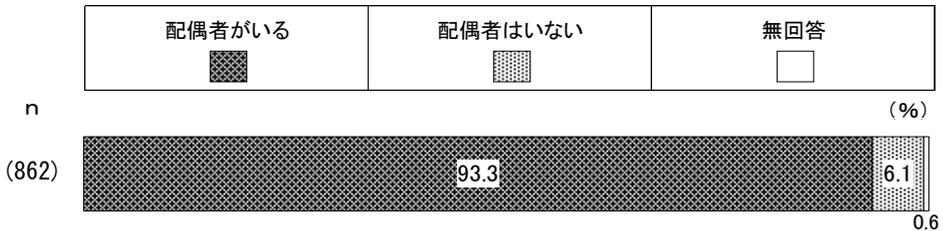
調査票の記入者は、「母親」が88.1%、「父親」は11.3%となっている。



(4) 記入者の配偶者有無

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

調査票の記入者の配偶者有無は、「配偶者がいる」が93.3%、「配偶者はいない」は6.1%となっている。

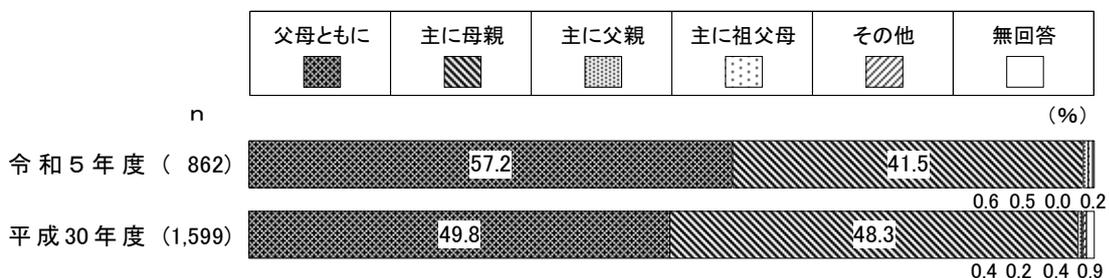


(5) 子育てを主に行っている人

問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

子育てを主に行っている人は、「父母ともに」が57.2%で最も高く、次いで「主に母親」が41.5%となっている。

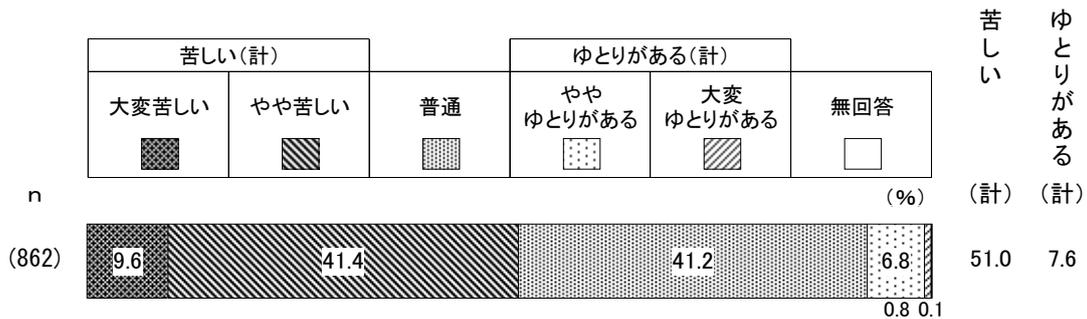
平成30年度調査と比較すると、「父母ともに」は7.4ポイント増加している。一方、「主に母親」は6.8ポイント減少している。



(6) 現在の暮らしの状況

問7 あなたは、ご家庭の現在の暮らしの状況（人・お金・時間など）をどのように感じていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

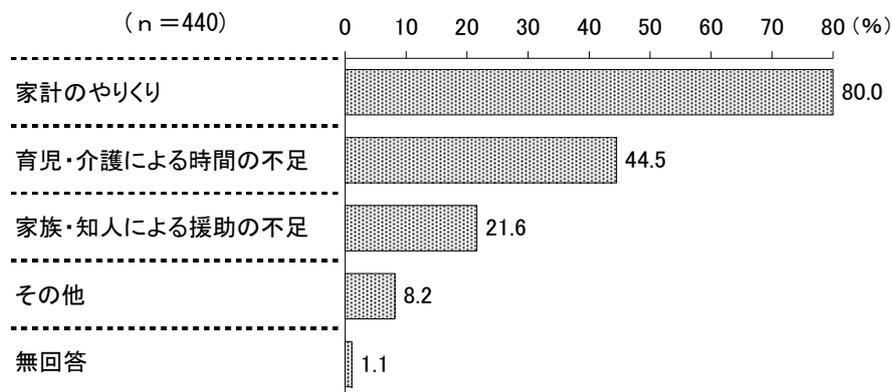
現在の暮らしの状況は、「大変苦しい」(9.6%)と「やや苦しい」(41.4%)を合わせた『苦しい(計)』は51.0%となっている。一方、「ややゆとりがある」(6.8%)と「大変ゆとりがある」(0.8%)を合わせた『ゆとりがある(計)』は7.6%となっている。また、「普通」は41.2%となっている。



(7) 暮らしの状況が苦しい理由

問8 問7で「大変苦しい」または「やや苦しい」に○をつけた方にうかがいます。苦しいと回答した理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

暮らしの状況が苦しい理由は、「家計のやりくり」が80.0%で最も高く、次いで「育児・介護による時間の不足」が44.5%、「家族・知人による援助の不足」が21.6%となっている。



3. 保護者の就労状況について

(1) 保護者の就労状況

問14 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

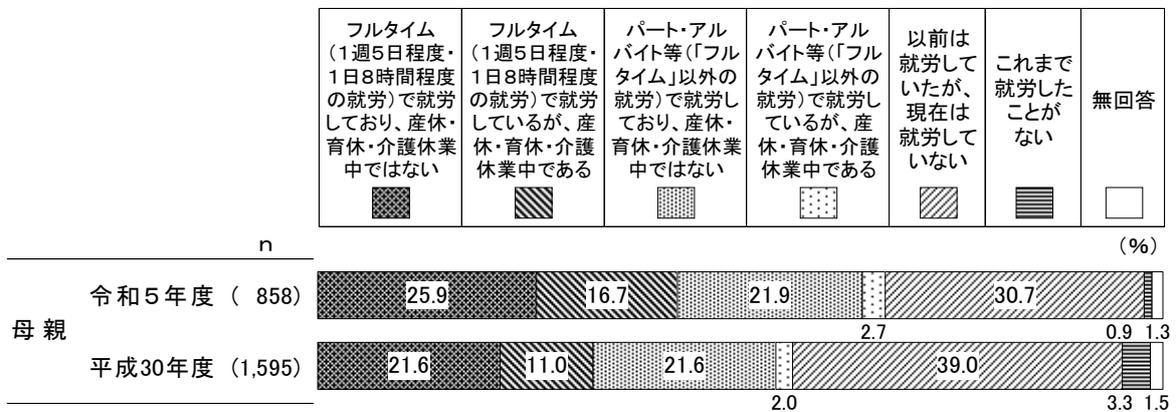
保護者の現在の就労状況は、母親では、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が30.7%で最も高く、次いで「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が25.9%、「パート・アルバイト等（『フルタイム』以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が21.9%となっている。

平成30年度調査と比較すると、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」は5.7ポイント、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」は4.3ポイント、それぞれ増加している。一方、「以前は就労していたが、現在は就労していない」は8.3ポイント減少している。

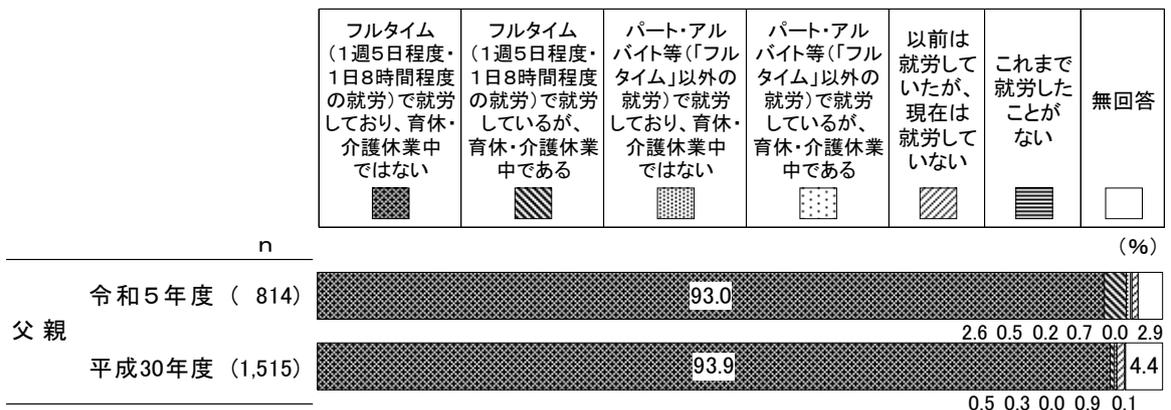
父親では、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が93.0%で最も高く、次いで「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・介護休業中である」が2.6%となっている。

平成30年度調査と比較すると、大きな違いはみられない。

(1) 母親



(2) 父親



(2) 1週当たりの就労日数、1日当たりの就労時間

問14-1 問14で「就労している」に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週当たりの就労日数は、母親では、「5日」が70.1%で最も高く、次いで「4日」が16.1%、「3日」が5.9%となっている。

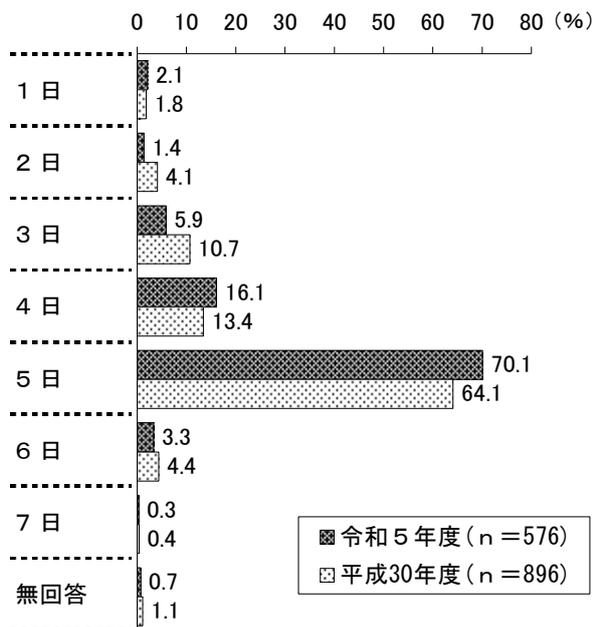
平成30年度調査と比較すると、「5日」は6.0ポイント増加している。一方、「3日」は4.8ポイント減少している。

父親では、「5日」が74.9%で最も高く、次いで「6日」が18.8%、「3日」が1.9%となっている。

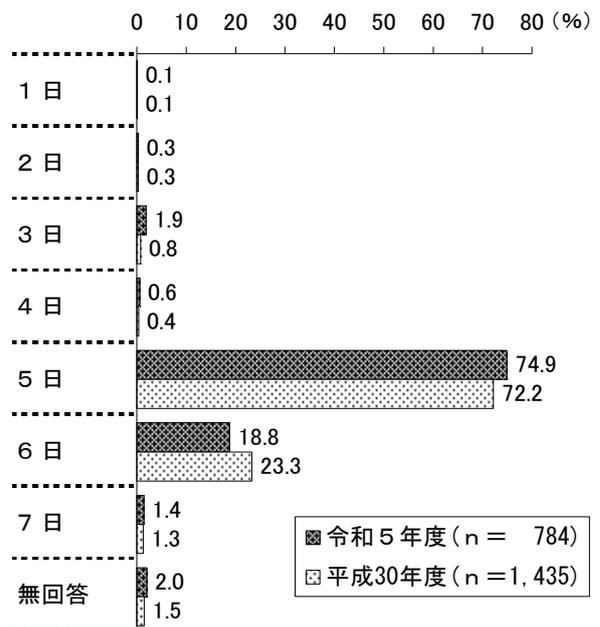
平成30年度調査と比較すると、「6日」は4.5ポイント減少している。

【1週当たりの就労日数】

(1) 母親



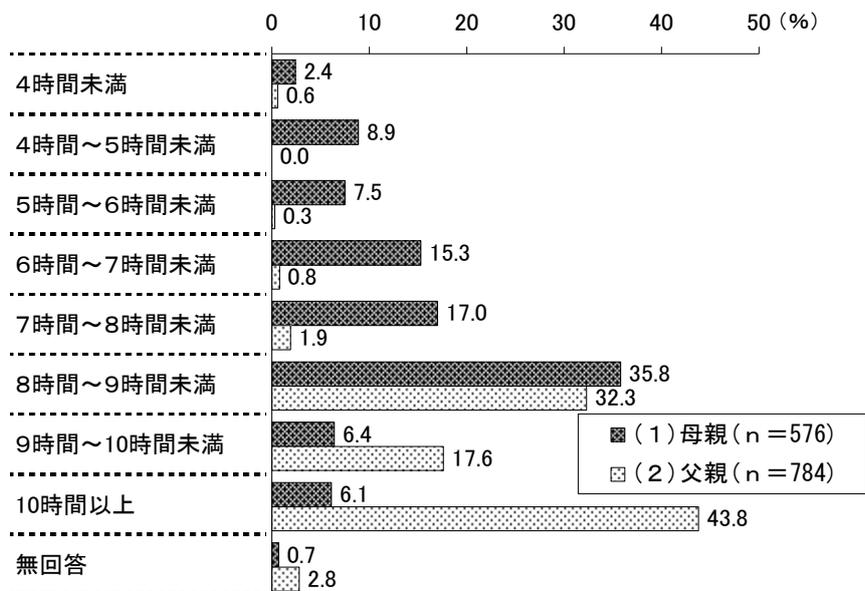
(2) 父親



1日当たりの就労時間は、母親では、「8時間～9時間未満」が35.8%で最も高く、次いで「7時間～8時間未満」が17.0%、「6時間～7時間未満」が15.3%となっている。

父親では、「10時間以上」が43.8%で最も高く、次いで「8時間～9時間未満」が32.3%、「9時間～10時間未満」が17.6%となっている。

【1日当たりの就労時間】



(3) 家を出る時刻と帰宅時刻

問14-2 問14で「就労している」に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

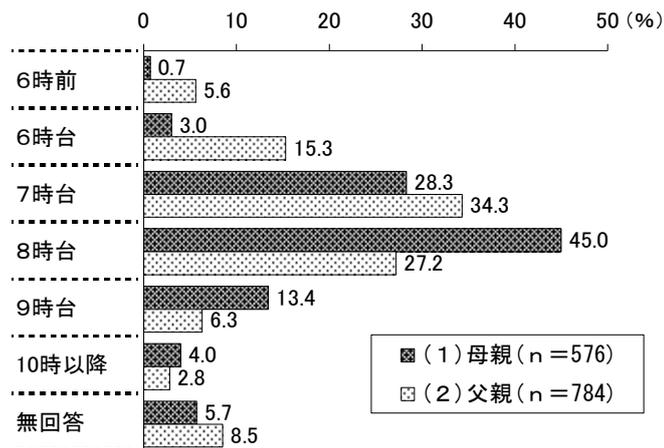
家を出る時刻は、母親では、「8時台」が45.0%で最も高く、次いで「7時台」が28.3%、「9時台」が13.4%となっている。

父親では、「7時台」が34.3%で最も高く、次いで「8時台」が27.2%、「6時台」が15.3%となっている。

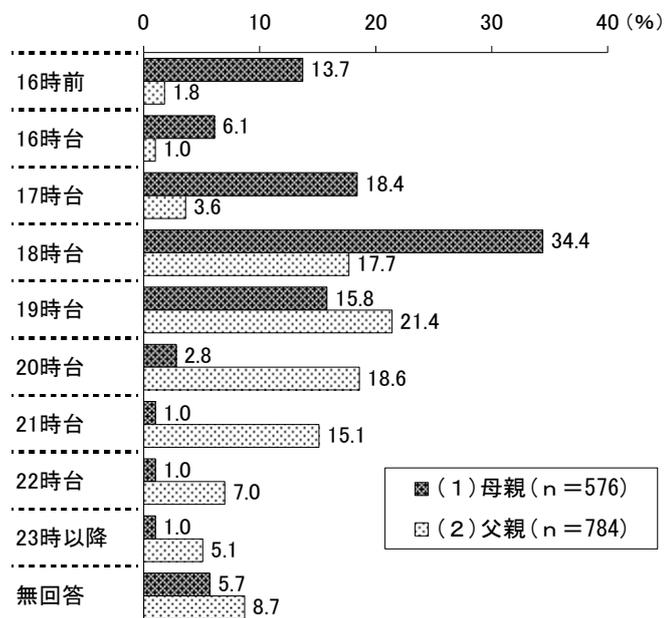
帰宅時刻は、母親では、「18時台」が34.4%で最も高く、次いで「17時台」が18.4%、「19時台」が15.8%となっている。

父親では、「19時台」が21.4%で最も高く、次いで「20時台」が18.6%、「18時台」が17.7%となっている。

【家を出る時刻】



【帰宅時刻】



(4) パートタイムで就労している人の今後の就労意向

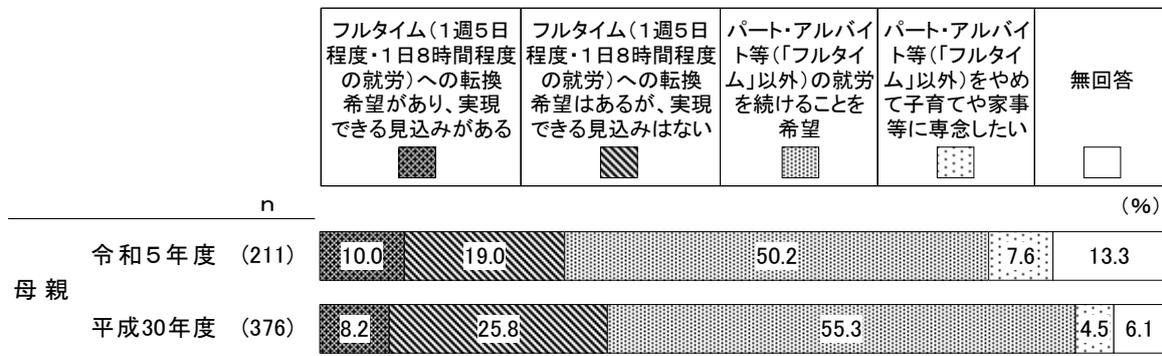
問15 問14で「パート・アルバイト等で就労している」に○をつけた方にうかがいます。フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

パートタイムで就労している人の今後の就労意向は、母親では、「パート・アルバイト等（『フルタイム』以外）の就労を続けることを希望」が50.2%で最も高く、次いで「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が19.0%となっている。

平成30年度調査と比較すると、「パート・アルバイト等（『フルタイム』以外）をやめて子育てや家事等に専念したい」は3.1ポイント増加している。一方、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」は6.8ポイント、「パート・アルバイト等（『フルタイム』以外）の就労を続けることを希望」は5.1ポイント、それぞれ減少している。

父親では、「パート・アルバイト等（『フルタイム』以外）の就労を続けることを希望」が3件、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある」、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」、「無回答」がそれぞれ1件ずつとなっている。

(1) 母親



(5) 未就労者の今後の就労意向

問16 問14で「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください。

未就労者の今後の就労意向は、母親では、「1年より先、一番下の子どもが□歳になったところに就労したい」が49.1%で最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が25.8%となっている。

平成30年度調査と比較すると、大きな違いはみられない。

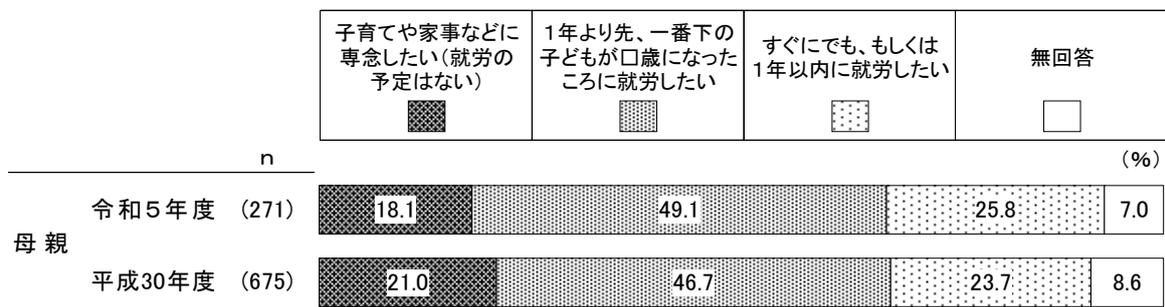
父親では、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が2件、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が1件、「無回答」が3件となっている。

就労を希望するときの末子の年齢は、母親では、「2歳～3歳」が41.4%で最も高く、次いで「6歳～7歳」が24.8%、「4歳～5歳」が12.8%となっている。

父親は回答対象者がいない。

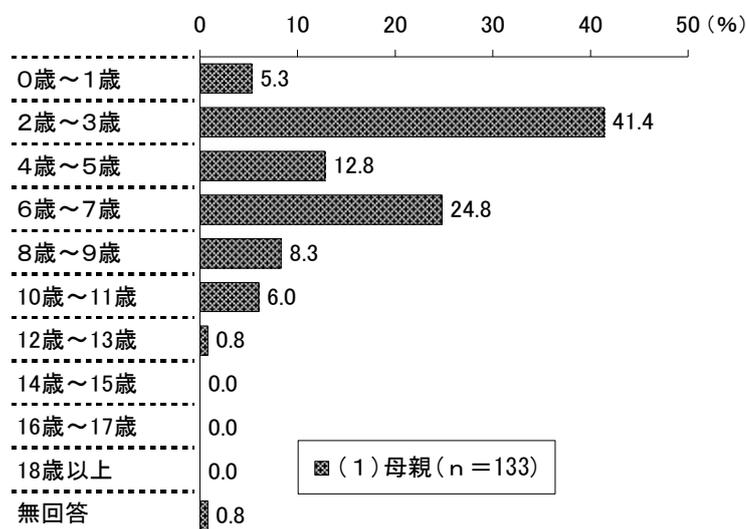
【今後の就労意向】

(1) 母親



【就労を希望するときの末子の年齢】

(1) 母親



希望する就労形態は、母親では、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」が25.7%、「パートタイム、アルバイト等（『フルタイム』以外）」は74.3%となっている。

父親では、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」が2件となっている。

パートタイム、アルバイト等 1週当たりの希望就労日数は、母親では、「3日」が50.0%で最も高く、次いで「4日」が30.8%、「5日」が13.5%となっている。

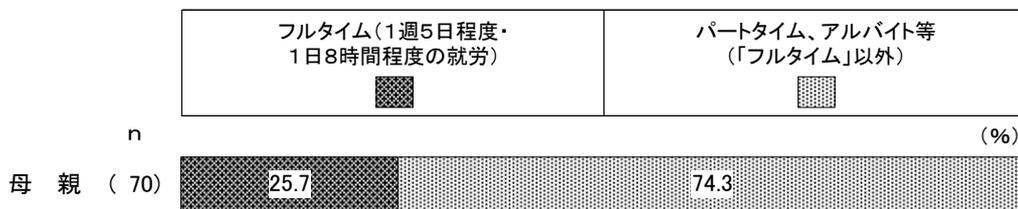
父親は回答対象者がいない。

パートタイム、アルバイト等 1日当たりの希望就労時間は、母親では、「5時間～6時間未満」が55.8%で最も高く、次いで「4時間～5時間未満」が26.9%、「6時間～7時間未満」が9.6%となっている。

父親は回答対象者がいない。

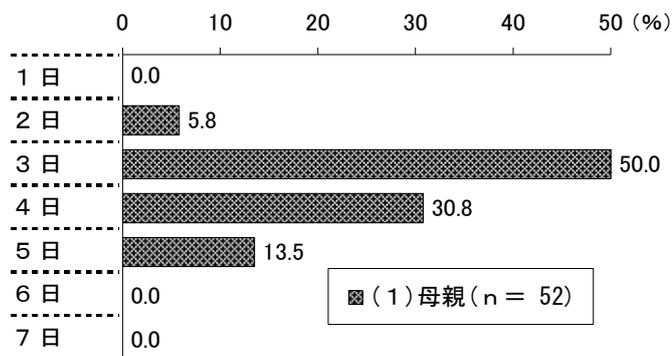
【希望する就労形態】

(1) 母親



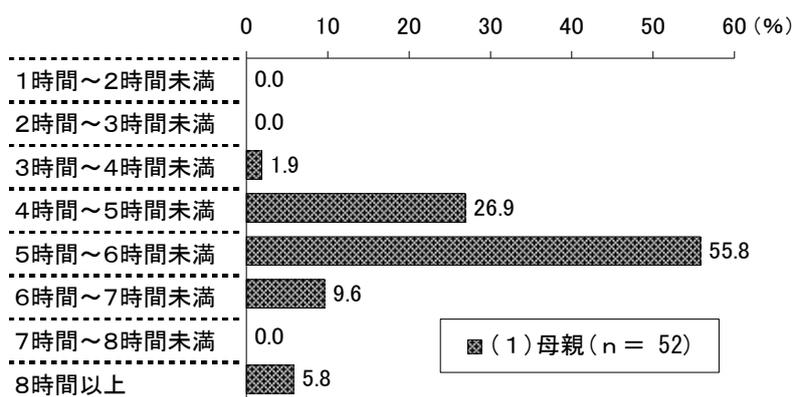
【パートタイム、アルバイト等 1週当たりの希望就労日数】

(1) 母親



【パートタイム、アルバイト等 1日当たりの希望就労時間】

(1) 母親



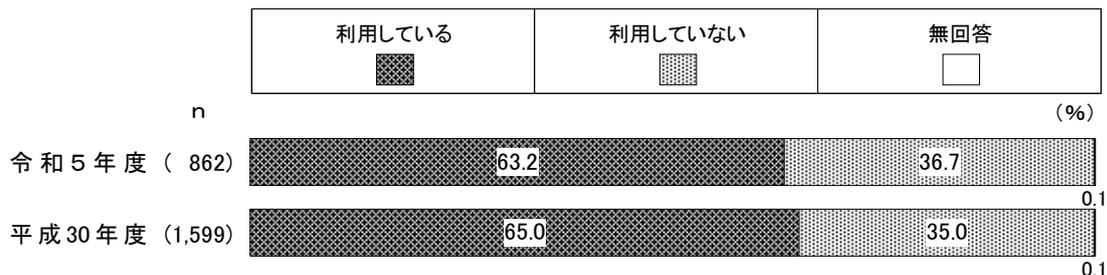
4. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

(1) 定期的な教育・保育事業の利用状況

問17 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

定期的な教育・保育事業の利用状況は、「利用している」が63.2%、「利用していない」は36.7%となっている。

平成30年度調査と比較すると、大きな違いはみられない。

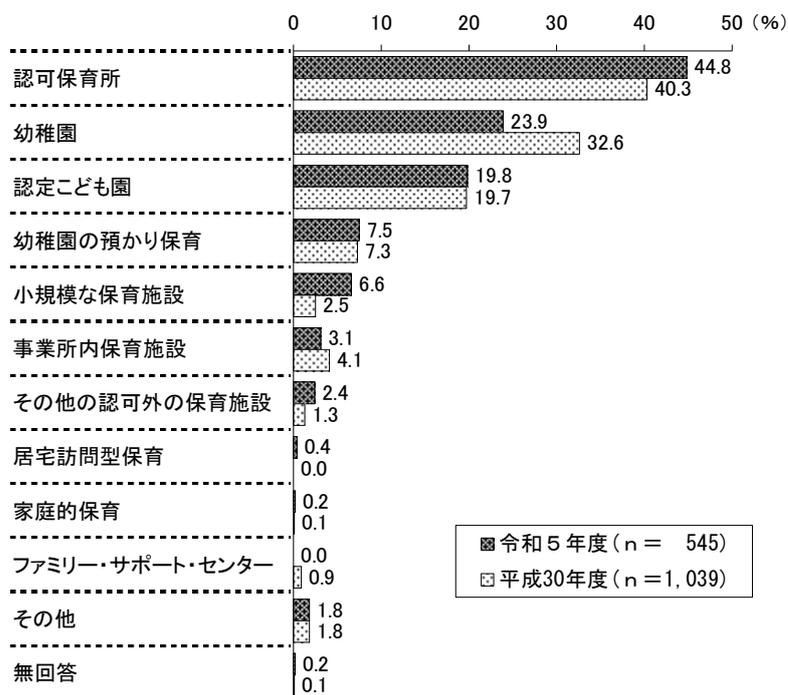


(2) 定期的にご利用している教育・保育事業

問17-1 問17で「利用している」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的」にご利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

定期的にご利用している教育・保育事業は、「認可保育所」が44.8%で最も高く、次いで「幼稚園」が23.9%、「認定こども園」が19.8%となっている。

平成30年度調査と比較すると、「認可保育所」は4.5ポイント、「小規模な保育施設」は4.1ポイント、それぞれ増加している。一方、「幼稚園」は8.7ポイント減少している。



(3) 定期的に利用している教育・保育事業の利用頻度

問17-2 問17で「利用している」に○をつけた方にうかがいます。平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、口内に具体的な数字でご記入ください。

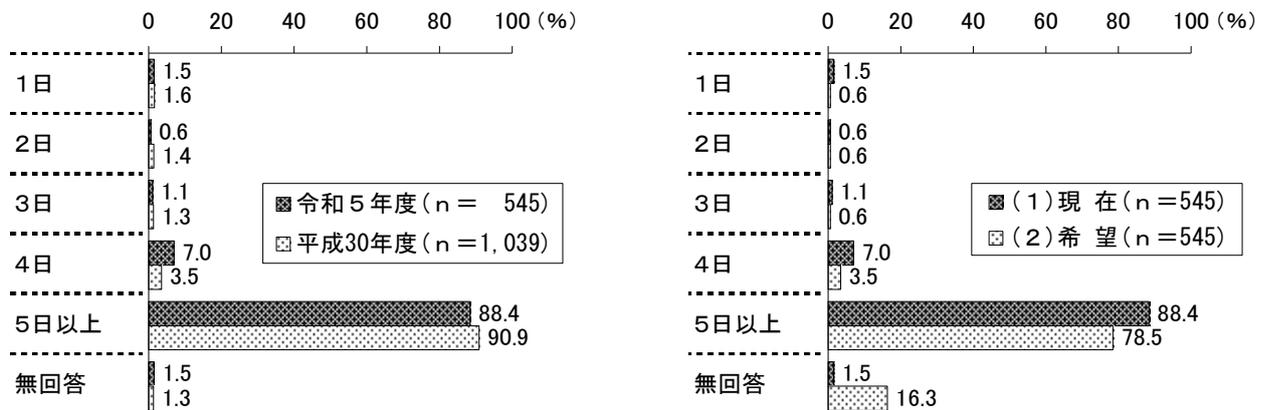
定期的に利用している教育・保育事業の1週当たりの利用日数は、「5日以上」が88.4%で最も高く、次いで「4日」が7.0%となっている。

平成30年度調査と比較すると、「4日」は3.5ポイント増加している。

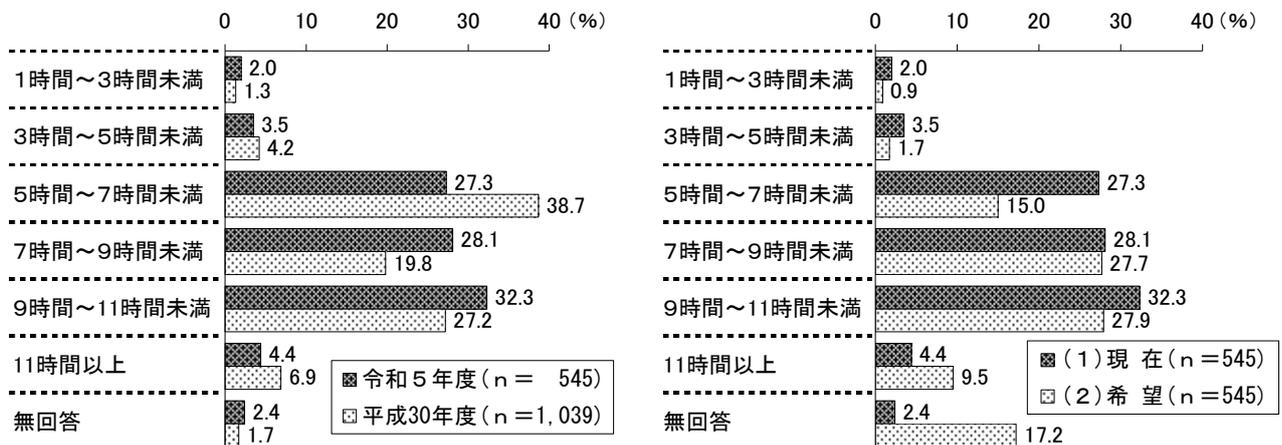
1日当たりの利用時間は、「9時間～11時間未満」が32.3%で最も高く、次いで「7時間～9時間未満」が28.1%、「5時間～7時間未満」が27.3%となっている。

平成30年度調査と比較すると、「7時間～9時間未満」は8.3ポイント、「9時間～11時間未満」は5.1ポイント、それぞれ増加している。一方、「5時間～7時間未満」は11.4ポイント減少している。

【1週当たりの利用日数】



【1日当たりの利用時間】



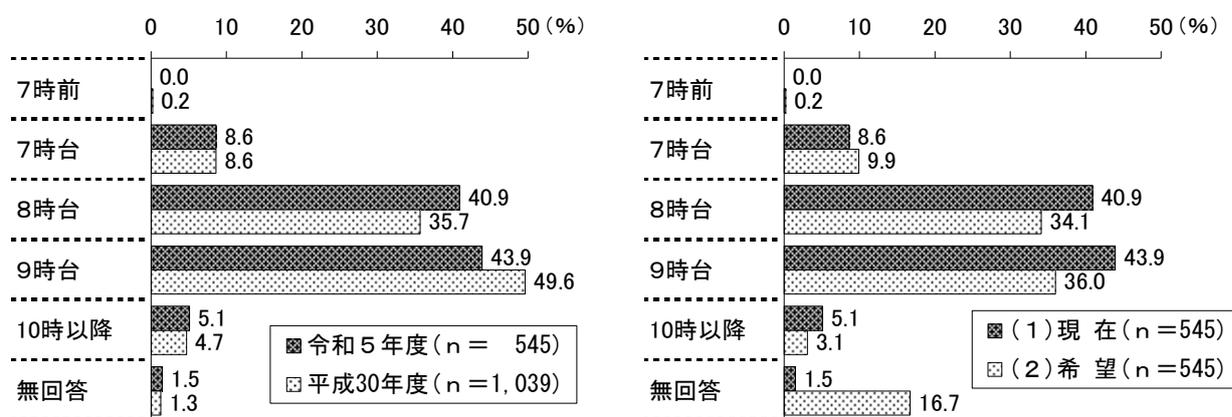
利用開始時刻は、「9時台」が43.9%で最も高く、次いで「8時台」が40.9%となっている。

平成30年度調査と比較すると、「8時台」は5.2ポイント増加している。一方、「9時台」は5.7ポイント減少している。

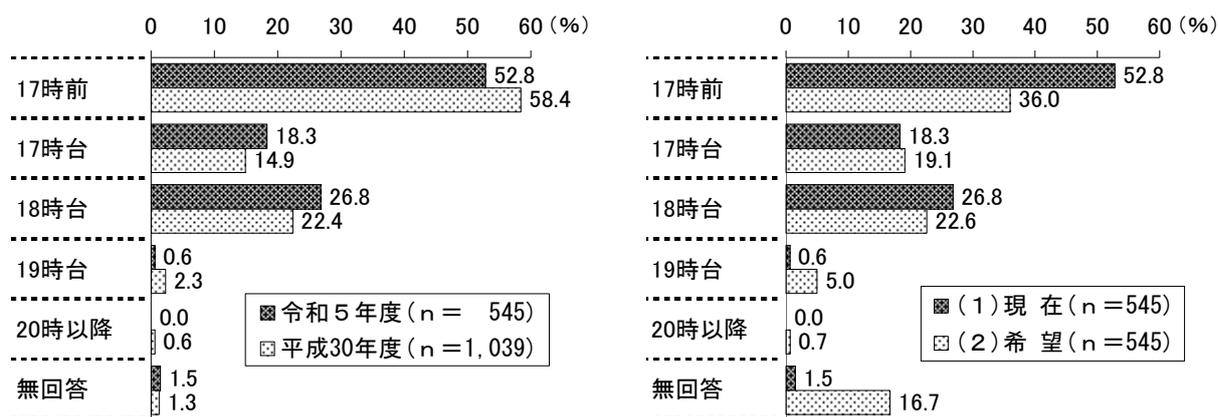
利用終了時刻は、「17時前」が52.8%で最も高く、次いで「18時台」が26.8%、「17時台」が18.3%となっている。

平成30年度調査と比較すると、「18時台」は4.4ポイント、「17時台」は3.4ポイント、それぞれ増加している。一方、「17時前」は5.6ポイント減少している。

【利用開始時刻】



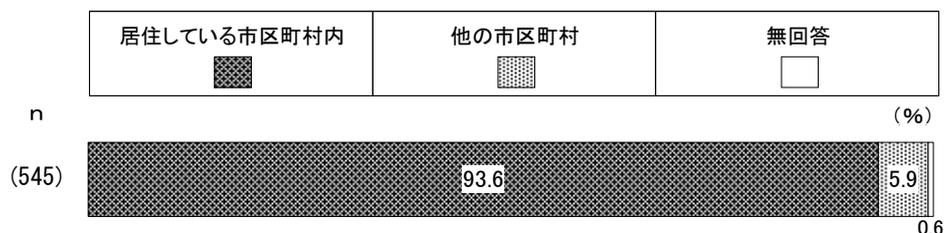
【利用終了時刻】



(4) 利用している教育・保育事業の実施場所

問17-3 問17で「利用している」に○をつけた方にうかがいます。現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。いずれかに○をつけてください。

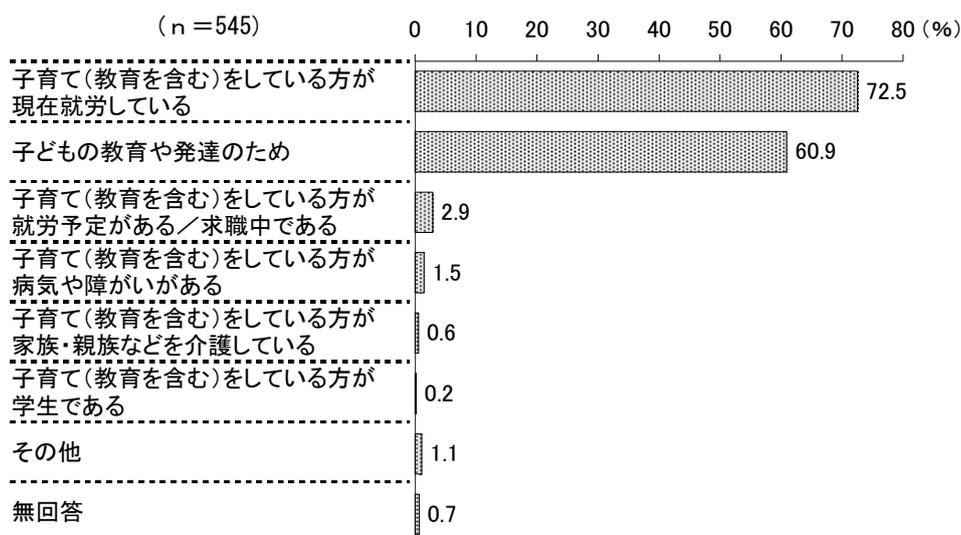
利用している教育・保育事業の実施場所は、「居住している市区町村内」が93.6%、「他の市区町村」は5.9%となっている。



(5) 平日に定期的に教育・保育事業を利用している理由

問17-4 問17で「利用している」に○をつけた方にうかがいます。平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

平日に定期的に教育・保育事業を利用している理由は、「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している」が72.5%で最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」が60.9%となっている。



(6) 定期的に教育・保育事業を利用していない理由

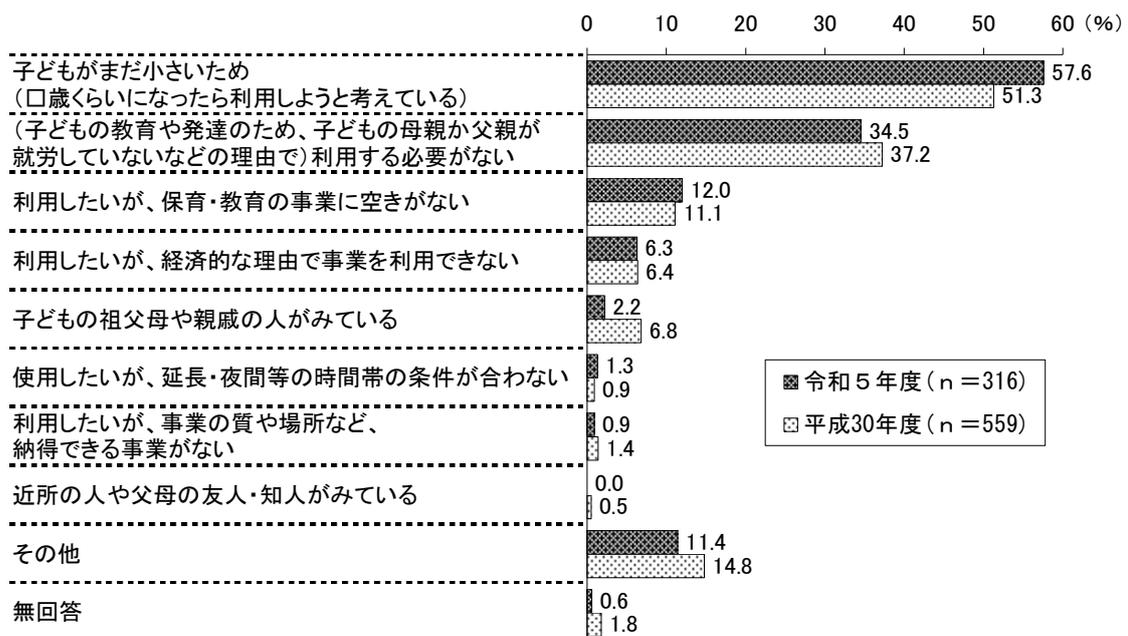
問17-5 問17で「利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。理由としてもっとも当てはまる番号すべてに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください。

定期的に教育・保育事業を利用していない理由は、「子どもがまだ小さいため」が57.6%で最も高く、次いで「利用する必要がない」が34.5%、「利用したいが、保育・教育の事業に空きがない」が12.0%となっている。

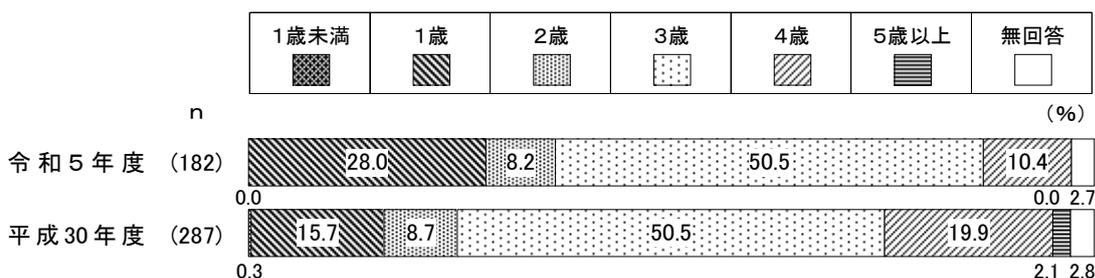
平成30年度調査と比較すると、「子どもがまだ小さいため」は6.3ポイント増加している。一方、「子どもの祖父母や親戚の人がみている」は4.6ポイント減少している。

「子どもがまだ小さいため」と答えた方の、利用したい年齢は、「3歳」が50.5%で最も高く、次いで「1歳」が28.0%、「4歳」が10.4%、「2歳」が8.2%となっている。

平成30年度調査と比較すると、「1歳」は12.3ポイント増加している。一方、「4歳」は9.5ポイント減少している。



【利用したい年齢】



(7) 「こども誰でも通園制度」の開始に伴う保育所等の利用希望

問17-6 問17で「利用していない」に○をつけた方にうかがいます。こども誰でも通園制度が始まったら、保育所等を利用したいですか。いずれかに○をつけてください。

「こども誰でも通園制度」の開始に伴う保育所等の利用希望は、「利用する」が66.5%、「利用しない」は27.8%となっている。

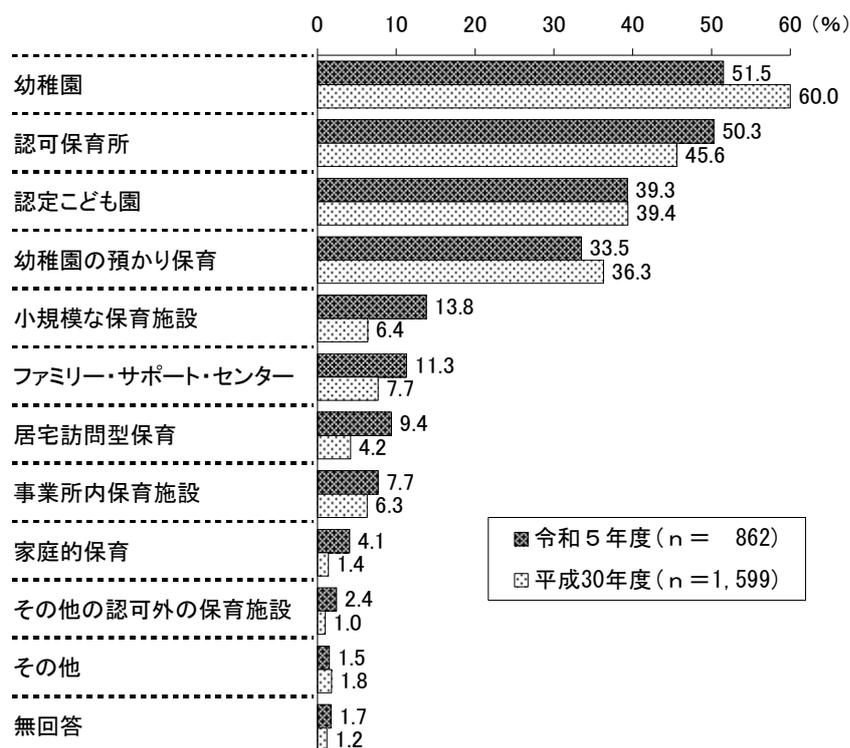


(8) 平日の教育・保育事業の今後の利用意向

問18 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

平日の教育・保育事業の今後の利用意向は、「幼稚園」が51.5%で最も高く、次いで「認可保育所」が50.3%、「認定こども園」が39.3%、「幼稚園の預かり保育」が33.5%となっている。

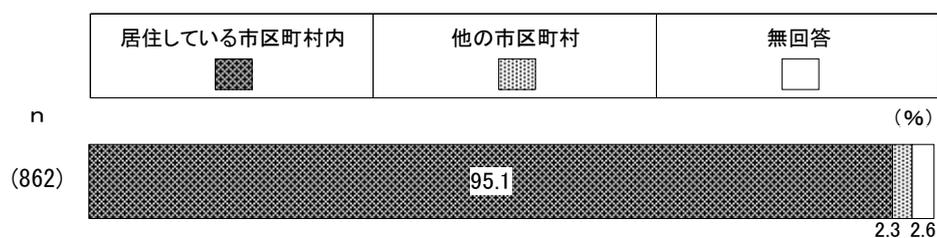
平成30年度調査と比較すると、「小規模な保育施設」は7.4ポイント、「居宅訪問型保育」は5.2ポイント、それぞれ増加している。一方、「幼稚園」は8.5ポイント減少している。



(9) 教育・保育事業を利用したい場所

問18-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。いずれかに○をつけてください。

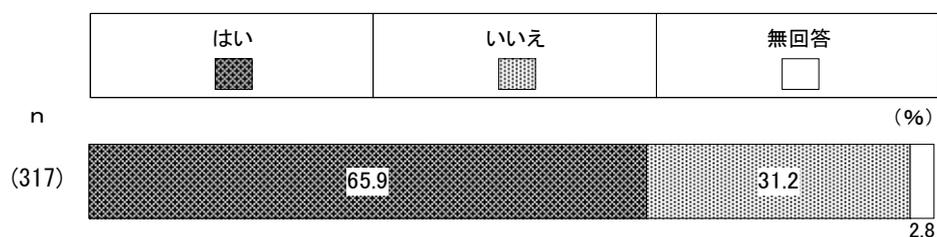
教育・保育事業を利用したい場所は、「居住している市区町村内」が95.1%、「他の市区町村」は2.3%となっている。



(10) 幼稚園の利用希望

問18-2 問18で「幼稚園」または「幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ「認可保育所」「認定こども園」「小規模な保育施設」「家庭的保育」「事業所内保育施設」「その他の認可外の保育施設」「居宅訪問型保育」「ファミリー・サポート・センター」「その他」にも○をつけた方にうかがいます。特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。当てはまる番号に○をつけてください。

幼稚園の利用希望は、「希望する（はい）」が65.9%、「希望しない（いいえ）」は31.2%となっている。



5. 地域の子育て支援事業の利用状況について

(1) 地域子育て支援拠点事業の利用状況

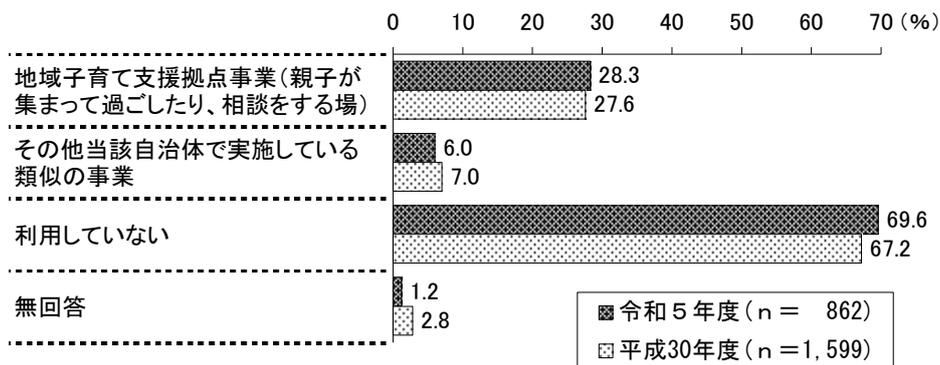
問19 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「子育て支援センターもみじの手」、「ほっとれもんてい」等と呼ばれています）を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を□内に数字でご記入ください。

地域子育て支援拠点事業の利用状況は、「地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）」が28.3%、「その他当該自治体で実施している類似の事業」は6.0%となっている。一方、「利用していない」は69.6%となっている。

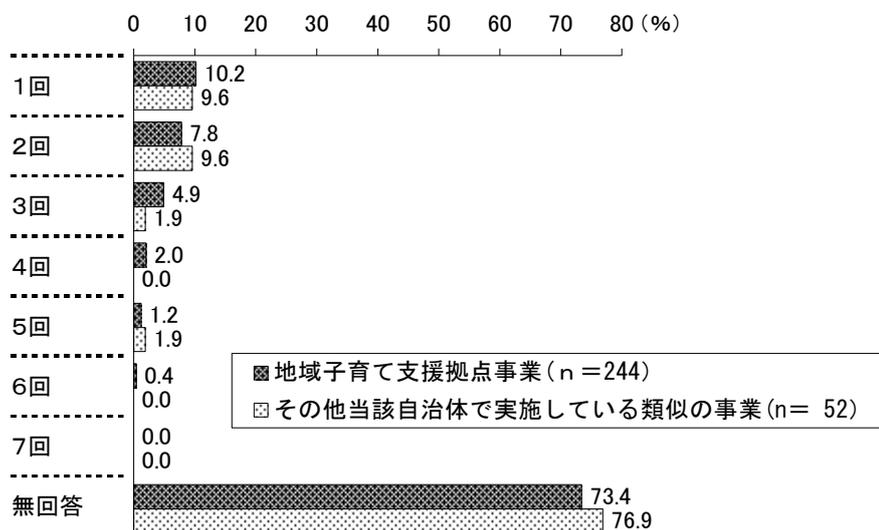
平成30年度調査と比較すると、大きな違いはみられない。

1週当たりの利用回数は、地域子育て支援拠点事業では、「1回」が10.2%で最も高く、次いで「2回」が7.8%、「3回」が4.9%となっている。

その他当該自治体で実施している類似の事業では、「1回」と「2回」がともに9.6%で高くなっている。



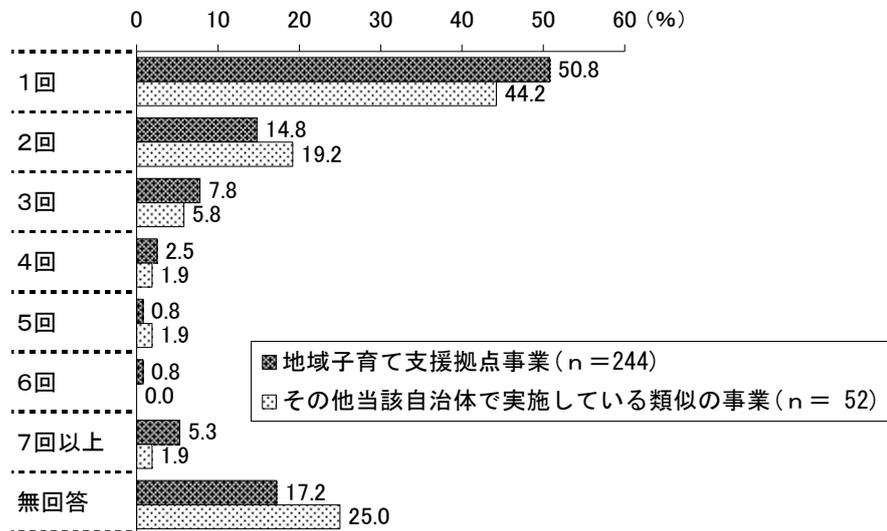
【1週当たりの利用回数】



1ヶ月当たりの利用回数は、地域子育て支援拠点事業では、「1回」が50.8%で最も高く、次いで「2回」が14.8%、「3回」が7.8%となっている。

その他当該自治体で実施している類似の事業では、「1回」が44.2%で最も高く、次いで「2回」が19.2%、「3回」が5.8%となっている。

【1ヶ月当たりの利用回数】

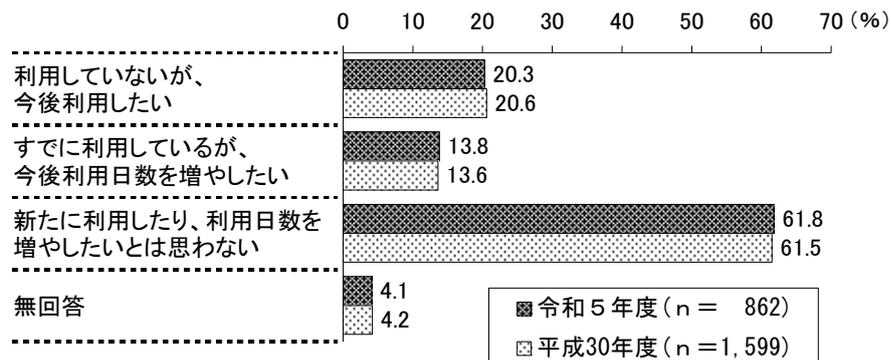


(2) 地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向

問20 問19のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけて、おおよその利用回数(頻度)を口内に数字でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向は、「利用していないが、今後利用したい」が20.3%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」は13.8%となっている。一方、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」は61.8%となっている。

平成30年度調査と比較すると、大きな違いはみられない。



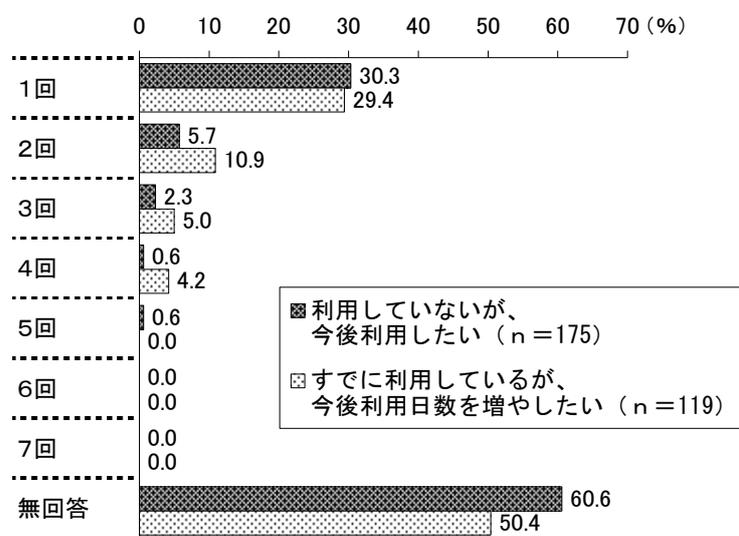
「利用していないが、今後利用したい」と答えた人の1週当たりの利用希望回数は、「1回」が30.3%で最も高く、次いで「2回」が5.7%、「3回」が2.3%となっている。

「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」と答えた人の1週当たりの利用希望回数は、「1回」が29.4%で最も高く、次いで「2回」が10.9%、「3回」が5.0%となっている。

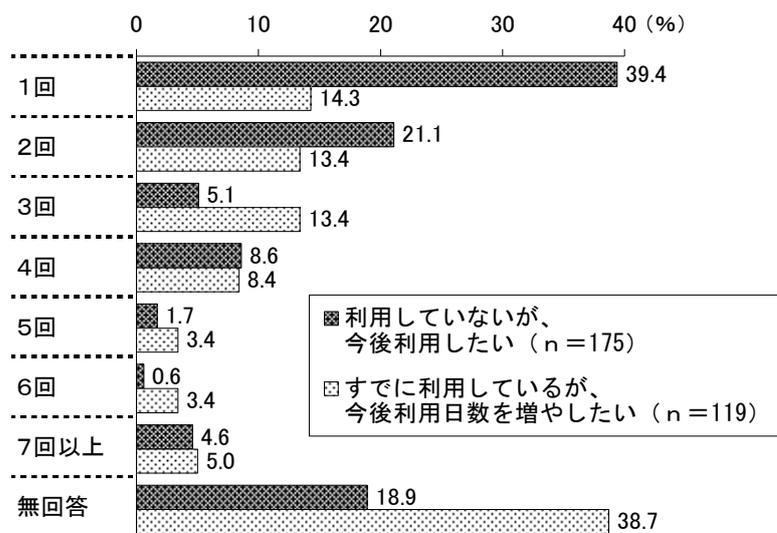
「利用していないが、今後利用したい」と答えた人の1ヶ月当たりの利用希望回数は、「1回」が39.4%で最も高く、次いで「2回」が21.1%、「4回」が8.6%となっている。

「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」と答えた人の1ヶ月当たりの利用希望回数は、「1回」が14.3%で最も高く、次いで「2回」と「3回」がともに13.4%となっている。

【1週当たりの利用希望回数】



【1ヶ月当たりの利用希望回数】



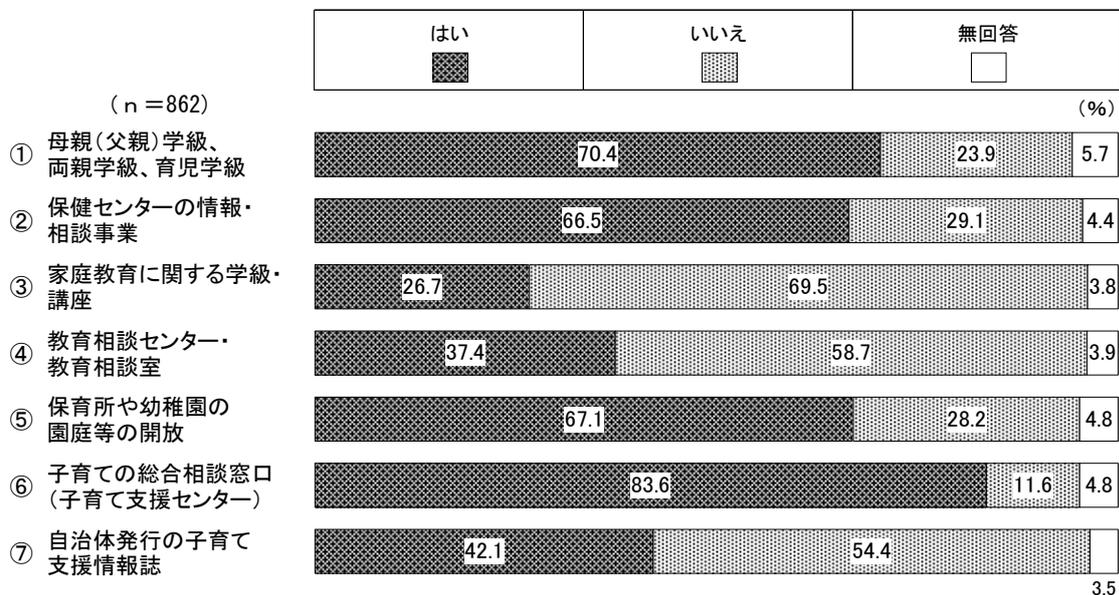
(3) 子育て支援事業の利用状況

問21 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑦の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

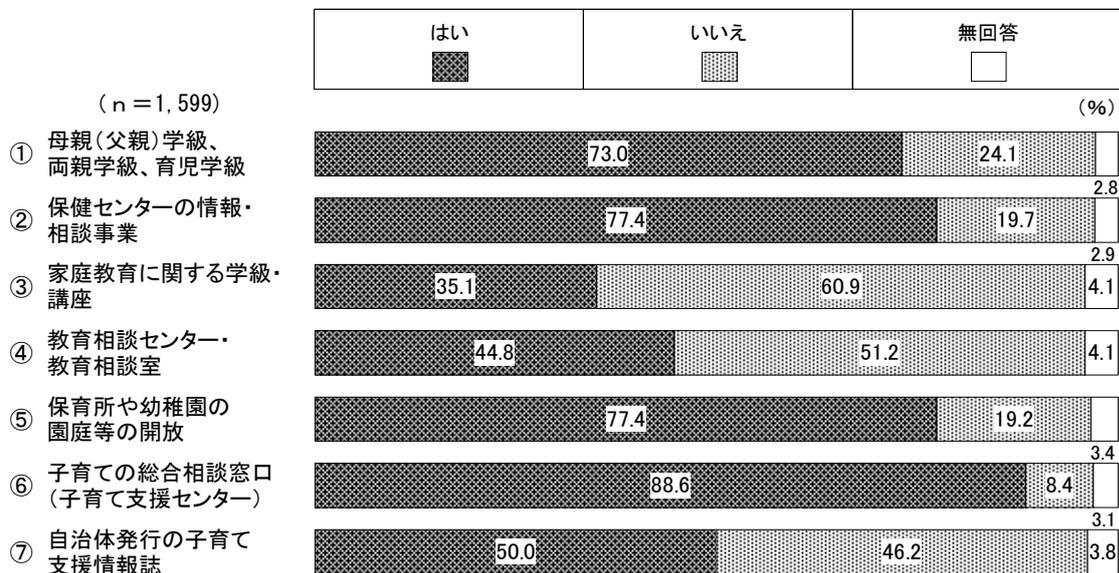
子育て支援事業の認知度について、「知っている（はい）」は“子育ての総合相談窓口（子育て支援センター）”で83.6%と最も高くなっている。一方、「知らない（いいえ）」は“家庭教育に関する学級・講座”で69.5%と最も高くなっている。

平成30年度調査と比較すると、「知らない」は“保健センターの情報・相談事業”で9.4ポイント、“家庭教育に関する学級・講座”で8.6ポイント、それぞれ増加している。

【A 認知度（知っている）】



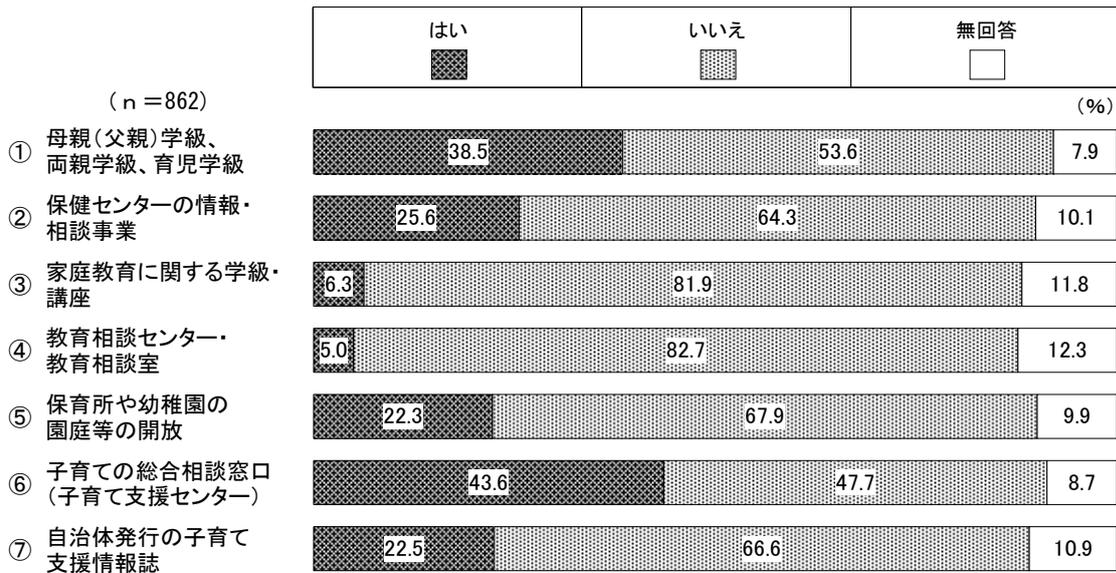
<平成30年度調査>



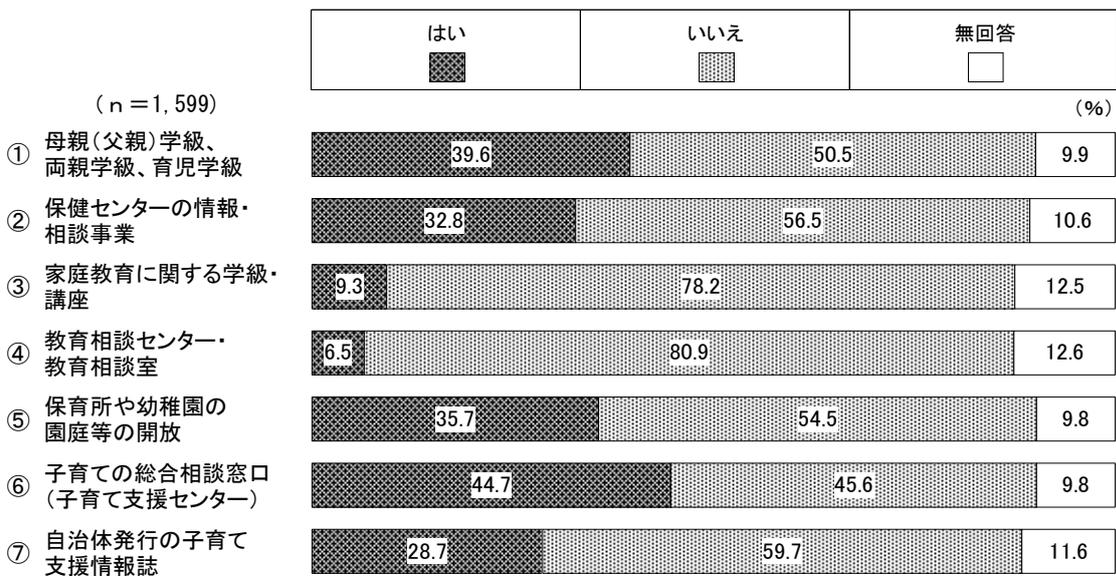
子育て支援事業の利用状況について、「これまでに利用したことがある（はい）」は“子育ての総合相談窓口（子育て支援センター）”で43.6%と最も高くなっている。一方、「利用したことはない（いいえ）」は“教育相談センター・教育相談室”で82.7%と最も高くなっている。

平成30年度調査と比較すると、「利用したことはない」は“保育所や幼稚園の園庭等の開放”で13.4ポイント、“保健センターの情報・相談事業”で7.8ポイント、それぞれ増加している。

【B 利用状況（これまでに利用したことがある）】



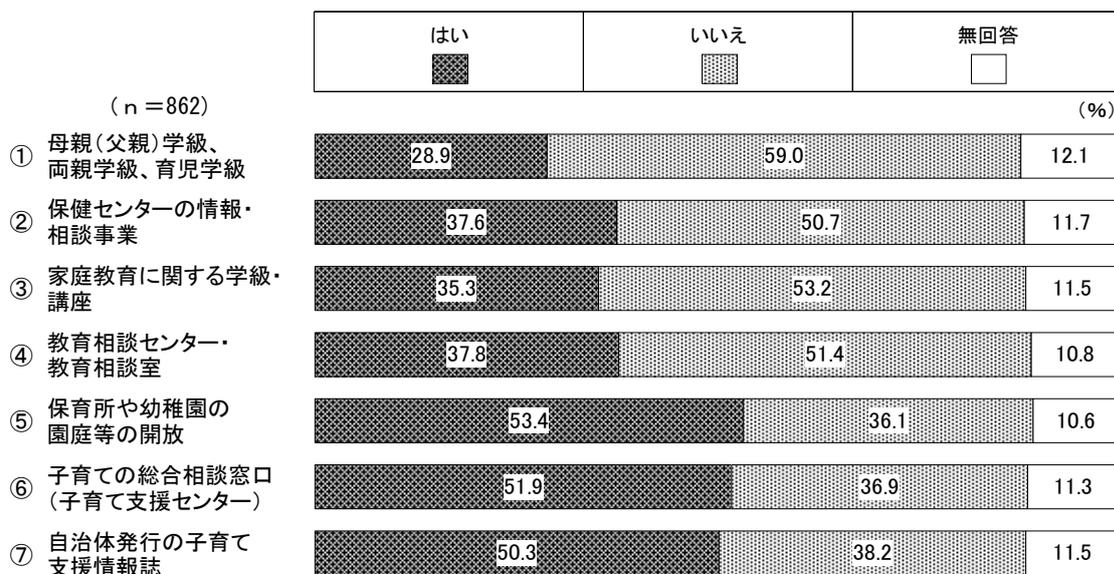
<平成30年度調査>



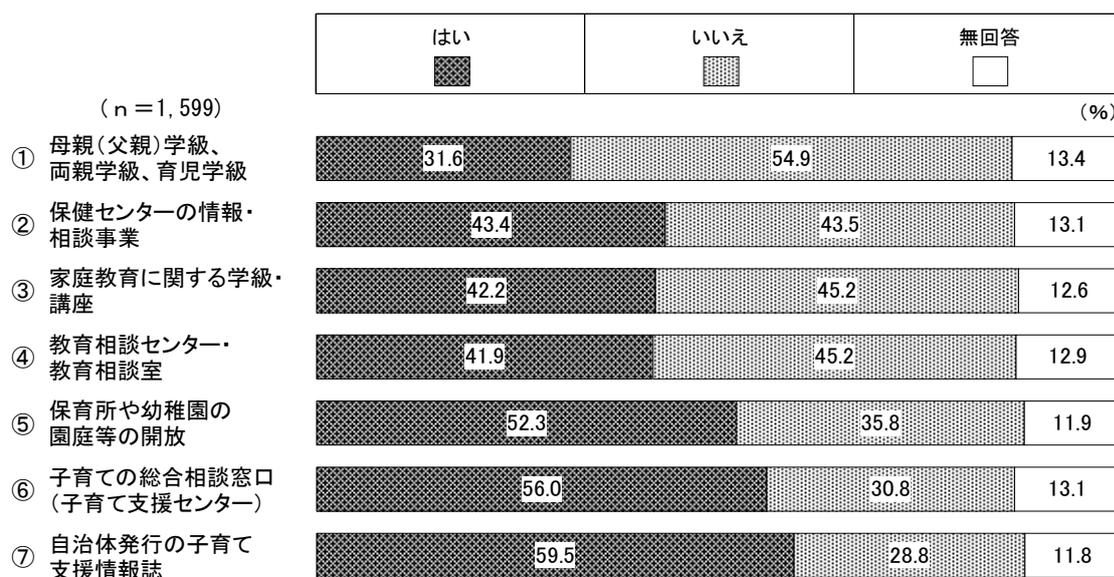
子育て支援事業の利用意向について、「今後利用したい（はい）」は“保育所や幼稚園の園庭等の開放”で53.4%と最も高くなっている。一方、「利用したくない（いいえ）」は“母親（父親）学級、両親学級、育児学級”で59.0%と最も高くなっている。

平成30年度調査と比較すると、「利用したくない」は“自治体発行の子育て支援情報誌”で9.4ポイント、“家庭教育に関する学級・講座”で8.0ポイント、それぞれ増加している。

【C 利用意向（今後利用したい）】



<平成30年度調査>



6. 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

(1) 土曜日、休日の教育・保育事業の利用希望

問22 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。当てはまる番号1つに○をつけ、希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

土曜日、休日の教育・保育事業の利用希望は、土曜日では、「利用する必要はない」が65.3%となっている。一方、「ほぼ毎週利用したい」は7.4%、「月に1～2回は利用したい」は26.6%となっている。

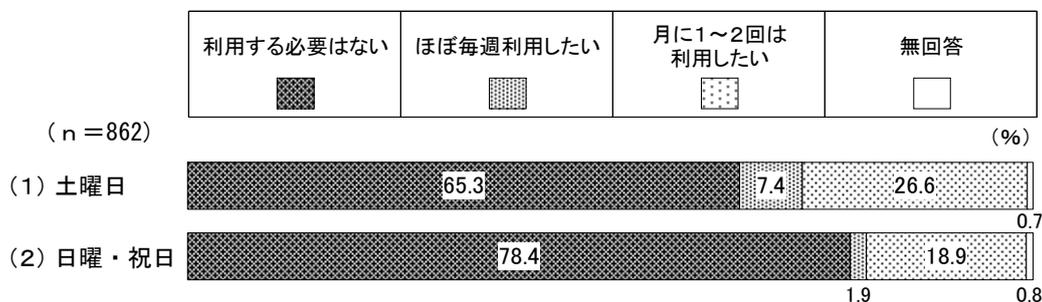
日曜・祝日では、「利用する必要はない」が78.4%となっている。一方、「ほぼ毎週利用したい」は1.9%、「月に1～2回は利用したい」は18.9%となっている。

利用開始時刻は、土曜日では、「9時台」が43.0%で最も高く、次いで「8時台」が35.5%となっている。

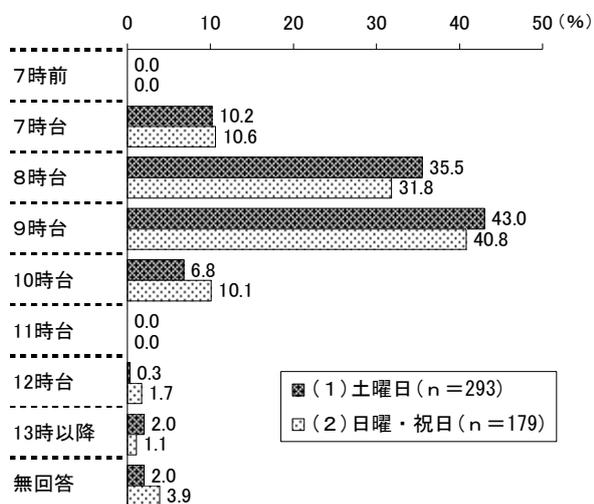
日曜・祝日では、「9時台」が40.8%で最も高く、次いで「8時台」が31.8%となっている。

利用終了時刻は、土曜日では、「18時台」が25.9%で最も高く、次いで「17時台」が25.3%となっている。

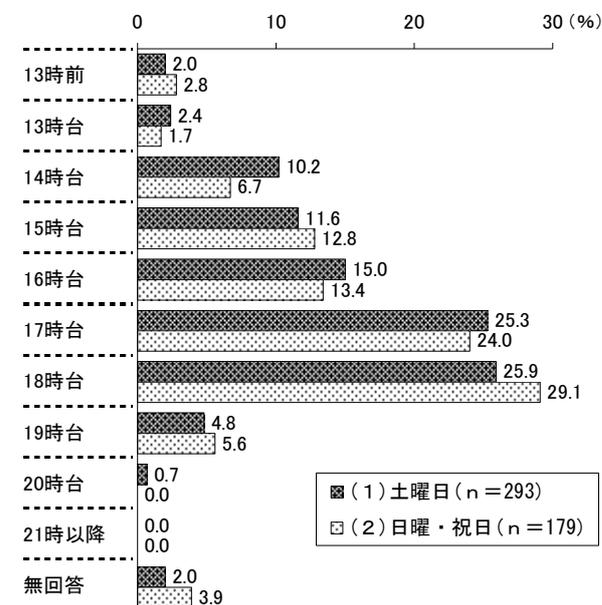
日曜・祝日では、「18時台」が29.1%で最も高く、次いで「17時台」が24.0%となっている。



【利用開始時刻】



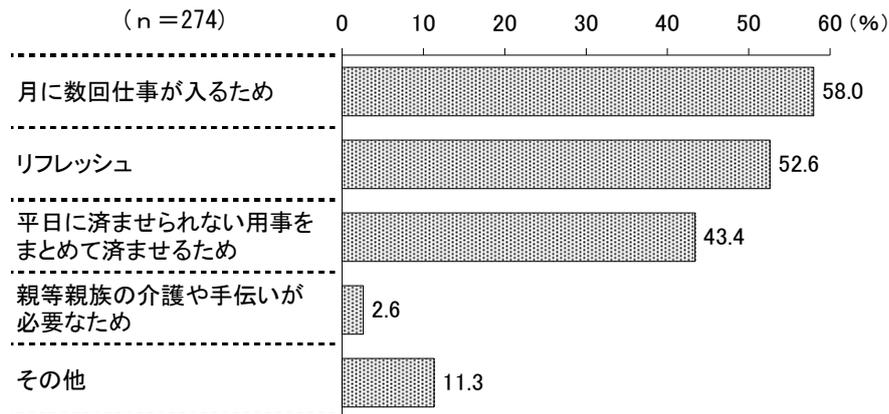
【利用終了時刻】



(2) 教育・保育事業をたまに利用したい理由

問22-1 問22で「月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

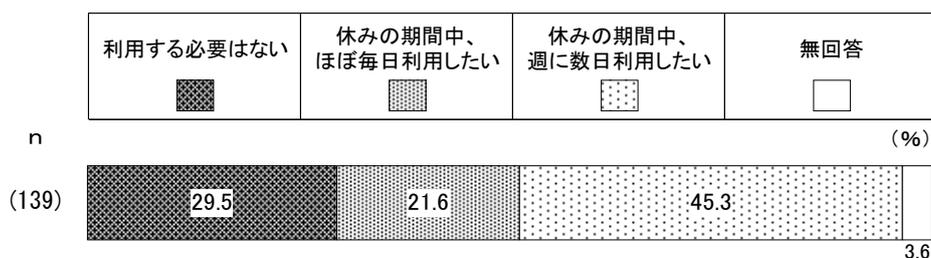
教育・保育事業をたまに利用したい理由は、「月に数回仕事が入るため」が58.0%で最も高く、次いで「リフレッシュ」が52.6%、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が43.4%となっている。



(3) 幼稚園が長期休暇期間中の際の教育・保育事業の利用希望

問23 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。当てはまる番号1つに○をつけ、希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

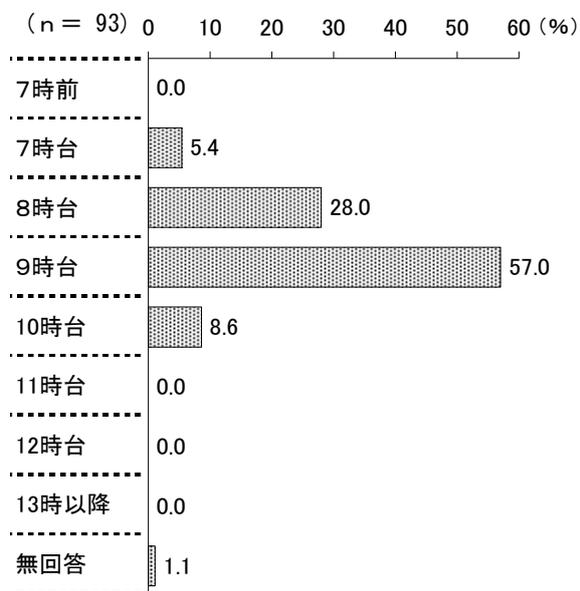
幼稚園が長期休暇期間中の際の教育・保育事業の利用希望は、「利用する必要はない」が29.5%となっている。一方、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」は21.6%、「休みの期間中、週に数日利用したい」は45.3%となっている。



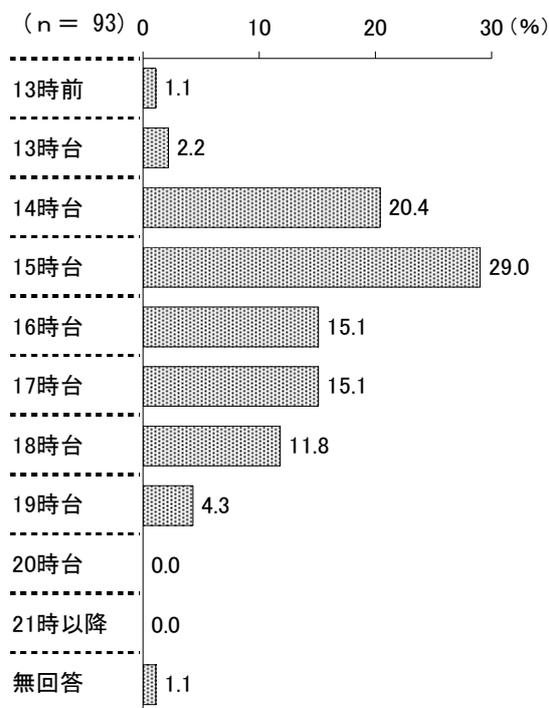
利用開始時刻は、「9時台」が57.0%で最も高く、次いで「8時台」が28.0%となっている。

利用終了時刻は、「15時台」が29.0%で最も高く、次いで「14時台」が20.4%、「16時台」と「17時台」がともに15.1%となっている。

【利用開始時刻】



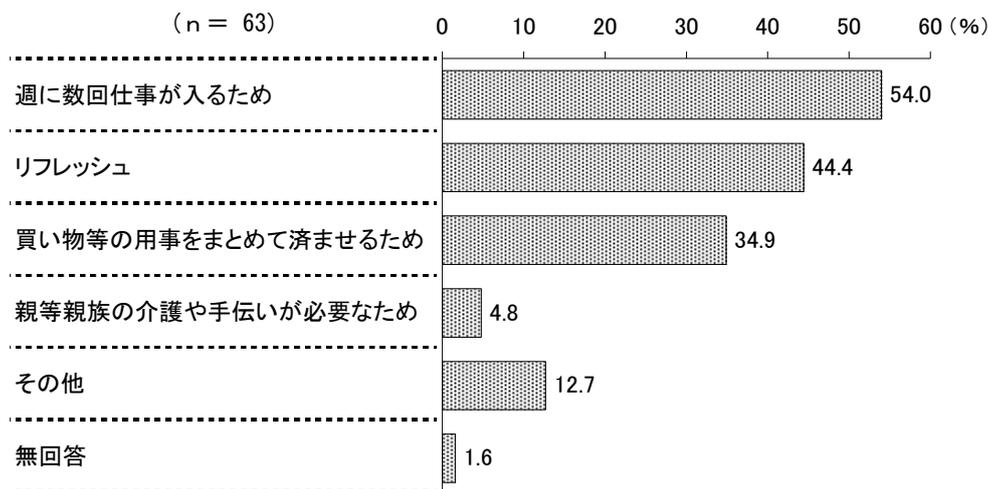
【利用終了時刻】



(4) 長期休暇期間中に教育・保育事業をたまに利用したい理由

問23-1 問23で「週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

長期休暇期間中に教育・保育事業をたまに利用したい理由は、「週に数回仕事が入るため」が54.0%で最も高く、次いで「リフレッシュ」が44.4%、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が34.9%となっている。



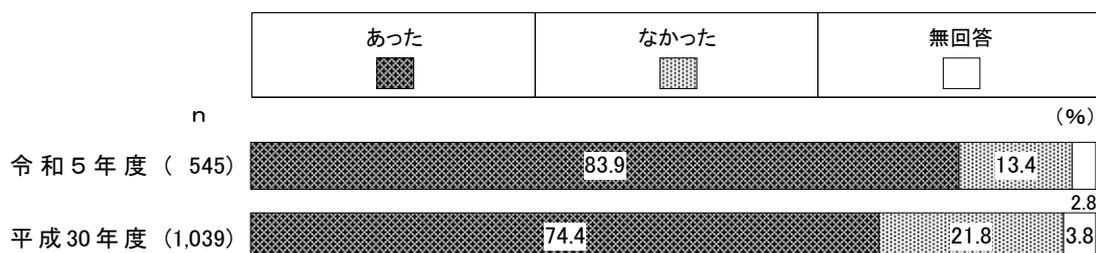
7. 病気の際の対応について

(1) 子どもが病気やケガで通常の事業が利用できなかった経験の有無

問24 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方にうかがいます。この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

子どもが病気やケガで通常の事業が利用できなかった経験の有無は、「あった」が83.9%、「なかった」は13.4%となっている。

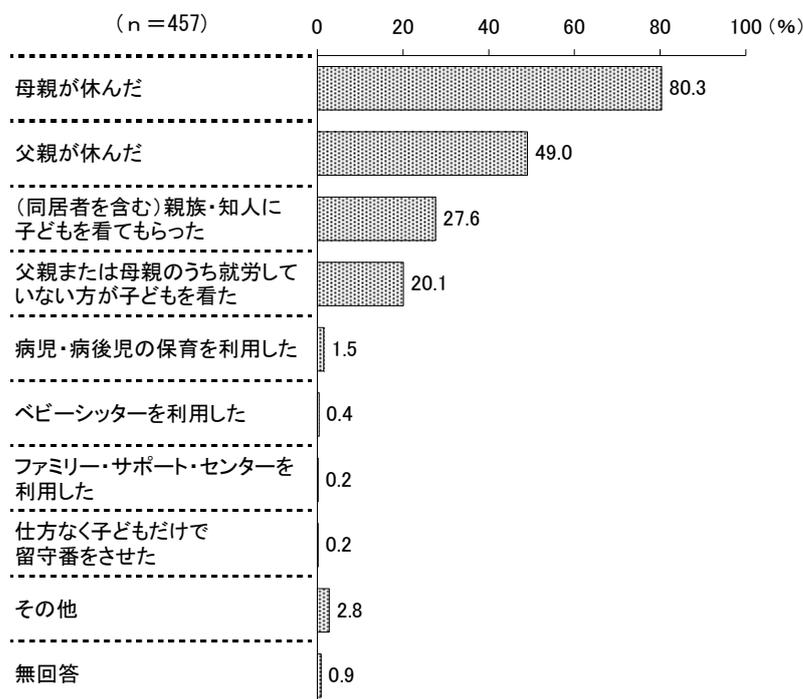
平成30年度調査と比較すると、「あった」は9.5ポイント増加している。



(2) 教育・保育事業が利用できなかった場合の対処方法

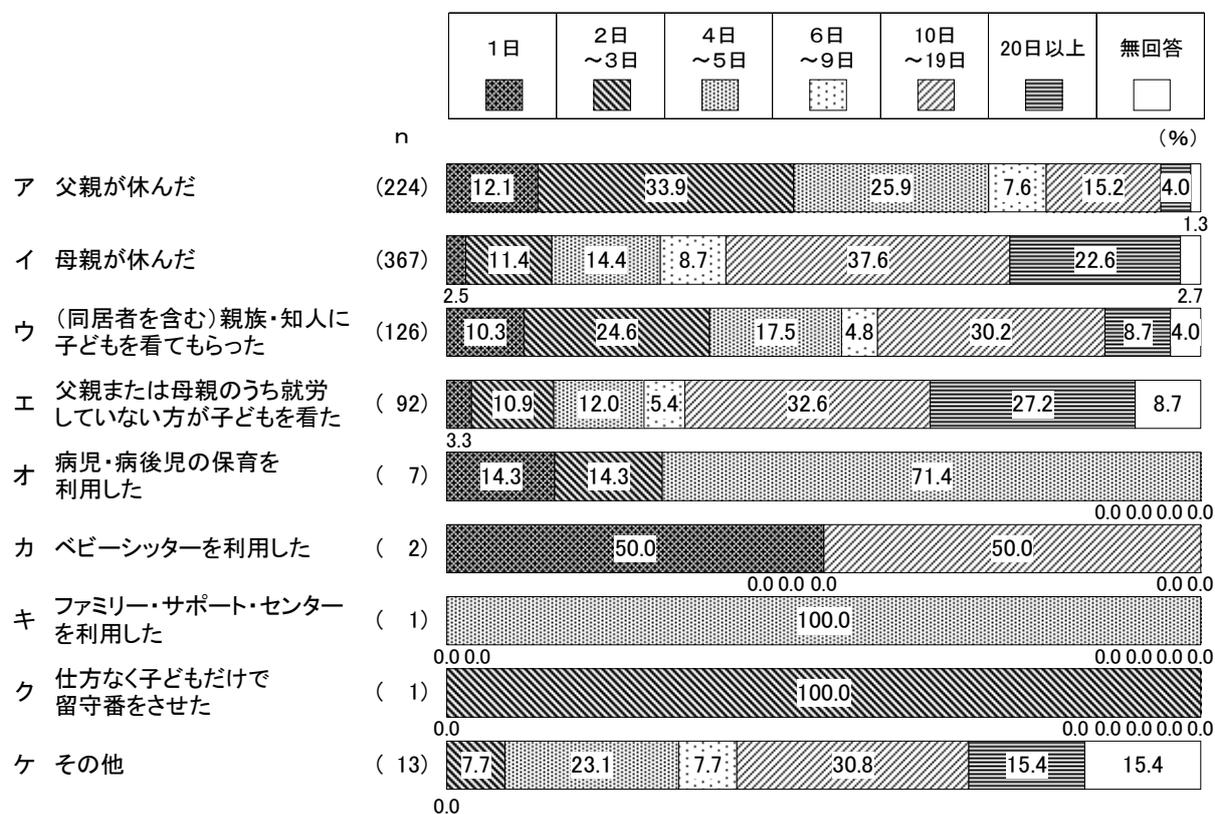
問24-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください）。

教育・保育事業が利用できなかった場合の対処方法は、「母親が休んだ」が80.3%で最も高く、次いで「父親が休んだ」が49.0%、「(同居者を含む)親族・知人に子どもを看てもらった」が27.6%、「父親または母親のうち就労していない方が子どもを看た」が20.1%となっている。



1年間の対処方法別の日数をみると、「2日～3日」は“父親が休んだ”で33.9%と高くなっている。「4日～5日」は“父親が休んだ”で25.9%と高くなっている。「10日～19日」は“母親が休んだ”で37.6%と高くなっている。「20日以上」は“父親または母親のうち就労していない方が子どもを見た”で27.2%と高くなっている。

【1年間の対処方法別の日数】



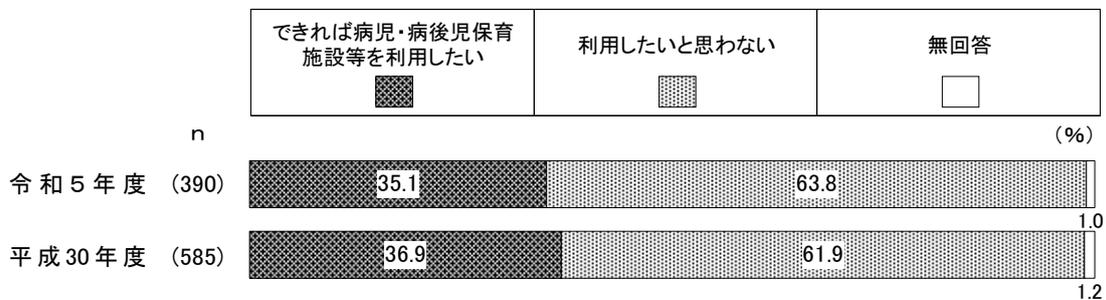
(3) 病児・病後児保育施設等の利用希望

問24-2 問24-1で「父親が休んだ」「母親が休んだ」のいずれかに回答した方にうかがいます。その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても口内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

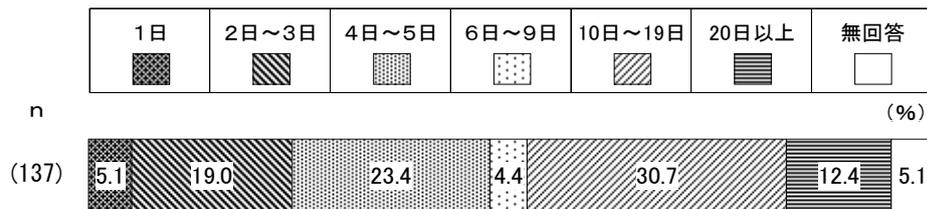
病児・病後児保育施設等の利用希望は、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が35.1%、「利用したいと思わない」は63.8%となっている。

平成30年度調査と比較すると、大きな違いはみられない。

病児・病後児保育施設等の利用希望日数は、「10日～19日」が30.7%で最も高く、次いで「4日～5日」が23.4%、「2日～3日」が19.0%、「20日以上」が12.4%となっている。



【病児・病後児保育施設等の利用希望日数】

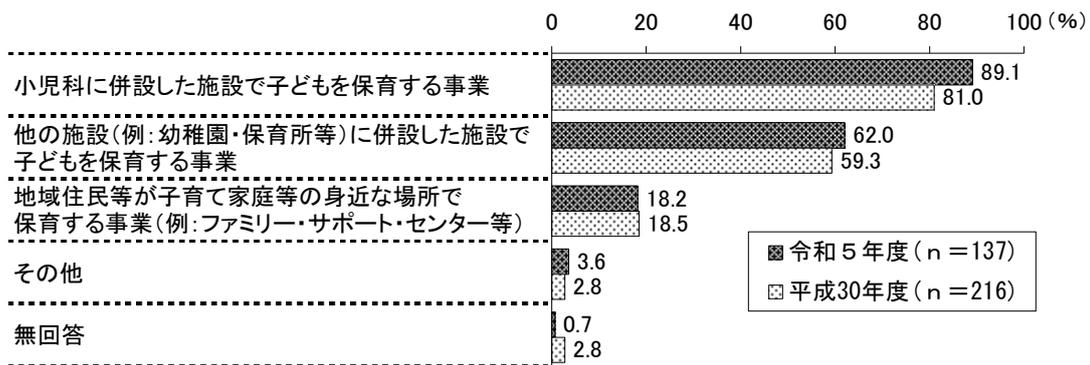


(4) 病児・病後児保育の望ましい事業形態

問24-3 問24-2で「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

病児・病後児保育の望ましい事業形態は、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が89.1%で最も高く、次いで「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」が62.0%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業(例:ファミリー・サポート・センター等)」が18.2%となっている。

平成30年度調査と比較すると、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」は8.1ポイント増加している。

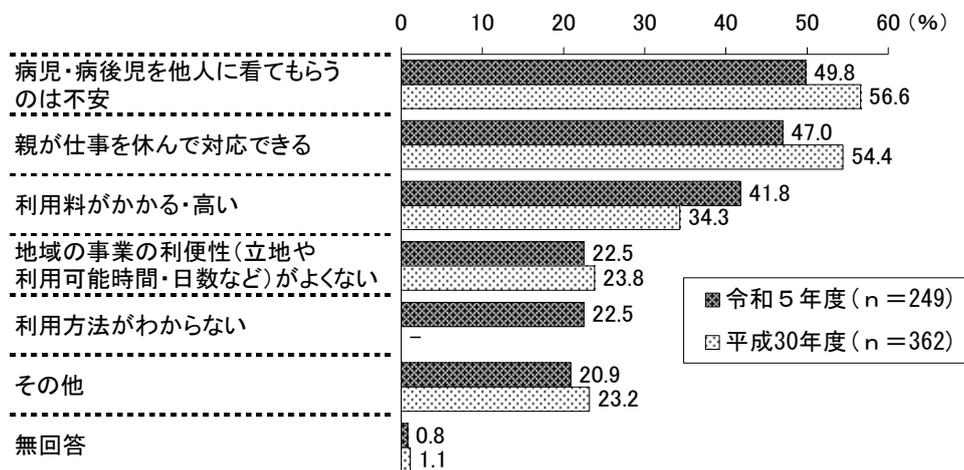


(5) 病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由

問24-4 問24-2で「利用したいと思わない」に○をつけた方に伺います。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由は、「病児・病後児を他人に看ってもらうのは不安」が49.8%で最も高く、次いで「親が仕事を休んで対応できる」が47.0%、「利用料がかかる・高い」が41.8%となっている。

平成30年度調査と比較すると、「利用料がかかる・高い」は7.5ポイント増加している。一方、「親が仕事を休んで対応できる」は7.4ポイント、「病児・病後児を他人に看ってもらうのは不安」は6.8ポイント、それぞれ減少している。



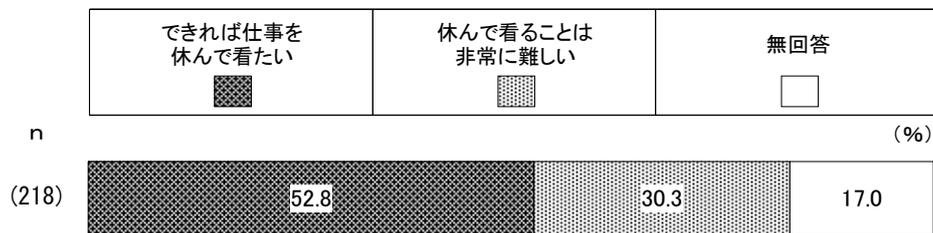
※「利用方法がわからない」は、令和5年度から追加された選択肢

(6) 子どもが病気やケガのときに仕事を休んで看たいと思ったか

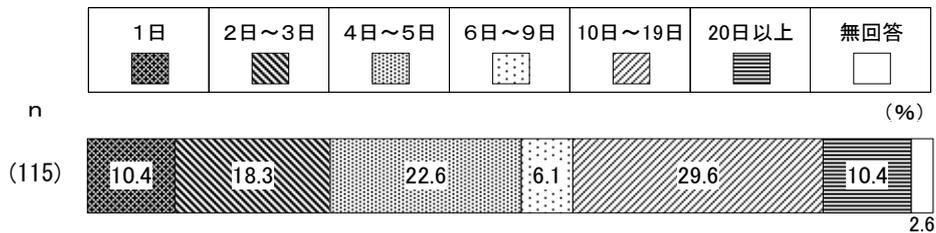
問24-5 問24-1で「父親または母親が休んだ」以外に○をつけた方に伺います。その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、仕事を休んで看たかった日数についても数字でご記入ください。

子どもが病気やケガのときに仕事を休んで看たいと思ったかは、「できれば仕事を休んで看たい」が52.8%、「休んで看ることは非常に難しい」は30.3%となっている。

仕事を休んで看たいと思った日数は、「10日～19日」が29.6%で最も高く、次いで「4日～5日」が22.6%、「2日～3日」が18.3%、「1日」と「20日以上」がともに10.4%となっている。



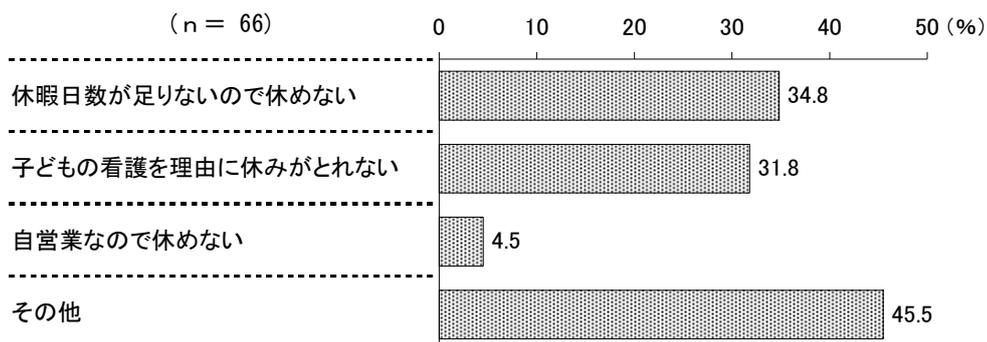
【仕事を休んで看たいと思った日数】



(7) 仕事を休んで看ることが難しい理由

問24-6 問24-5で「休んで看ることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

仕事を休んで看ることが難しい理由は、「休暇日数が足りないので休めない」が34.8%で最も高く、次いで「子どもの看護を理由に休みがとれない」が31.8%となっている。



8. 不特定の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

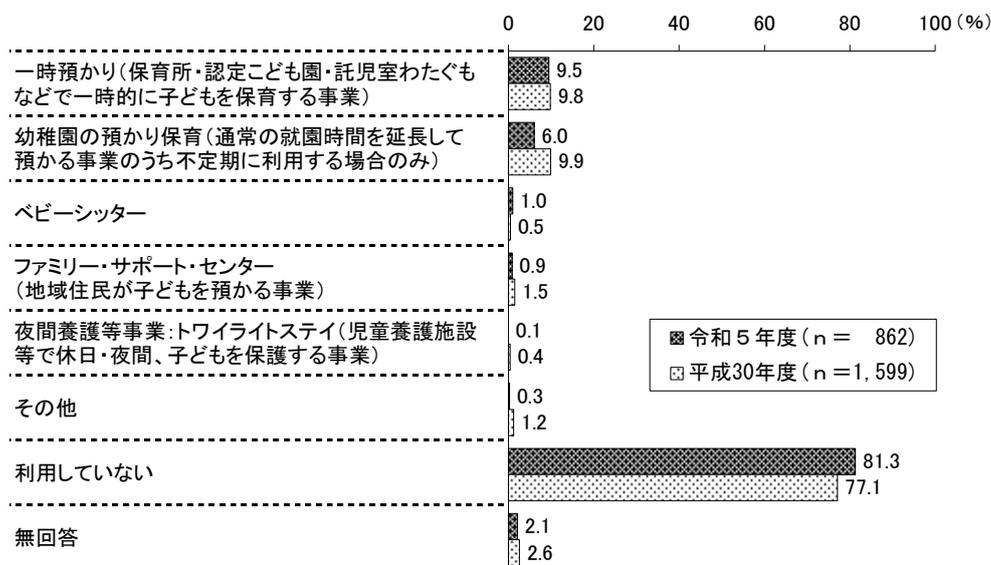
(1) 不定期的に利用している預かり事業

問25 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不定期的に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も口内に数字でご記入ください。

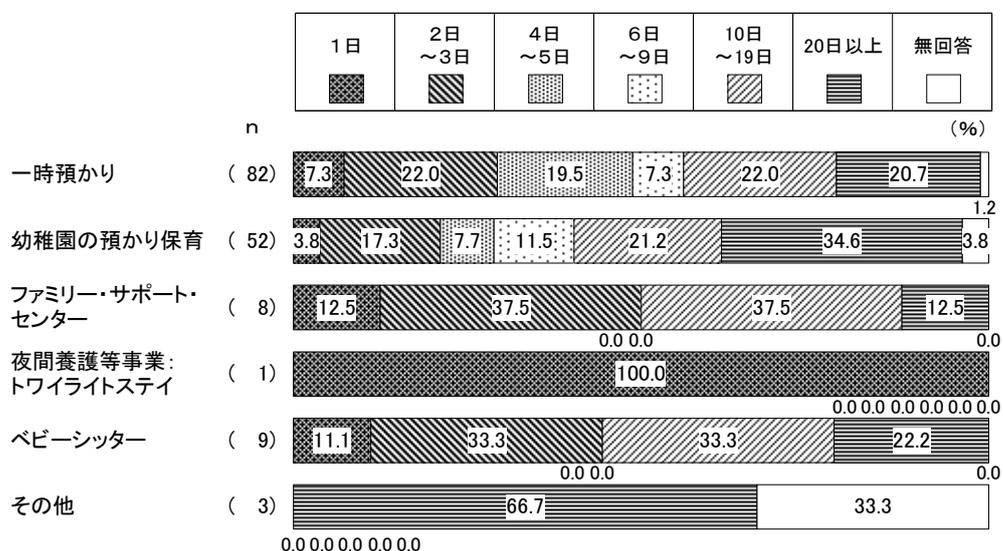
不定期的に利用している預かり事業は、利用している中では、「一時預かり」が9.5%で最も高く、次いで「幼稚園の預かり保育」が6.0%となっている。一方、「利用していない」は81.3%となっている。

平成30年度調査と比較すると、「利用していない」は4.2ポイント増加している。一方、「幼稚園の預かり保育」は3.9ポイント減少している。

不定期的に利用している預かり事業別の日数をみると、「2日～3日」は“一時預かり”で22.0%と高くなっている。「10日～19日」は“一時預かり”で22.0%と高くなっている。「20日以上」は“幼稚園の預かり保育”で34.6%と高くなっている。



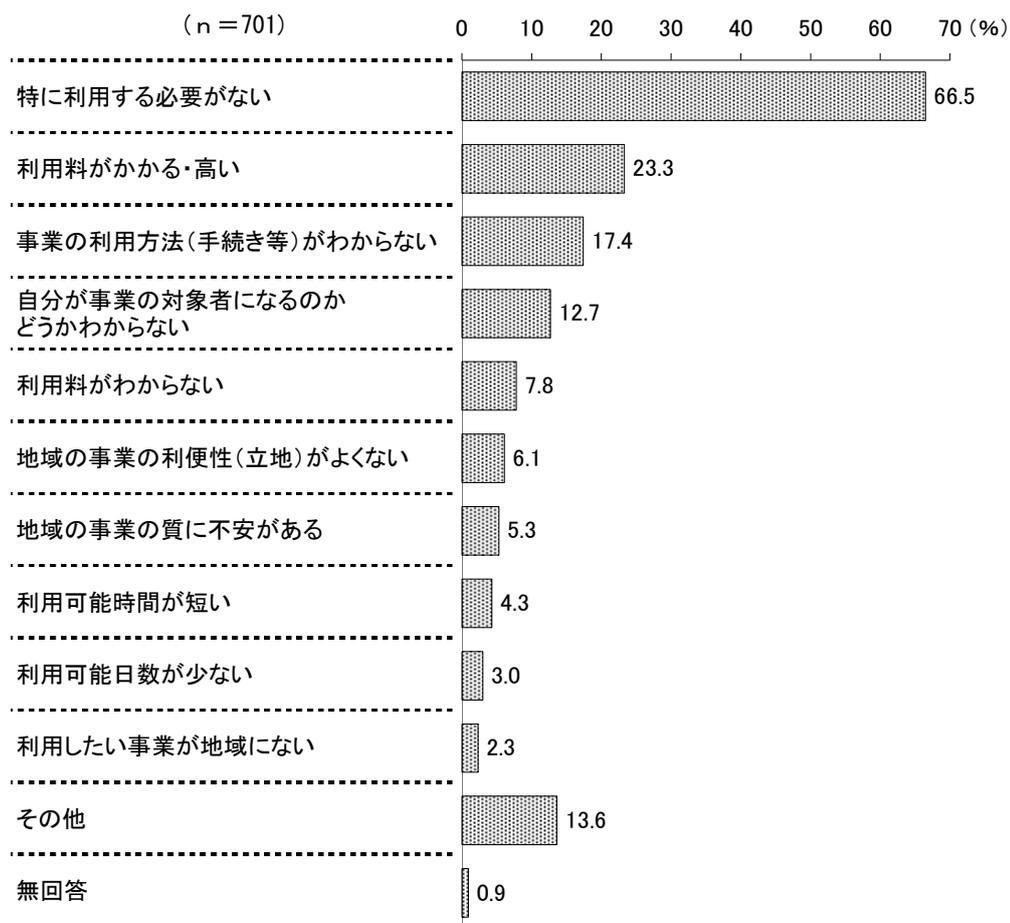
【不定期的に利用している預かり事業別の日数】



(2) 不定期に預かり事業を利用していない理由

問25-1 問25で「利用していない」と回答した方にうかがいます。現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

不定期に預かり事業を利用していない理由は、「特に利用する必要がない」が66.5%で最も高く、次いで「利用料がかかる・高い」が23.3%、「事業の利用方法(手続き等)がわからない」が17.4%、「自分が事業の対象者になるのかわからない」が12.7%となっている。



(3) 不特定の預かり事業の利用希望

問26 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を口内に数字でご記入ください。）。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

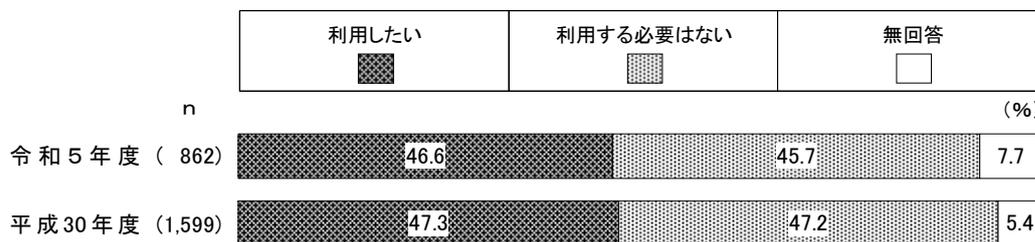
不特定の預かり事業の利用希望は、「利用したい」が46.6%、「利用する必要はない」は45.7%となっている。

平成30年度調査と比較すると、大きな違いはみられない。

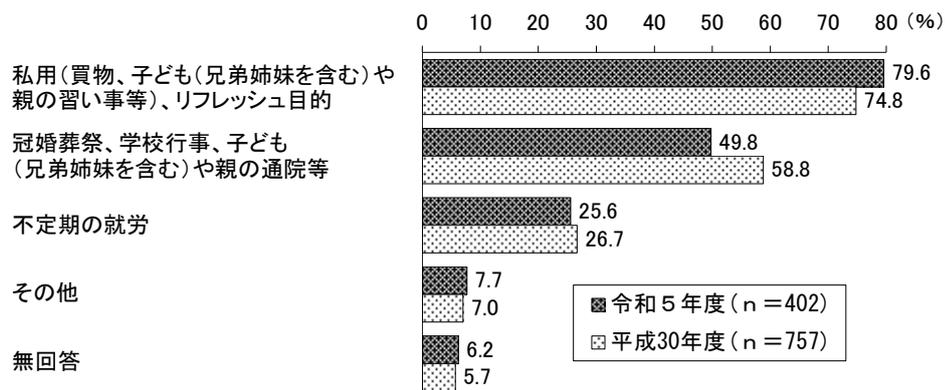
利用したい人の利用目的は、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が79.6%で最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が49.8%、「不特定の就労」が25.6%となっている。

平成30年度調査と比較すると、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」は4.8ポイント増加している。一方、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」は9.0ポイント減少している。

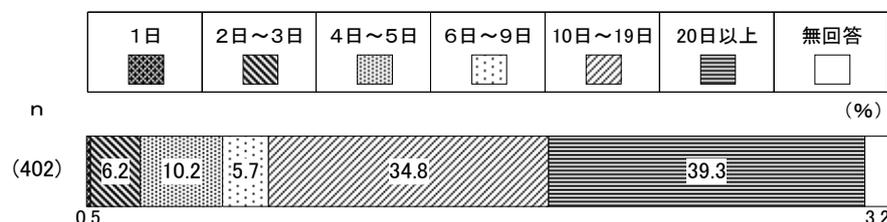
利用したい人の利用希望日数の合計は、「20日以上」が39.3%で最も高く、次いで「10日～19日」が34.8%、「4日～5日」が10.2%となっている。



【利用目的】



【利用希望日数の合計】

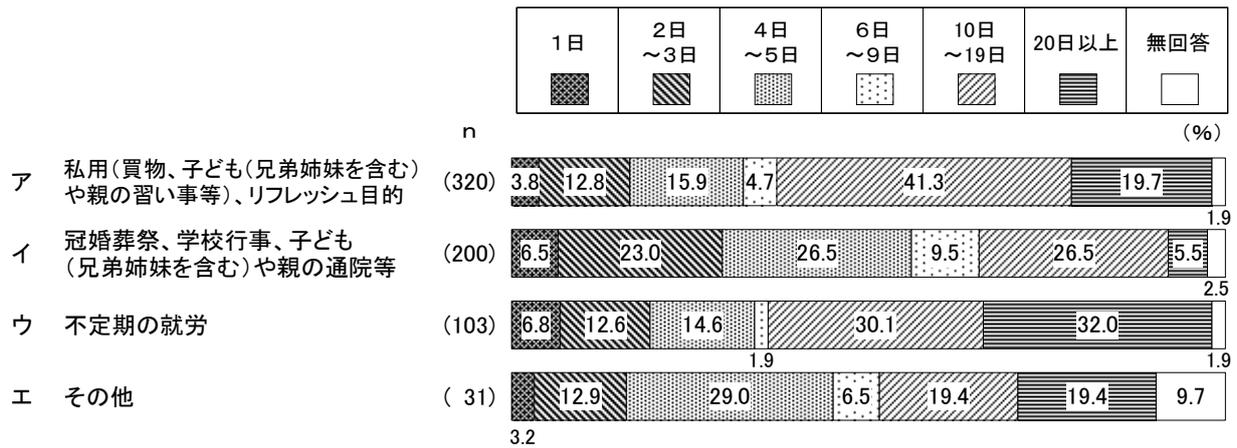


利用したい人の利用目的別の利用希望日数をみると、“私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的”では、「10日～19日」が41.3%で最も高く、次いで「20日以上」が19.7%、「4日～5日」が15.9%となっている。

“冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等”では、「4日～5日」と「10日～19日」がともに26.5%で高く、次いで「2日～3日」が23.0%となっている。

“不定期の就労”では、「20日以上」が32.0%で最も高く、次いで「10日～19日」が30.1%、「4日～5日」が14.6%となっている。

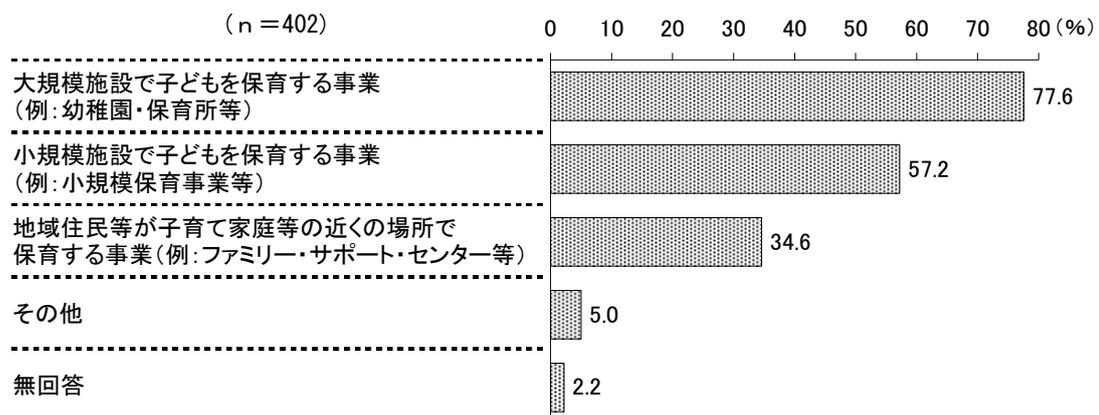
【利用目的別の利用希望日数】



(4) 不定期の預かり事業の望ましい事業形態

問26-1 問26で「利用したい」と回答した方にうかがいます。問26の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

不定期の預かり事業の望ましい事業形態は、「大規模施設で子どもを保育する事業」が77.6%で最も高く、次いで「小規模施設で子どもを保育する事業」が57.2%、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業」が34.6%となっている。



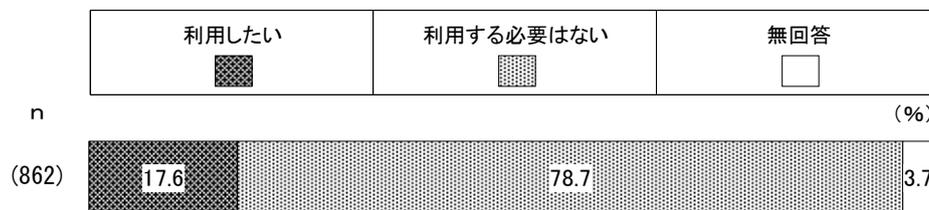
(5) 短期入所生活援助事業等の利用希望

問27 宛名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで家族以外にみてもらう必要が年間何泊くらいあると思いますか。短期入所生活援助事業（ショートステイ）等の利用希望の有無について当てはまる番号、記号すべてに○をつけ、それぞれの泊数も口内に数字でご記入ください。

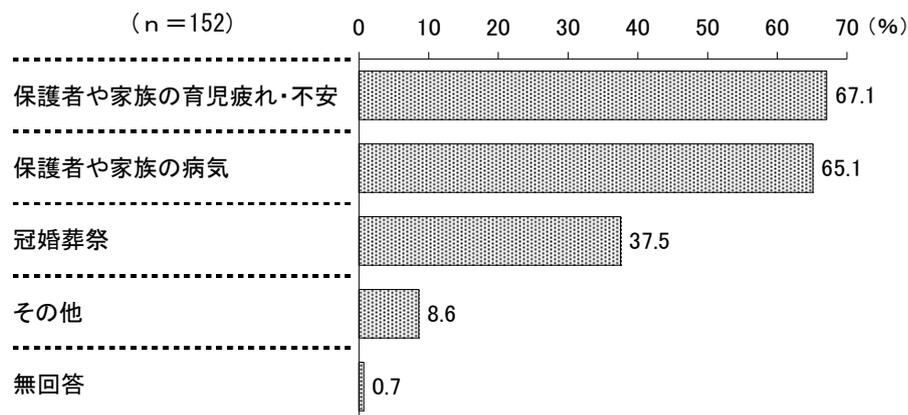
短期入所生活援助事業等の利用希望は、「利用したい」が17.6%、「利用する必要はない」は78.7%となっている。

利用したい人の利用目的は、「保護者や家族の育児疲れ・不安」が67.1%で最も高く、次いで「保護者や家族の病気」が65.1%、「冠婚葬祭」が37.5%となっている。

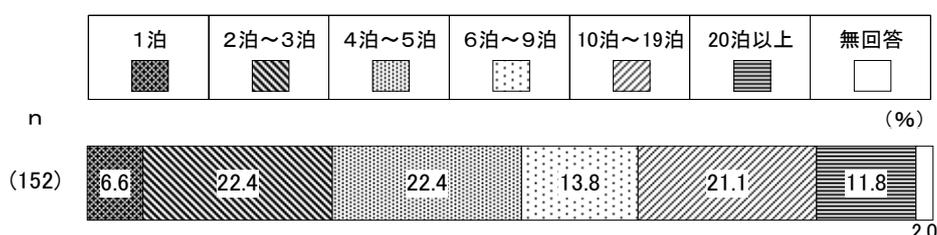
利用したい人の利用希望泊数の合計は、「2泊～3泊」と「4泊～5泊」がともに22.4%で高く、次いで「10泊～19泊」が21.1%、「6泊～9泊」が13.8%となっている。



【利用目的】



【利用希望泊数の合計】

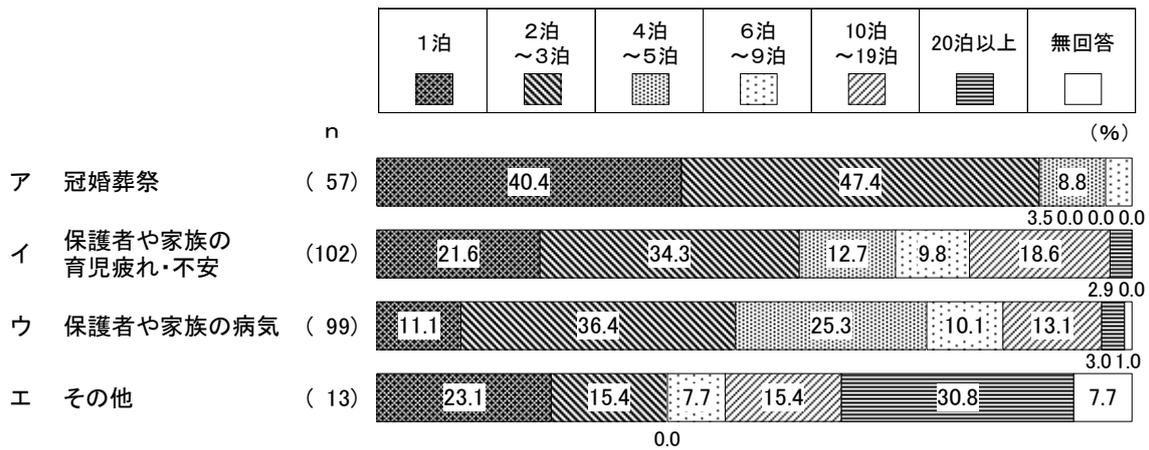


利用したい人の利用目的別の利用希望泊数をみると、“冠婚葬祭”では、「2泊～3泊」が47.4%で最も高く、次いで「1泊」が40.4%、「4泊～5泊」が8.8%となっている。

“保護者や家族の育児疲れ・不安”では、「2泊～3泊」が34.3%で最も高く、次いで「1泊」が21.6%、「10泊～19泊」が18.6%となっている。

“保護者や家族の病気”では、「2泊～3泊」が36.4%で最も高く、次いで「4泊～5泊」が25.3%、「10泊～19泊」が13.1%となっている。

【利用目的別の利用希望泊数】



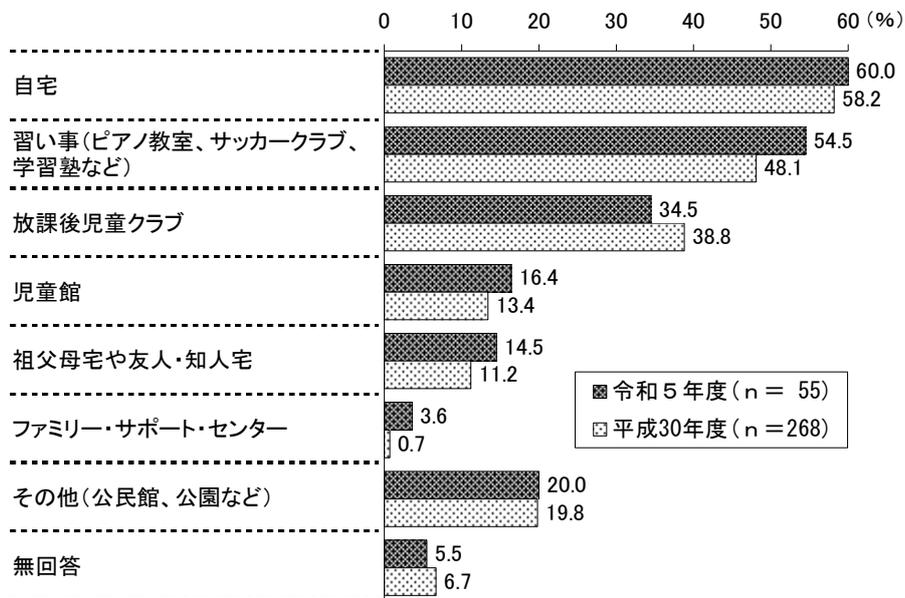
9. 小学校就学後の放課後の過ごし方について

(1) 希望する放課後の過ごし方（小学校低学年）

問28 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。

希望する放課後の過ごし方（小学校低学年）は、「自宅」が60.0%で最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が54.5%、「放課後児童クラブ」が34.5%、「児童館」が16.4%となっている。

平成30年度調査と比較すると、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」は6.4ポイント増加している。一方、「放課後児童クラブ」は4.3ポイント減少している。



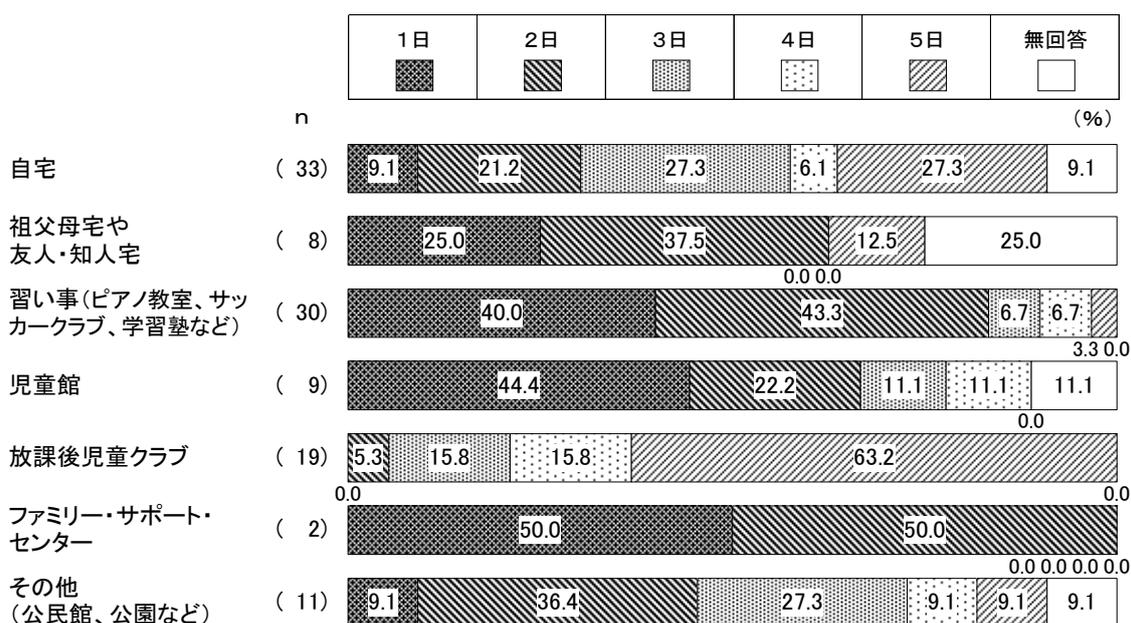
希望する放課後の過ごし方別の1週当たりの希望日数をみると、“自宅”では、「3日」と「5日」がともに27.3%で高く、次いで「2日」が21.2%となっている。

“習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）”では、「2日」が43.3%で最も高く、次いで「1日」が40.0%となっている。

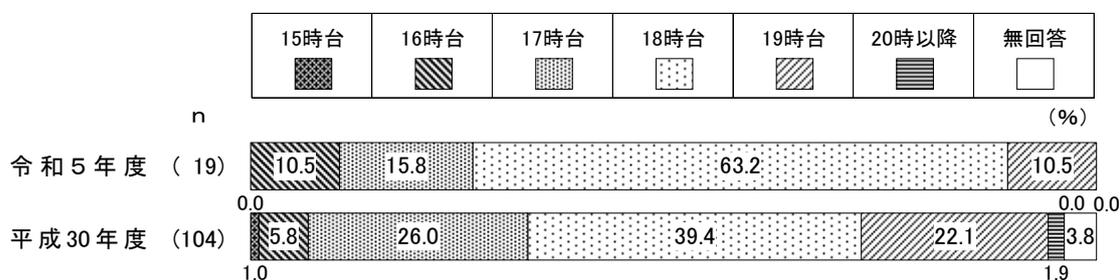
放課後児童クラブの利用終了時刻は、「18時台」が63.2%で最も高く、次いで「17時台」が15.8%、「16時台」と「19時台」がともに10.5%となっている。

平成30年度調査との比較は、基数が少ないため参考に図示する。

【希望する放課後の過ごし方別の1週当たりの希望日数】



【放課後児童クラブの利用終了時刻】

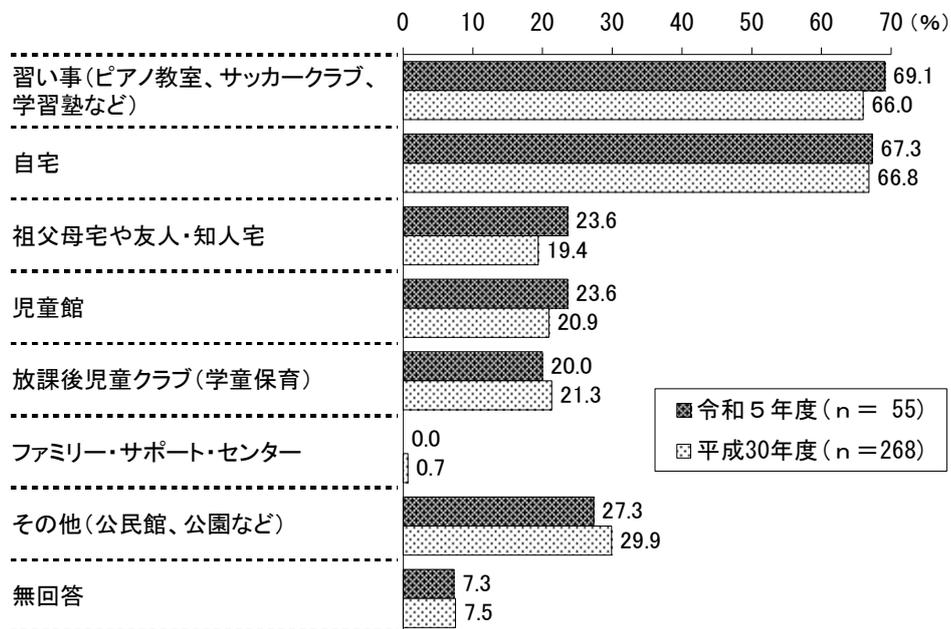


(2) 希望する放課後の過ごし方（小学校高学年）

問29 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。

希望する放課後の過ごし方（小学校高学年）は、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が69.1%で最も高く、次いで「自宅」が67.3%、「祖父母宅や友人・知人宅」と「児童館」がともに23.6%となっている。

平成30年度調査と比較すると、「祖父母宅や友人・知人宅」は4.2ポイント、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」は3.1ポイント、それぞれ増加している。



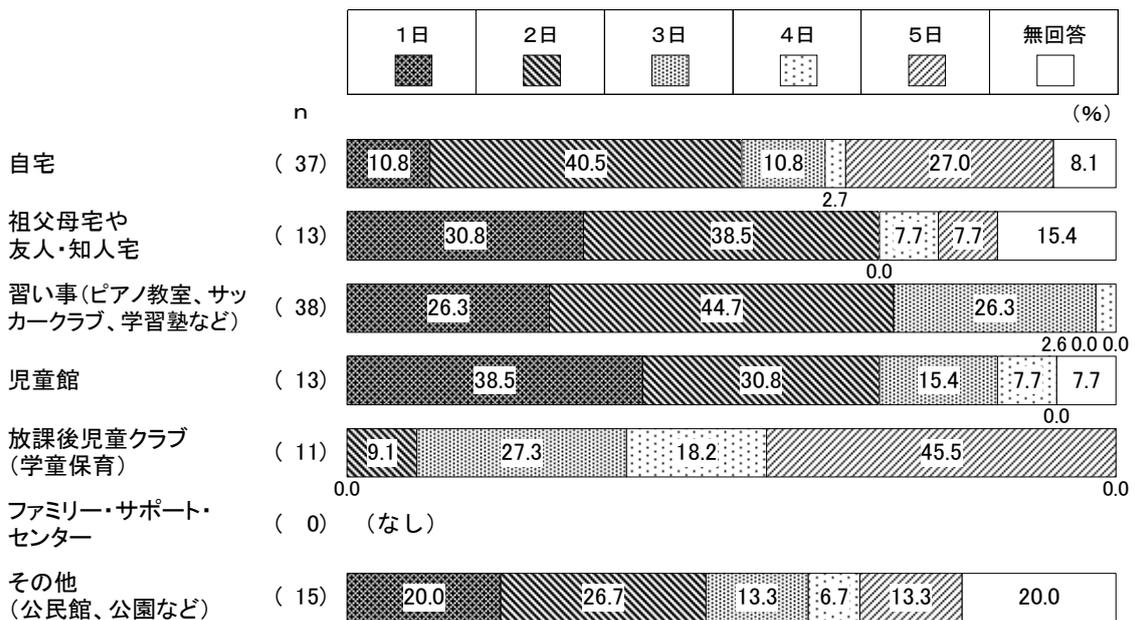
希望する放課後の過ごし方別の1週当たりの希望日数をみると、“自宅”では、「2日」が40.5%で最も高く、次いで「5日」が27.0%、「1日」と「3日」がともに10.8%となっている。

“習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）”では、「2日」が44.7%で最も高く、次いで「1日」と「3日」がともに26.3%となっている。

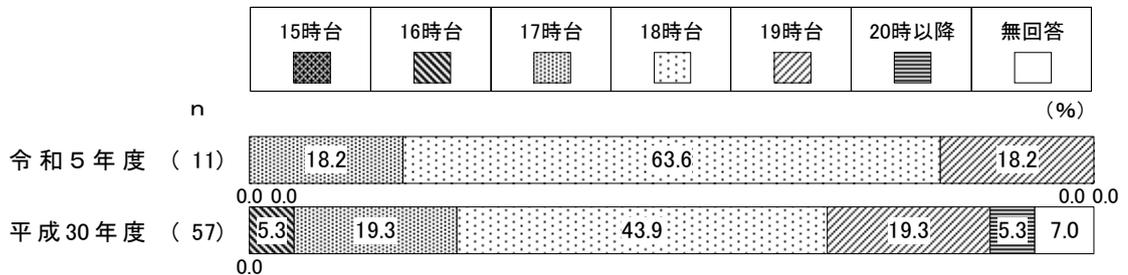
放課後児童クラブ（学童保育）の利用終了時刻は、「18時台」が63.6%で最も高く、次いで「17時台」と「19時台」がともに18.2%となっている。

平成30年度調査との比較は、基数が少ないため参考に図示する。

【希望する放課後の過ごし方別の1週当たりの希望日数】



【放課後児童クラブ（学童保育）の利用終了時刻】



Ⅲ 小学5年児童・中学2年生徒調査結果

Ⅲ 小学5年児童・中学2年生徒調査結果

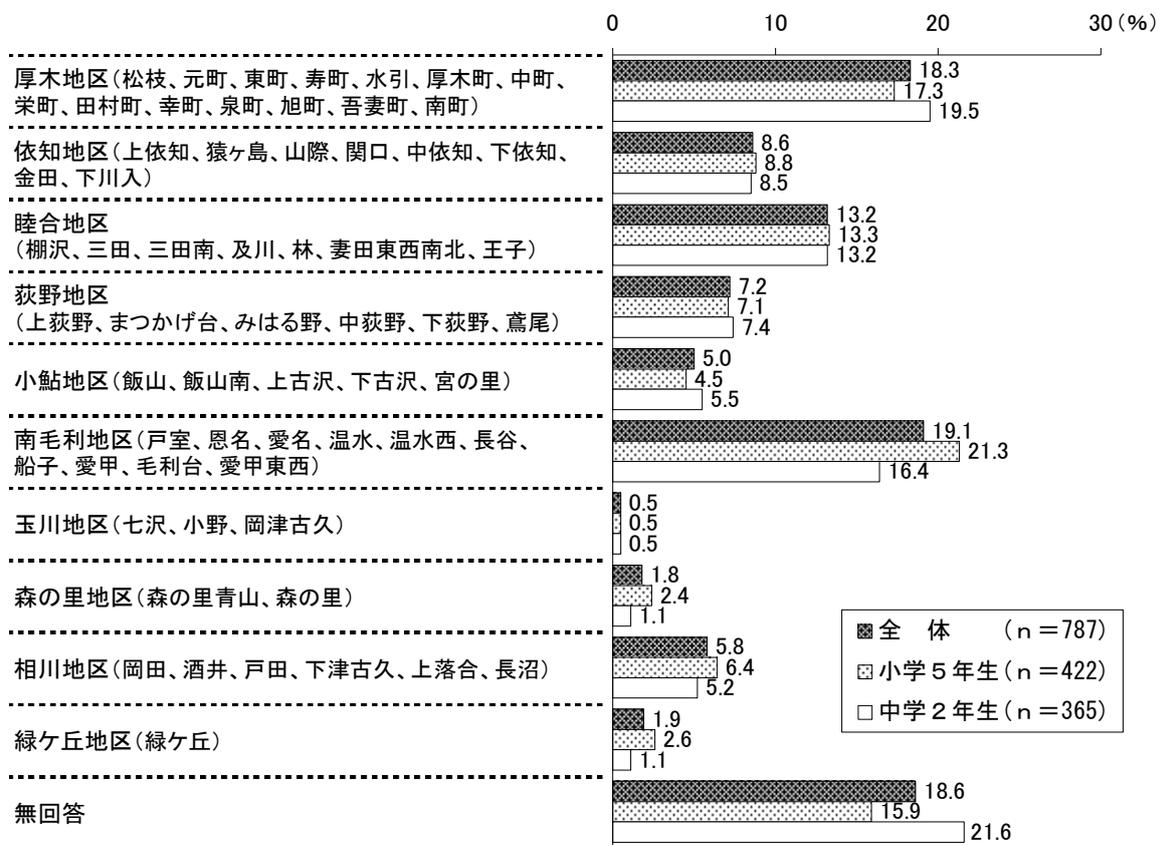
1. お住まいの地域について

(1) 居住地区

問1 お住まいの地区として当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。

居住地区は、全体では「南毛利地区」が19.1%で最も高く、次いで「厚木地区」が18.3%、「睦合地区」が13.2%、「依知地区」が8.6%となっている。

小学5年生では「南毛利地区」が21.3%で最も高く、中学2年生では「厚木地区」が19.5%で最も高くなっている。



2. 宛名のお子さんご家族の状況について

(1) 学年

問2 あなたの学年を教えてください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

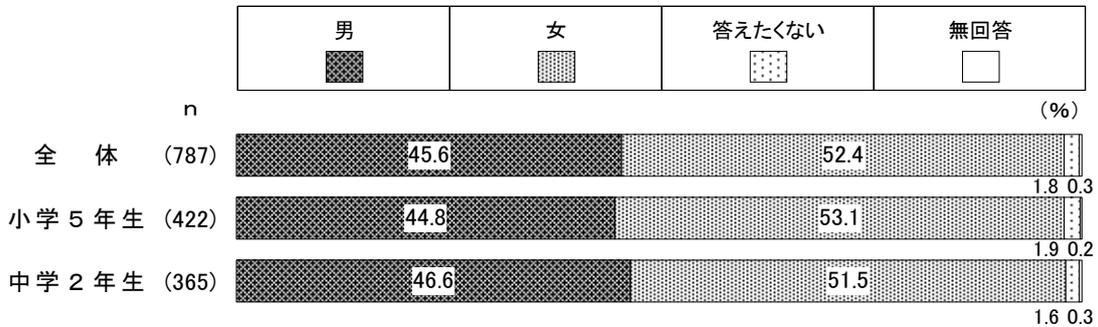
学年は、「小学5年生」が53.6%、「中学2年生」は46.4%となっている。



(2) 性別

問3 性別についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

性別は、全体では「男」が45.6%、「女」は52.4%となっている。



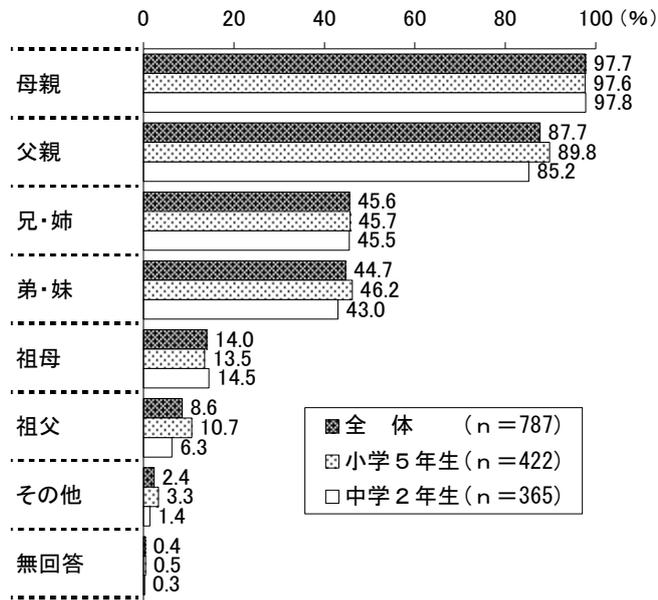
(3) 同居家族

問4 一緒に住んでいる人についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

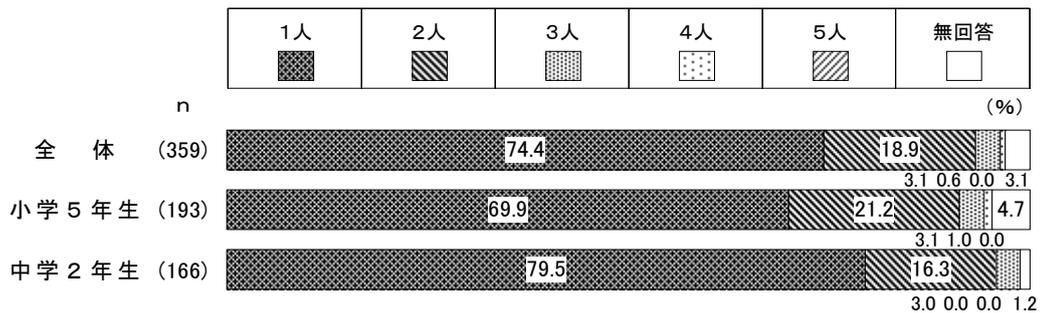
同居家族は、全体では「母親」が97.7%で最も高く、次いで「父親」が87.7%、「兄・姉」が45.6%、「弟・妹」が44.7%となっている。

きょうだい数（兄・姉）は、全体では「1人」が74.4%で最も高く、次いで「2人」が18.9%となっている。

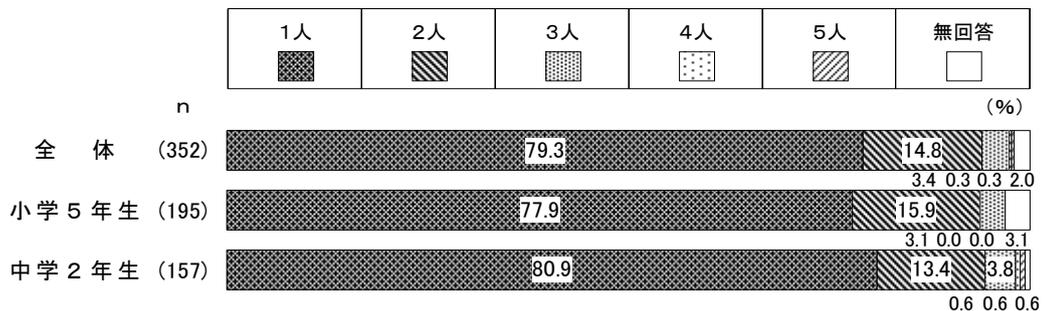
きょうだい数（弟・妹）は、全体では「1人」が79.3%で最も高く、次いで「2人」が14.8%となっている。



【きょうだい数（兄・姉）】



【きょうだい数（弟・妹）】

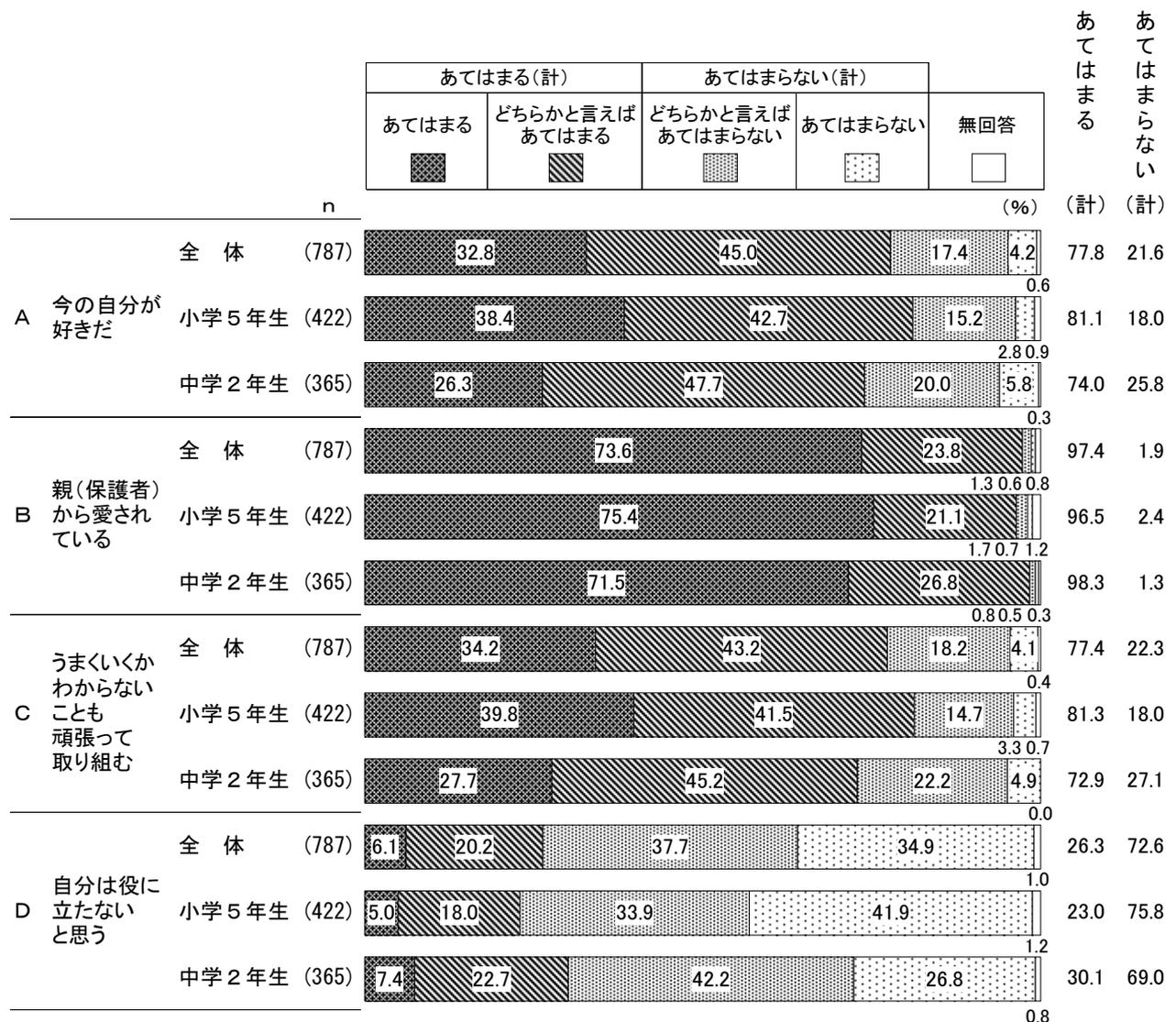


(4) 自分自身について

問5 あなたについて、あてはまるものを選んでください。(A~Dそれぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください)

自分自身について、「あてはまる」と「どちらかと言えばあてはまる」を合わせた『あてはまる(計)』は、全体では“親(保護者)から愛されている”で97.4%と最も高く、次いで“今の自分が好きだ”で77.8%となっている。

一方、「どちらかと言えばあてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた『あてはまらない(計)』は、全体では“自分は役に立たないと思う”で72.6%と最も高く、次いで“うまくいくかわからないことも頑張って取り組む”で22.3%となっている。



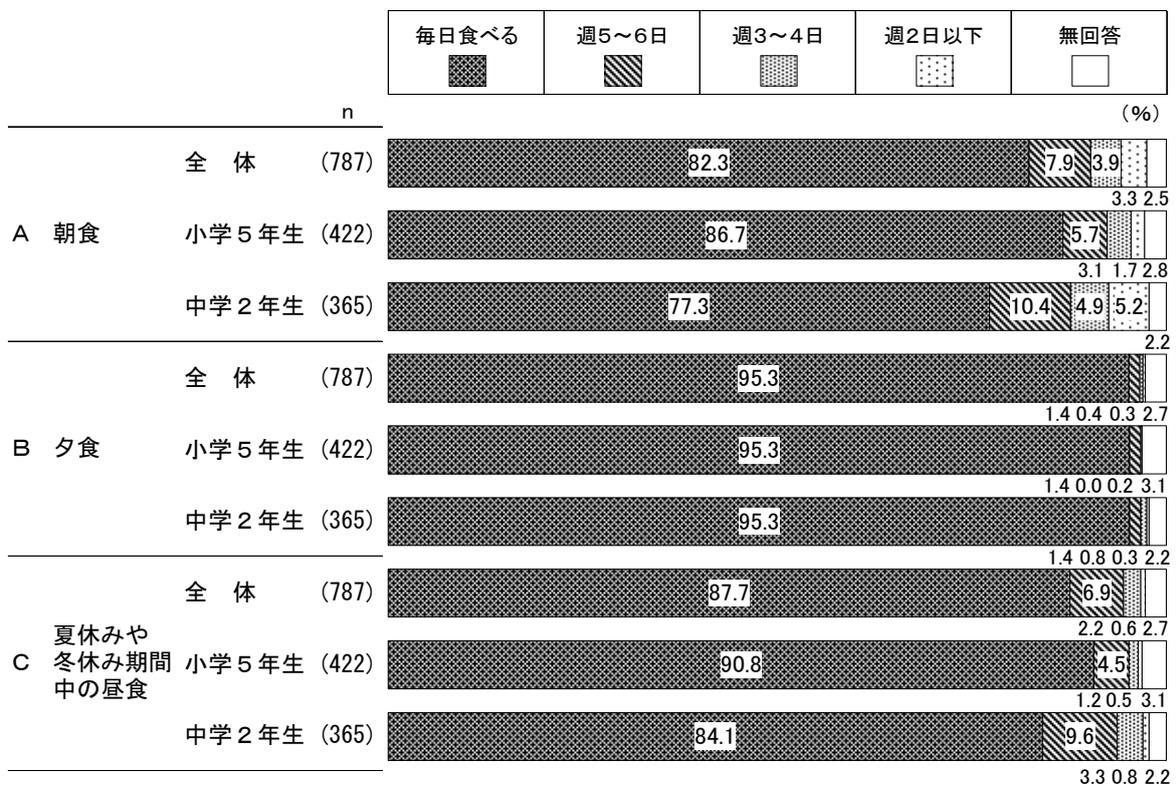
(5) 食事の頻度

問6 あなたは週にどれくらい食事をしていますか。(A～Cそれぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください)

朝食の頻度は、全体では「毎日食べる」が82.3%で最も高く、次いで「週5～6日」が7.9%となっている。

夕食の頻度は、全体では「毎日食べる」が95.3%で最も高く、次いで「週5～6日」が1.4%となっている。

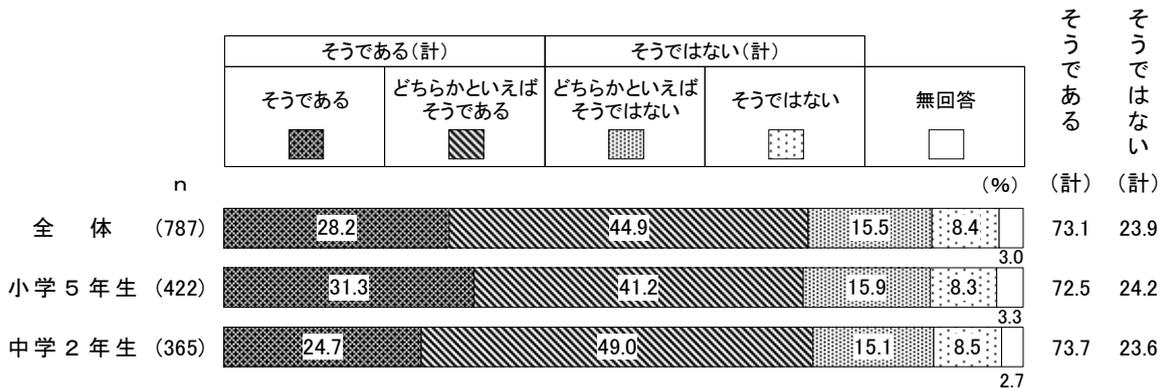
夏休みや冬休み期間中の昼食の頻度は、全体では「毎日食べる」が87.7%で最も高く、次いで「週5～6日」が6.9%となっている。



(6) ふだんの就寝時間

問7 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）、ほぼ同じ時間に寝ていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

ふだん（月曜日～金曜日）、ほぼ同じ時間に寝ているかは、全体では「そうである」(28.2%)と「どちらかといえばそうである」(44.9%)を合わせた『そうである(計)』は73.1%となっている。一方、「どちらかといえばそうではない」(15.5%)と「そうではない」(8.4%)を合わせた『そうではない(計)』は23.9%となっている。

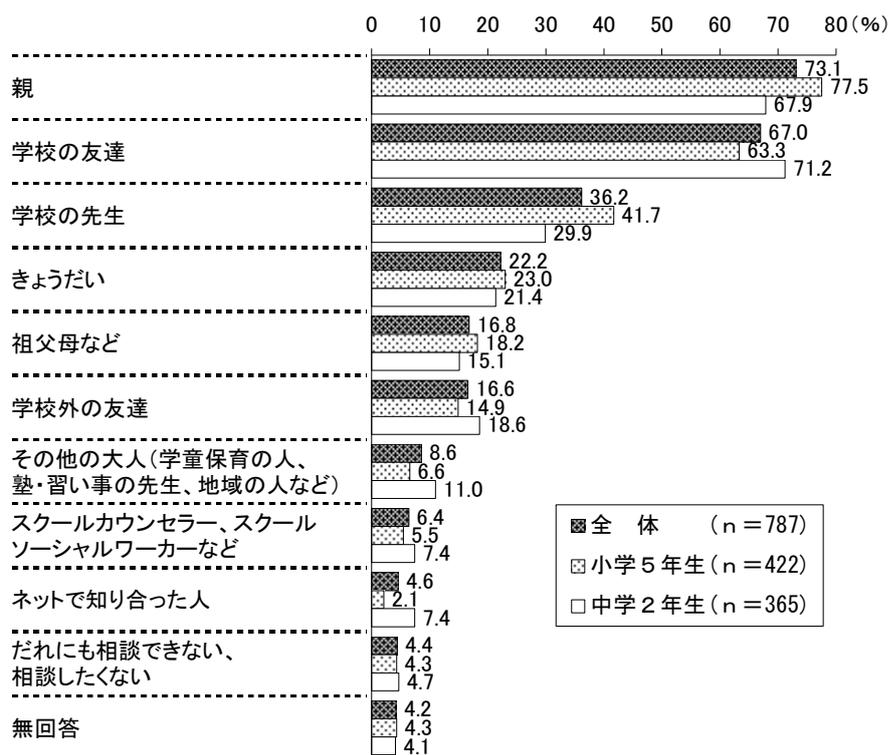


(7) 困っていることや悩みごとがあるときの相談相手

問8 あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。(1～9については、当てはまる番号すべてに○をつけてください。)

困っていることや悩みごとがあるときの相談相手は、全体では「親」が73.1%で最も高く、次いで「学校の友達」が67.0%、「学校の先生」が36.2%、「きょうだい」が22.2%となっている。

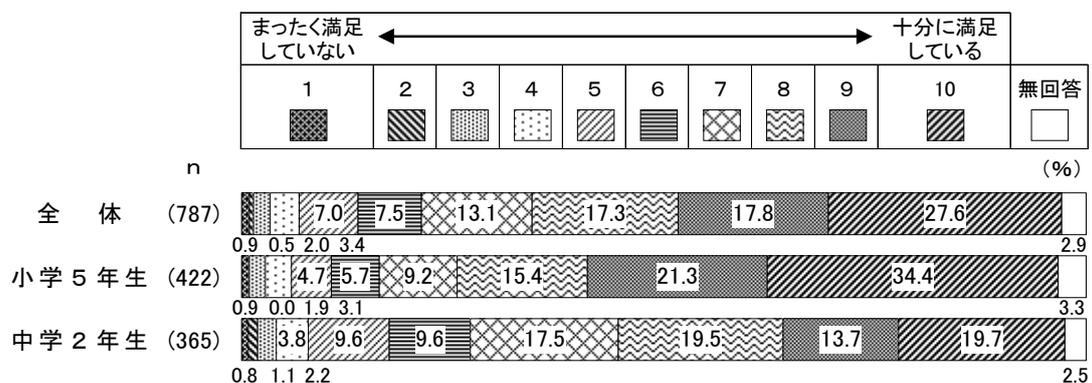
小学5年生では「親」が77.5%で最も高く、中学2年生では「学校の友達」が71.2%で最も高くなっている。



(8) 生活の満足度

問9 あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。1つに○をつけてください。

生活の満足度を10段階でみると、全体では「10」が27.6%で最も高く、次いで「9」が17.8%、「8」が17.3%、「7」が13.1%となっている。

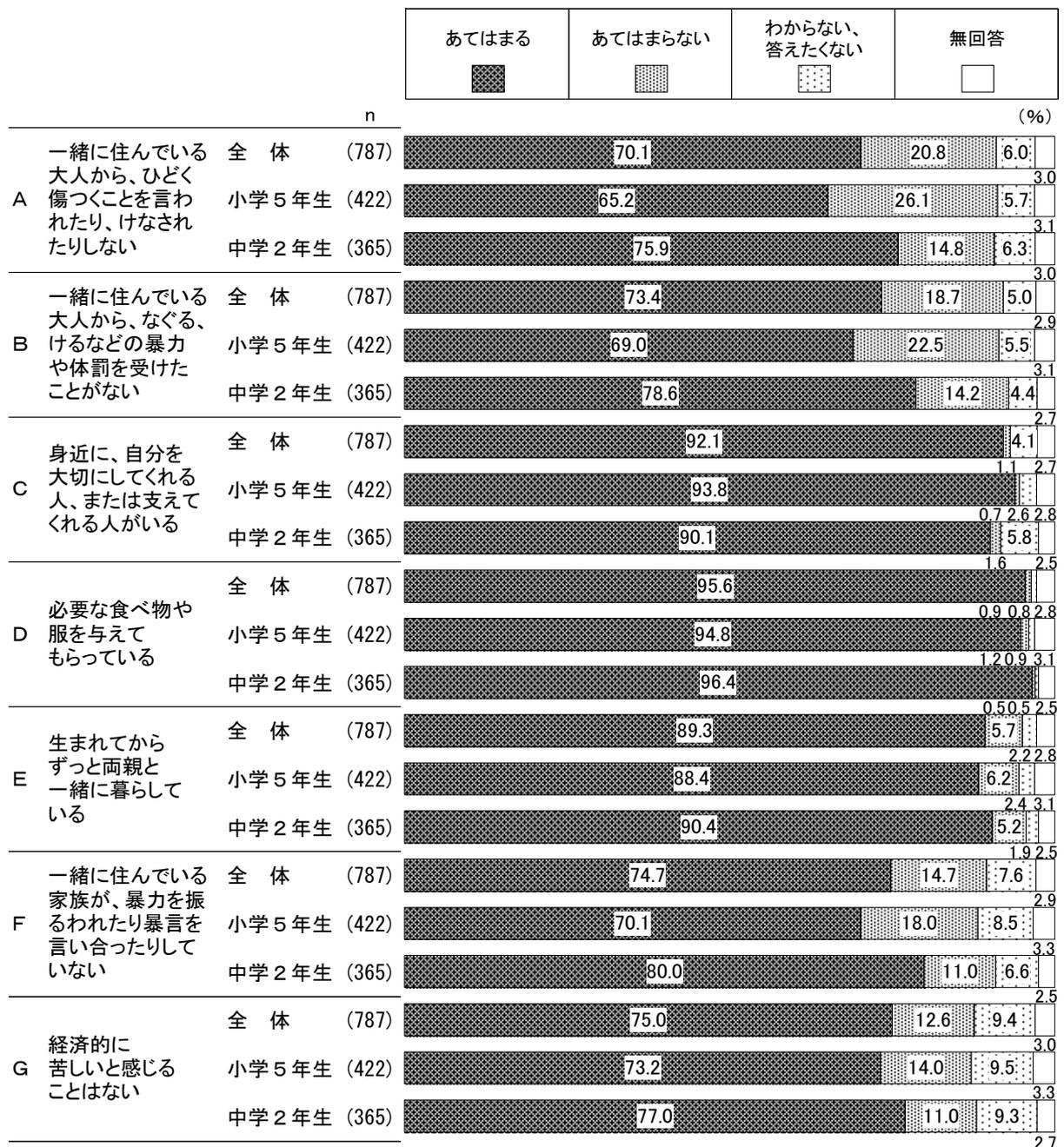


(9) 家庭生活について

問10 以下のそれぞれの質問について、「あてはまる」「あてはまらない」「わからない、答えたくない」のどれかから回答してください。A～Gそれぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。

家庭生活について、「あてはまる」は、全体では“必要な食べ物や服を与えてもらっている”で95.6%と最も高く、次いで“身近に、自分を大切にしてくれる人、または支えてくれる人がいる”で92.1%、 “生まれてからずっと両親と一緒に暮らしている”で89.3%となっている。

一方、「あてはまらない」は、全体では“一緒に住んでいる大人から、ひどく傷つくことを言われたり、けなされたりしない”で20.8%と最も高く、次いで“一緒に住んでいる大人から、なぐる、けるなどの暴力や体罰を受けたことがない”で18.7%、“一緒に住んでいる家族が、暴力を振るわれたり暴言を言い合ったりしていない”で14.7%となっている。

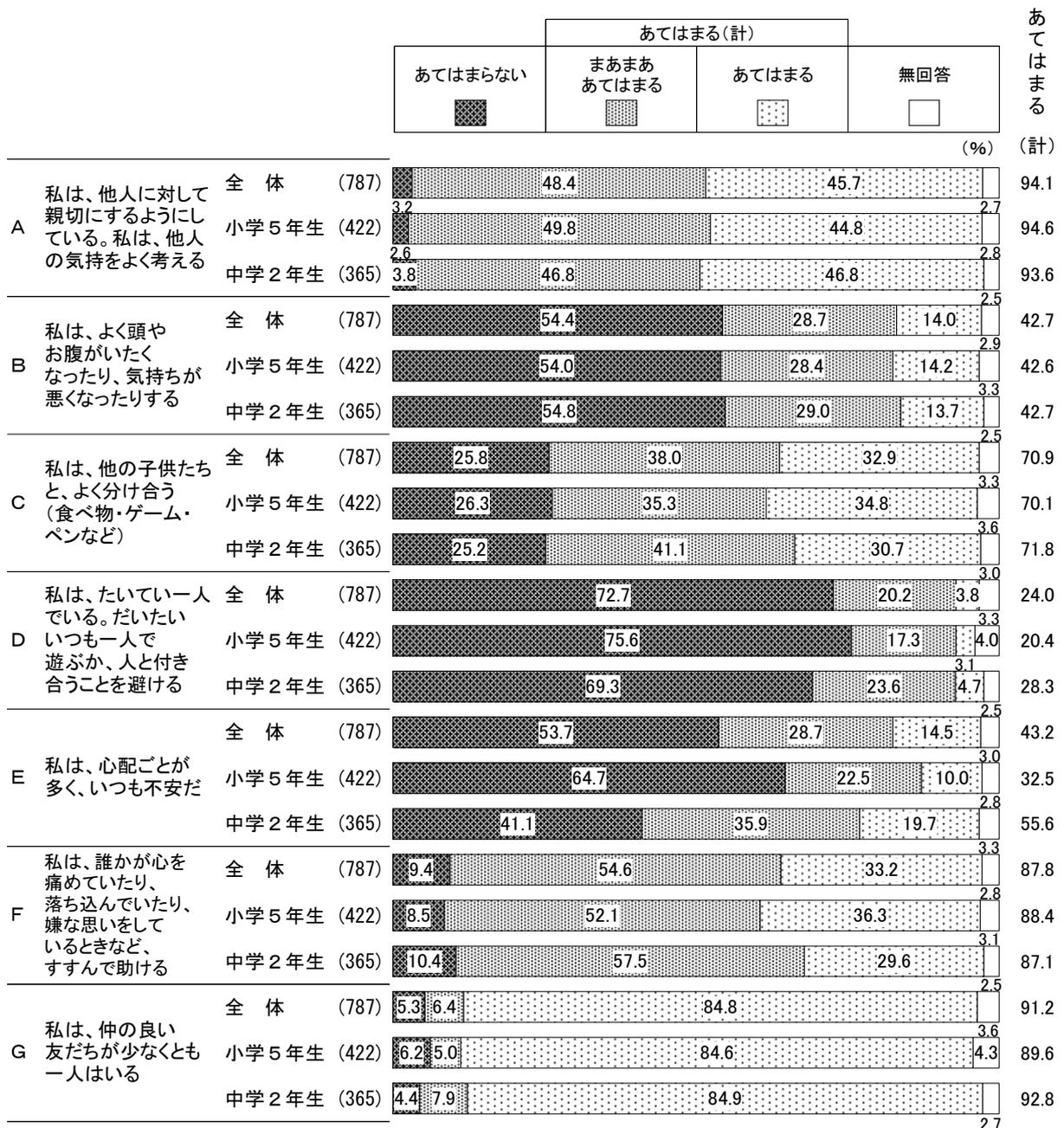


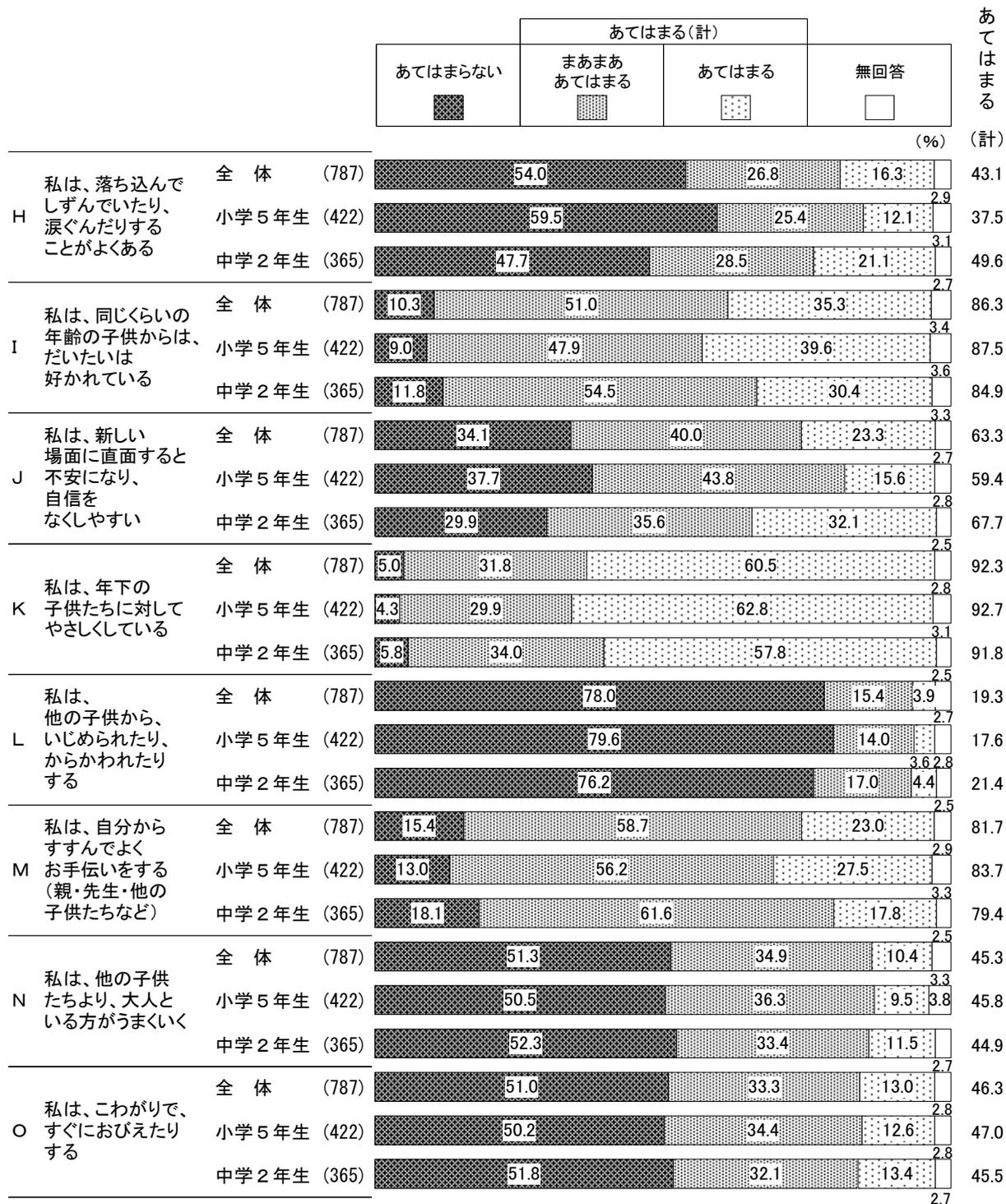
(10) 日常生活について

問11 以下のそれぞれの質問について、「あてはまらない」「まあまああてはまる」「あてはまる」のどれかから回答してください。答えに自信がなくても、あるいは、その質問がばからしいと思えたとしても、全部の質問に答えてください。あなたのここ半年くらいのことを考えて答えてください。A～Oそれぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。

日常生活について、「あてはまらない」は、全体では“私は、他の子供から、いじめられたり、からかわれたりする”で78.0%と最も高く、次いで“私は、たいてい一人でいる。だいたいいつも一人で遊ぶか、人と付き合うことを避ける”で72.7%となっている。

一方、「まあまああてはまる」と「あてはまる」を合わせた『あてはまる(計)』は、全体では“私は、他人に対して親切にするようにしている。私は、他人の気持をよく考える”で94.1%と最も高く、次いで“私は、年下の子供たちに対してやさしくしている”で92.3%となっている。



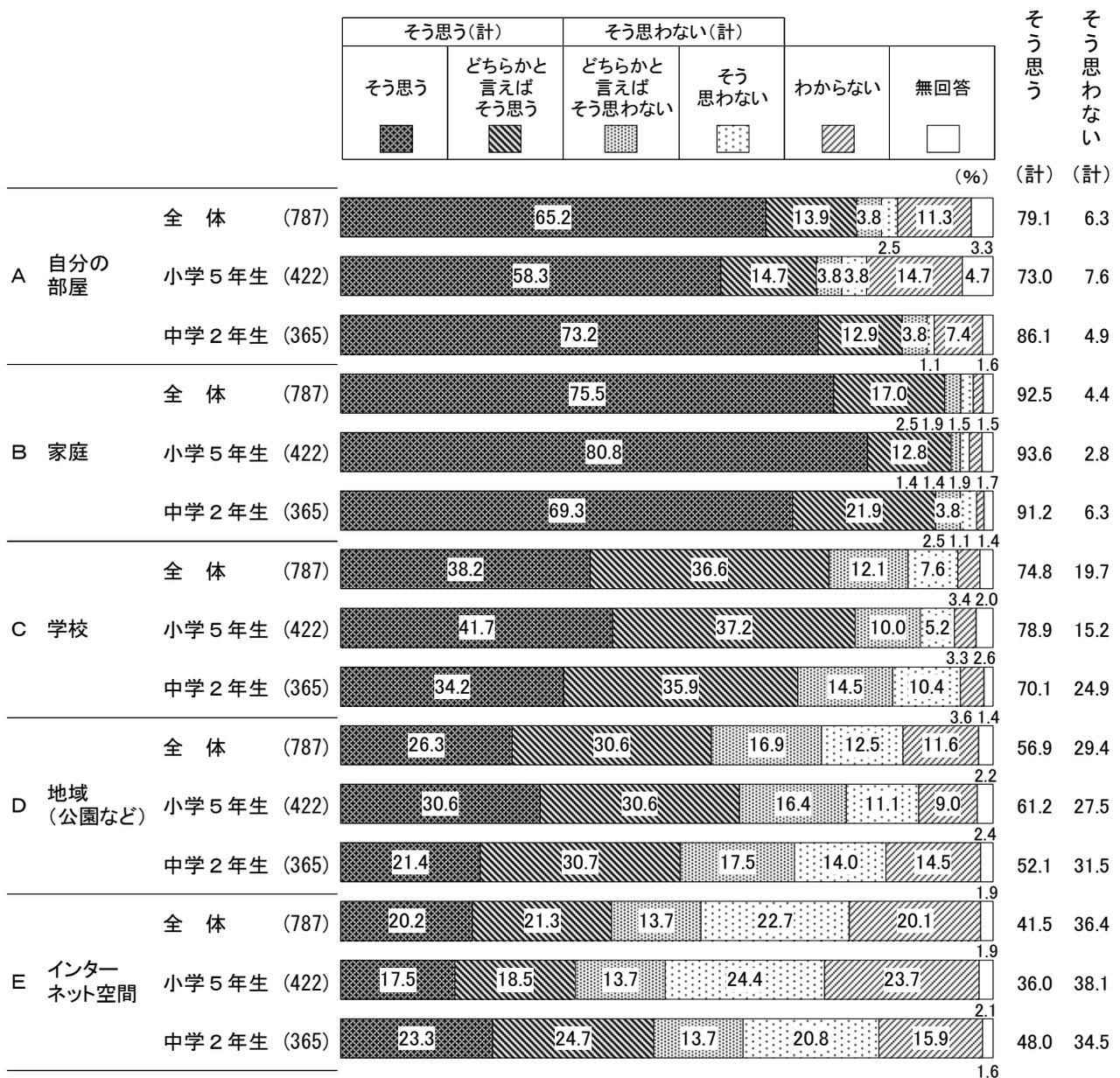


(11) 安心できる居場所

問12 次の場所は、あなたの居場所（安心できる場所）になっていますか。（A～Eそれぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください）

安心できる居場所について、「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」を合わせた『そう思う（計）』は、全体では“家庭”で92.5%と最も高く、次いで“自分の部屋”で79.1%となっている。

一方、「どちらかと言えばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない（計）』は、全体では“インターネット空間”で36.4%と最も高く、次いで“地域（公園など）”で29.4%となっている。

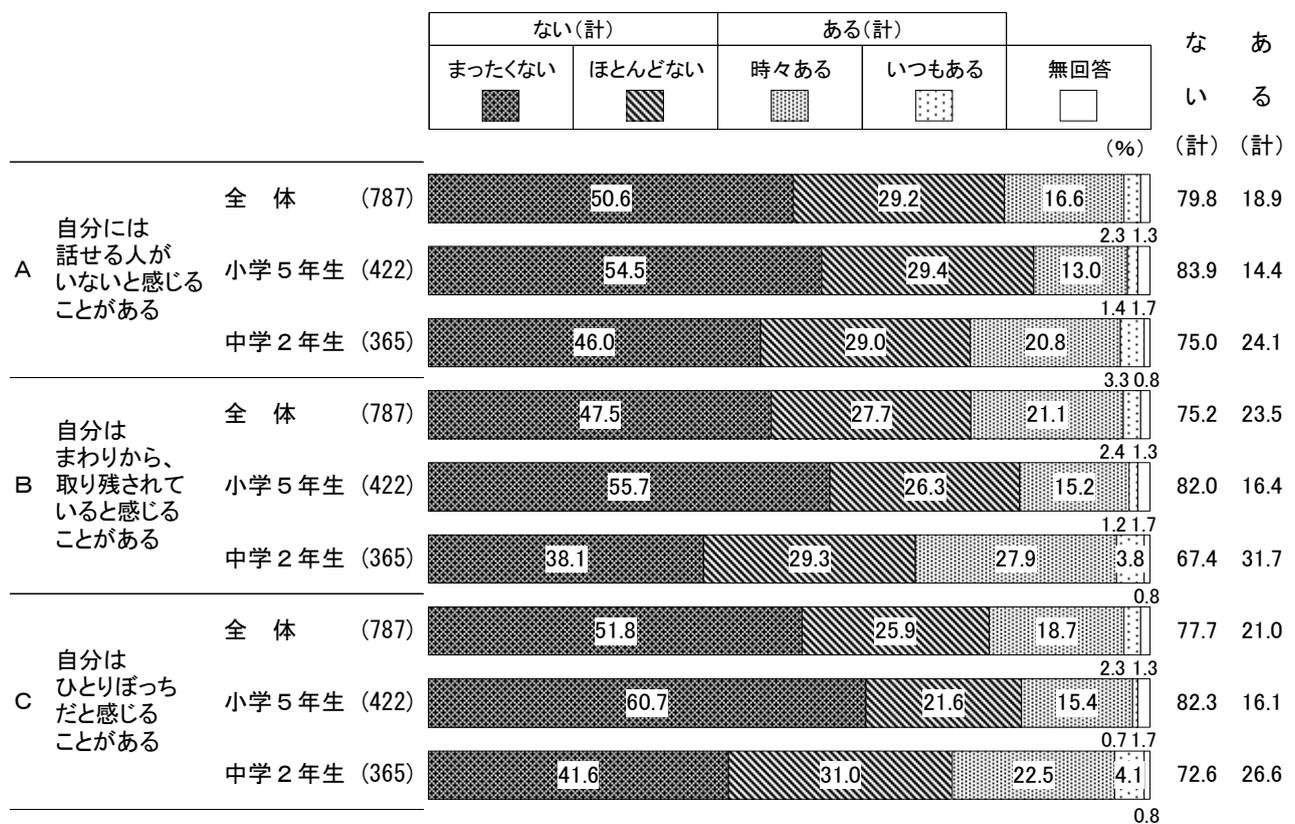


(12) 孤独感について

問13 あなたが次の内容について、どれくらい感じていますか。(A～Cそれぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください)

孤独感について、「まったくない」と「ほとんどない」を合わせた『ない(計)』は、全体では“自分には話せる人がいないと感じることがある”で79.8%と最も高く、次いで“自分はひとりぼっちだと感じることがある”で77.7%となっている。

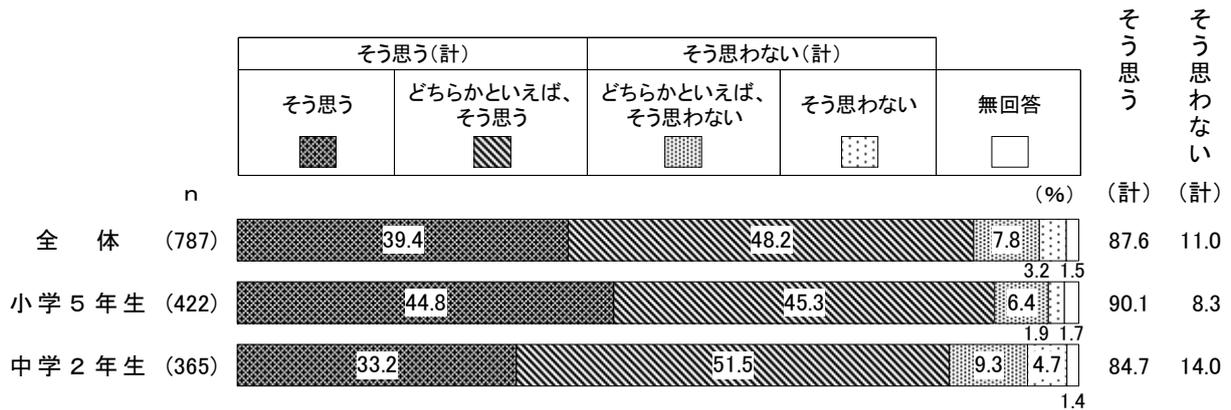
一方、「時々ある」と「いつもある」を合わせた『ある(計)』は、全体では“自分はまわりから、取り残されていると感じることがある”で23.5%と最も高く、次いで“自分はひとりぼっちだと感じることがある”で21.0%となっている。



(13) 「社会のために役立つことをしたい」と思うか

問14 あなたは、「社会のために役立つことをしたい」と思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

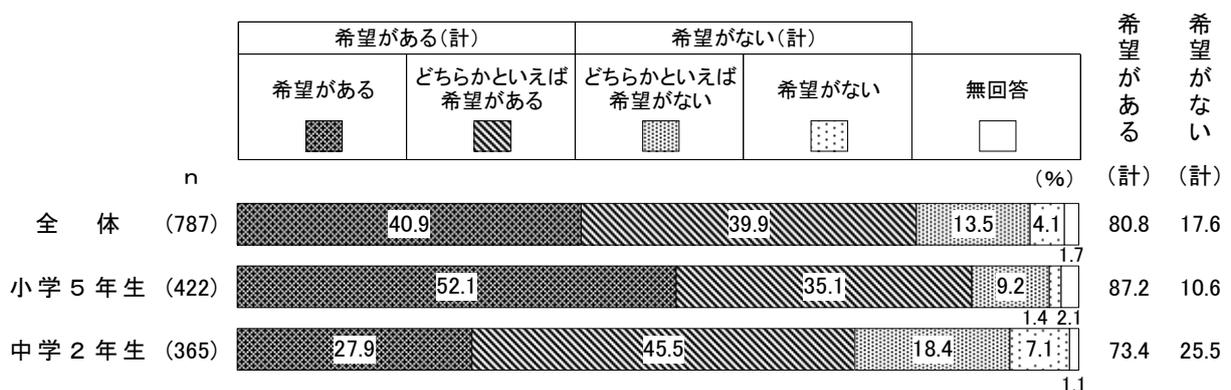
「社会のために役立つことをしたい」と思うかは、全体では「そう思う」(39.4%)と「どちらかといえば、そう思う」(48.2%)を合わせた『そう思う(計)』は87.6%となっている。一方、「どちらかといえば、そう思わない」(7.8%)と「そう思わない」(3.2%)を合わせた『そう思わない(計)』は11.0%となっている。



(14) 将来について明るい希望の有無

問15 あなたは、自分の将来について明るい希望を持っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

将来について明るい希望の有無は、全体では「希望がある」(40.9%)と「どちらかといえば希望がある」(39.9%)を合わせた『希望がある(計)』は80.8%となっている。一方、「どちらかといえば希望がない」(13.5%)と「希望がない」(4.1%)を合わせた『希望がない(計)』は17.6%となっている。

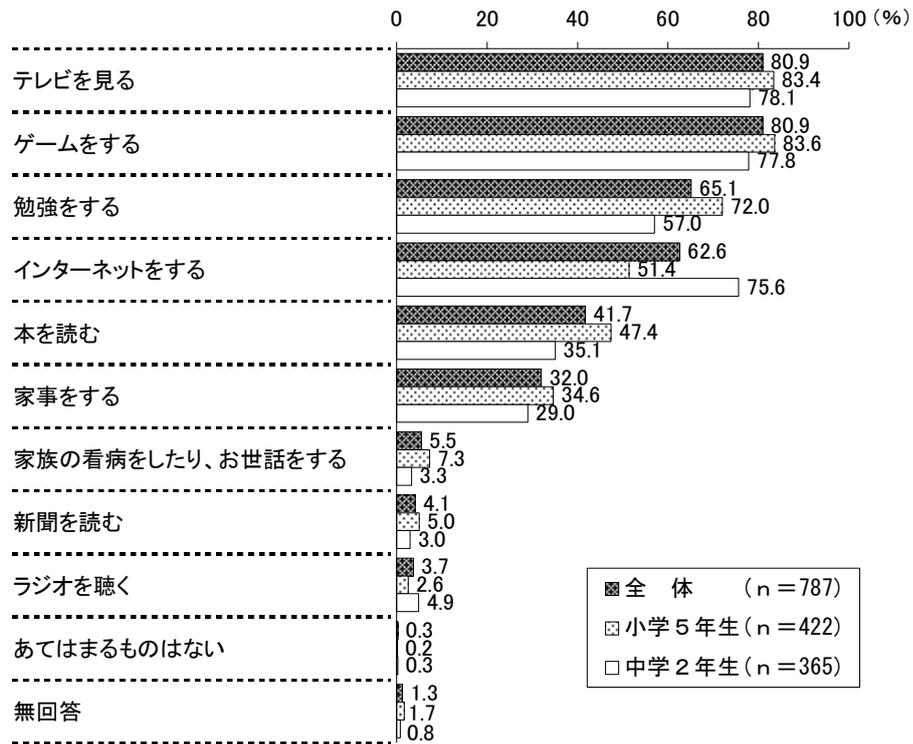


(15) 家での時間の使い方

問16 家にいるときは、どのようなことに時間を使っていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

家での時間の使い方は、全体では「テレビを見る」と「ゲームをする」がともに80.9%で高く、次いで「勉強をする」が65.1%、「インターネットをする」が62.6%となっている。

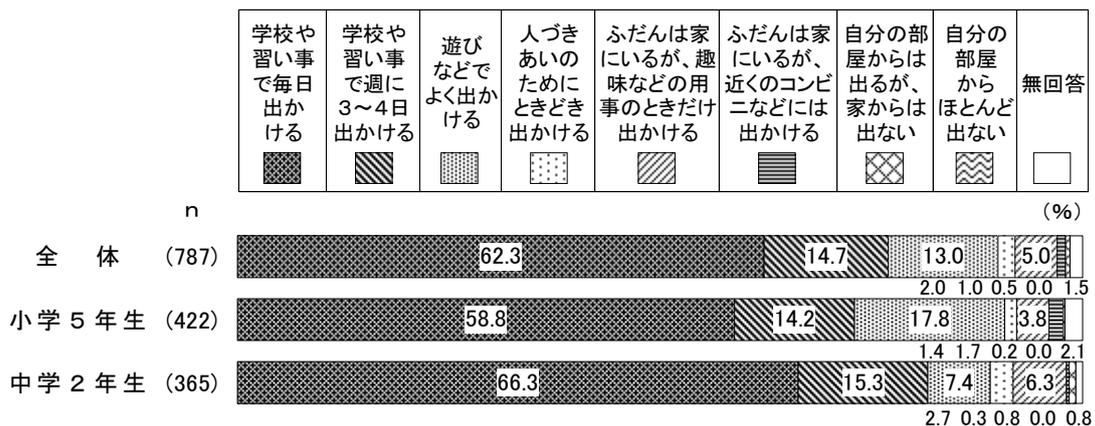
小学5年生では「ゲームをする」が83.6%で最も高く、中学2年生では「テレビを見る」が78.1%で最も高くなっている。



(16) 外出の頻度

問17 あなたは、ふだんどのくらい外に出ますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

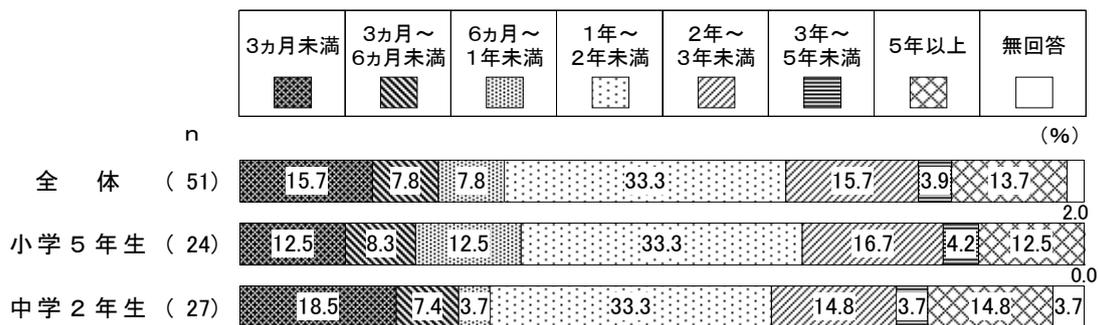
外出の頻度は、全体では「学校や習い事で毎日出かける」が62.3%で最も高く、次いで「学校や習い事で週に3～4日出かける」が14.7%、「遊びなどでよく出かける」が13.0%となっている。



(17) 現在の外出状況になってからの期間

問18 【問17で「ふだんは家にいるが、趣味などの用事の時だけ出かける」「ふだんは家にいるが、近くのコンビニなどには出かける」「自分の部屋からは出るが、家からは出ない」「自分の部屋からほとんど出ない」を選んだ方のみ、お答えください】
 あなたの外出状況が今のようになってから、どれくらいたちますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

現在の外出状況になってからの期間は、全体では「1年～2年未満」が33.3%で最も高く、次いで「3ヵ月未満」と「2年～3年未満」がともに15.7%となっている。

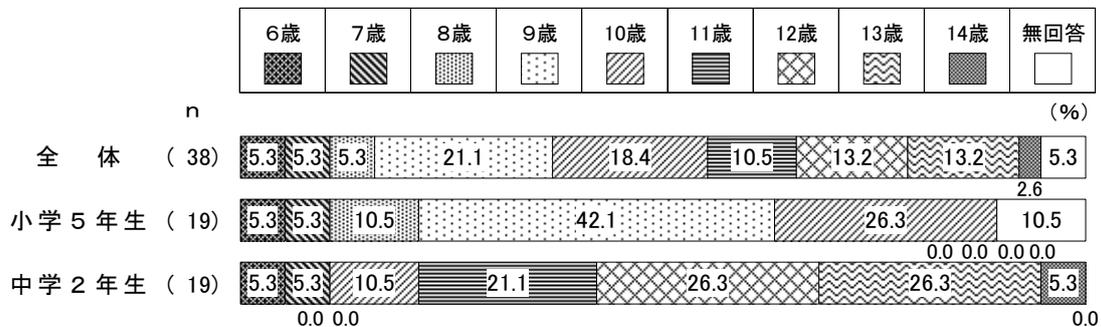


(18) 現在の外出状況になった年齢

問19 【問18で「6ヵ月以上」を選んだ方のみ、お答えください】
 あなたの外出状況が今のようになったのは、いくつの頃ですか。

現在の外出状況になった年齢は、全体では「9歳」が21.1%で最も高く、次いで「10歳」が18.4%、「12歳」と「13歳」がともに13.2%となっている。

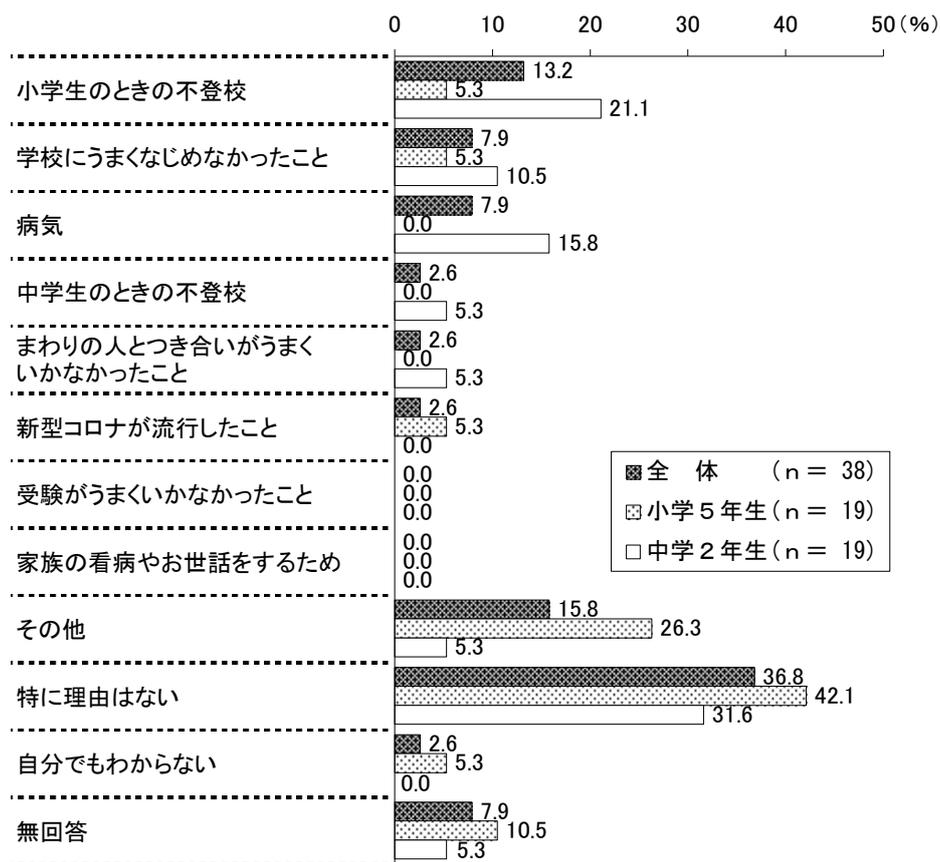
小学5年生では「9歳」が42.1%で最も高く、中学2年生では「12歳」と「13歳」がともに26.3%で高くなっている。



(19) 現在の外出状況になった理由

問20 あなたの外出状況が今のようになった主な理由は何ですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

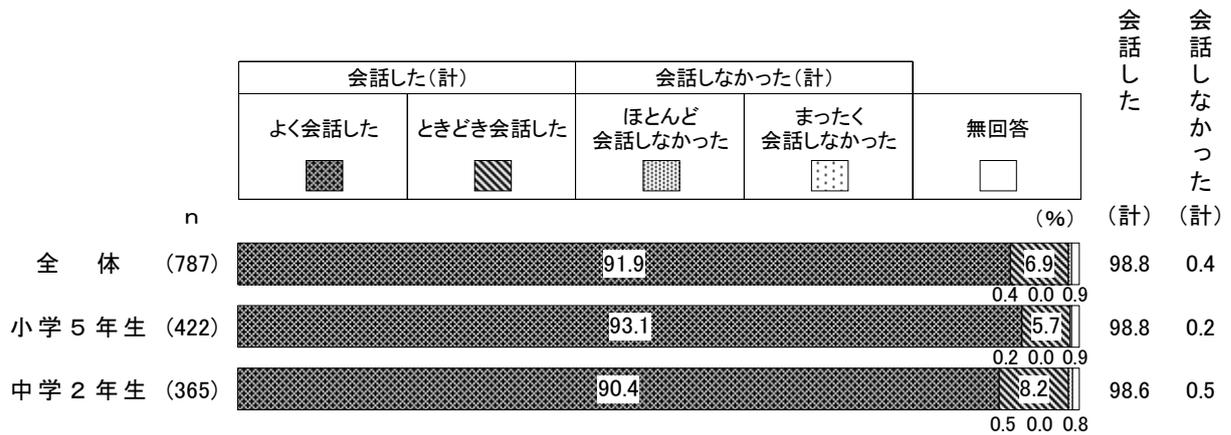
現在の外出状況になった理由は、全体では「特に理由はない」が36.8%で最も高く、次いで「小学生のときの不登校」が13.2%、「学校にうまくなじめなかったこと」と「病気」がともに7.9%となっている。



(20) 最近6ヵ月間の家族以外の人との会話

問21 最近6ヵ月間に、家族以外の人と会話しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

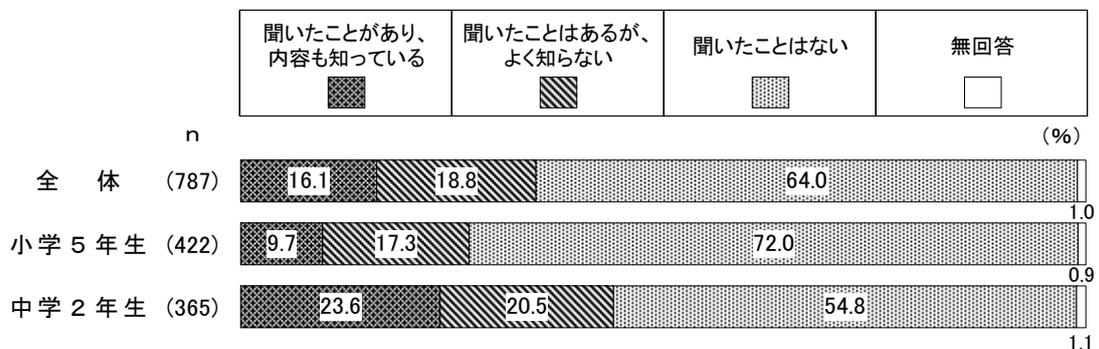
最近6ヵ月間の家族以外の人との会話は、全体では「よく会話した」(91.9%)と「ときどき会話した」(6.9%)を合わせた『会話した(計)』は98.8%となっている。一方、「ほとんど会話しなかった」(0.4%)と「まったく会話しなかった」(0.0%)を合わせた『会話しなかった(計)』は0.4%となっている。



(21) ヤングケアラーの認知度

問22 ヤングケアラーという言葉をご存知ですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

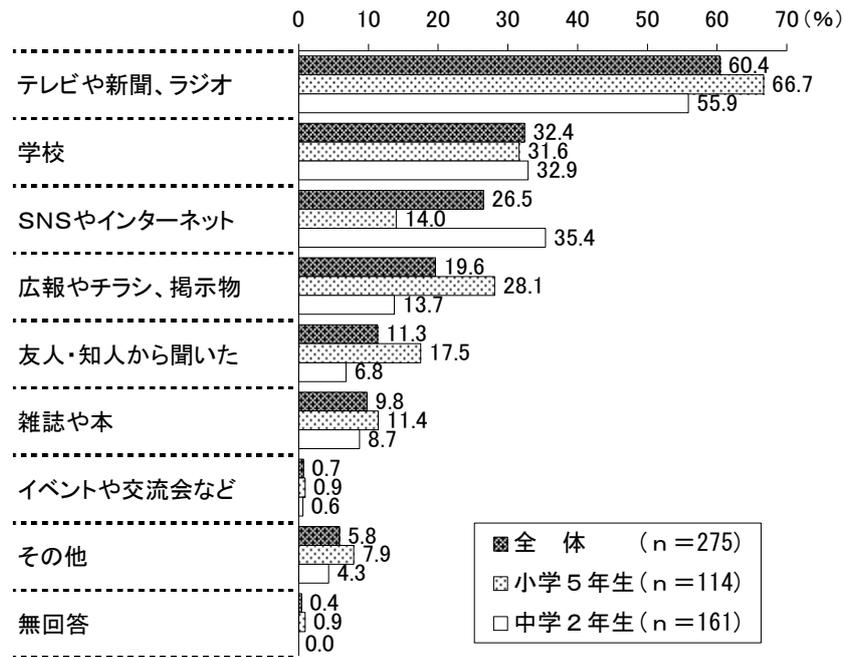
ヤングケアラーの認知度は、全体では「聞いたことがあり、内容も知っている」が16.1%、「聞いたことはあるが、よく知らない」は18.8%となっている。一方、「聞いたことはない」は64.0%となっている。



(22) ヤングケアラーを知ったきっかけ

問22-1 問22で「聞いたことがあり、内容も知っている」「聞いたことはあるが、よく知らない」と回答した方にお聞きします。「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

ヤングケアラーを知ったきっかけは、全体では「テレビや新聞、ラジオ」が60.4%で最も高く、次いで「学校」が32.4%、「SNSやインターネット」が26.5%、「広報やチラシ、掲示物」が19.6%となっている。

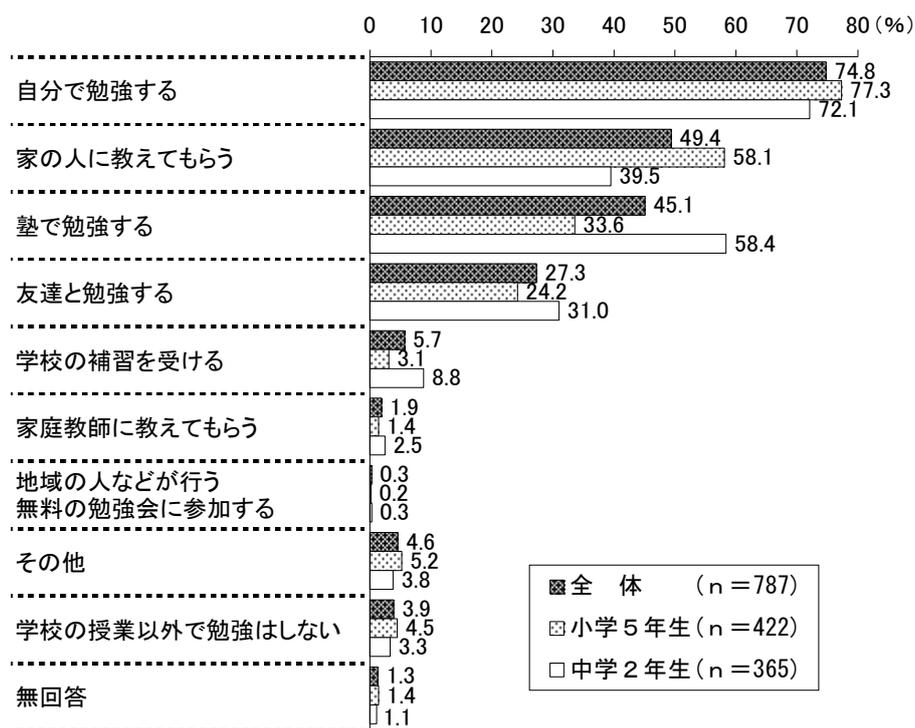


3. 学校での生活状況

(1) 学校の授業以外での学習状況

問23 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。※勉強には学校の宿題もふくみます。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

学校の授業以外での学習状況は、全体では「自分で勉強する」が74.8%で最も高く、次いで「家の人に教えてもらう」が49.4%、「塾で勉強する」が45.1%、「友達と勉強する」が27.3%となっている。

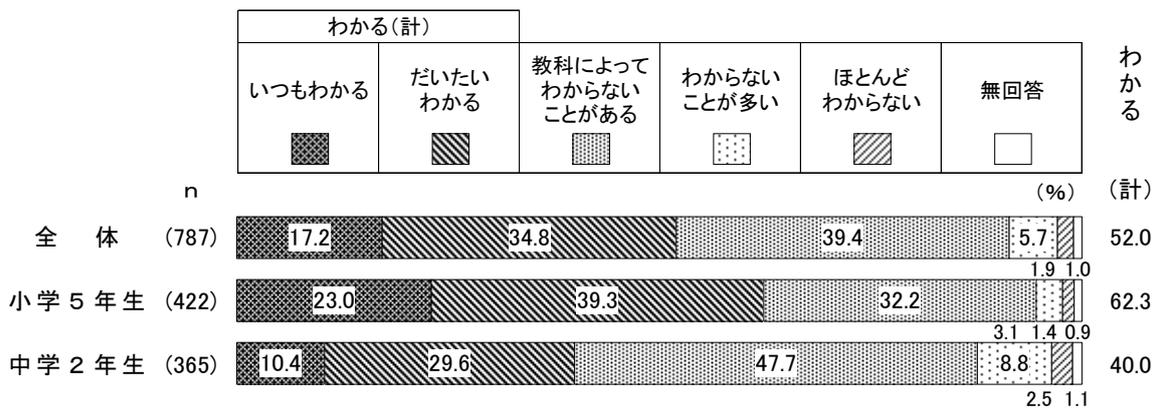


(2) 学校の授業でのわからないことの有無

問24 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。1つに○をつけてください。

学校の授業でのわからないことの有無は、全体では「いつもわかる」(17.2%)と「だいたいわかる」(34.8%)を合わせた『わかる(計)』は52.0%となっている。一方、「教科によってわからないことがある」が39.4%、「わからないことが多い」は5.7%、「ほとんどわからない」は1.9%となっている。

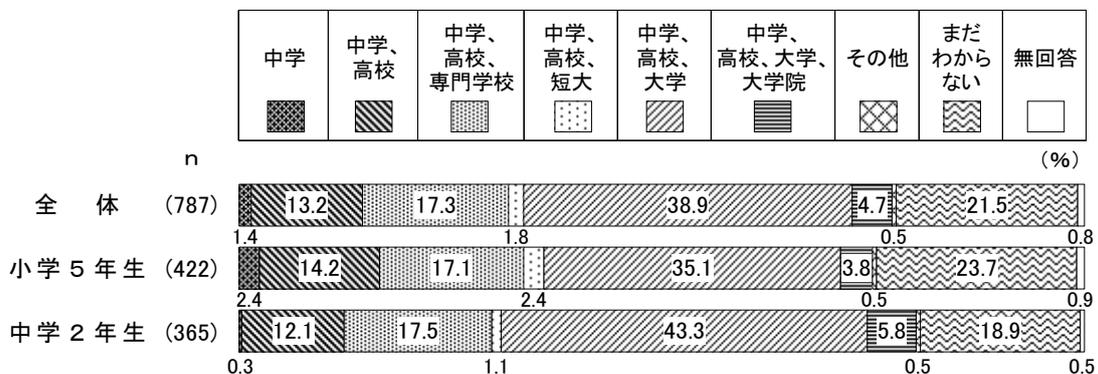
小学5年生では「だいたいわかる」が39.3%で最も高く、中学2年生では「教科によってわからないことがある」が47.7%で最も高くなっている。



(3) 希望する進学先

問25 あなたは、将来どの学校に進学したいですか。1つに○をつけてください。

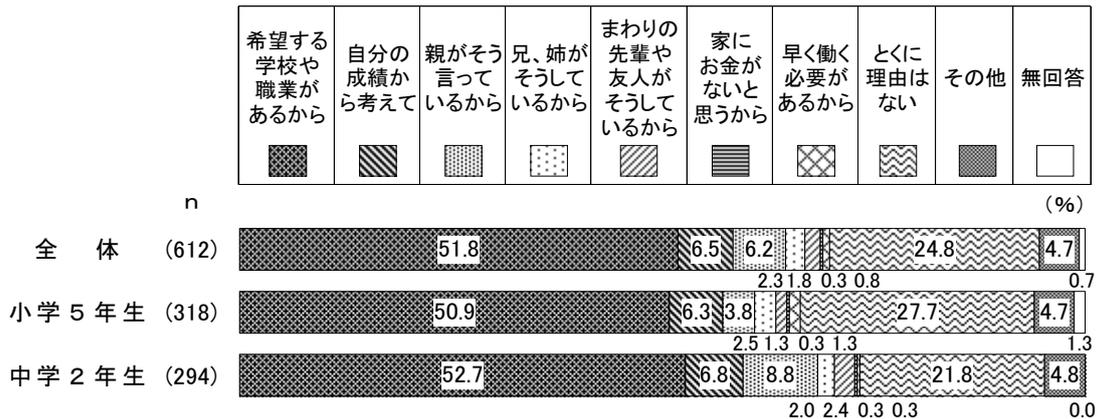
希望する進学先は、全体では「中学、高校、大学」が38.9%で最も高く、次いで「中学、高校、専門学校」が17.3%、「中学、高校」が13.2%となっている。一方、「まだわからない」は21.5%となっている。



(4) 進学先の希望理由

問26 問25で「まだわからない」以外を選んだ場合、その理由は何ですか。1つに○をつけてください。

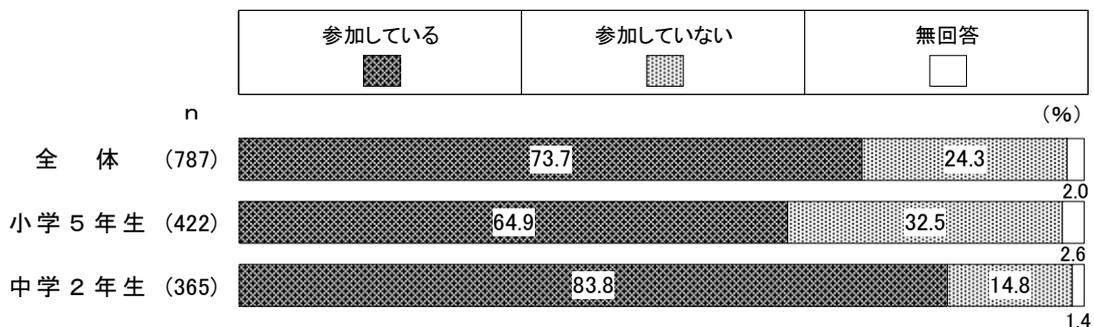
進学先の希望理由は、全体では「希望する学校や職業があるから」が51.8%で最も高く、次いで「自分の成績から考えて」が6.5%、「親がそう言っているから」が6.2%となっている。一方、「とくに理由はない」は24.8%となっている。



(5) 学校の部活動や地域のスポーツクラブ等への参加状況

問27 あなたは学校の部活動や地域のスポーツクラブ、文化クラブなどに参加していますか。1つに○をつけてください。

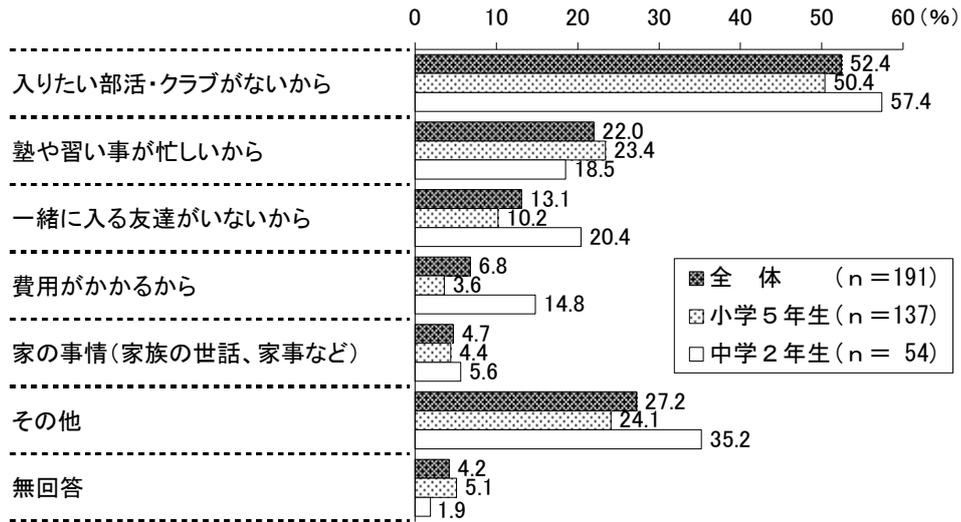
学校の部活動や地域のスポーツクラブ等への参加状況は、全体では「参加している」が73.7%、「参加していない」は24.3%となっている。



(6) 学校の部活動や地域のスポーツクラブ等に参加していない理由

問28 問27で「参加していない」を選んだ人にお聞きします。参加していない理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

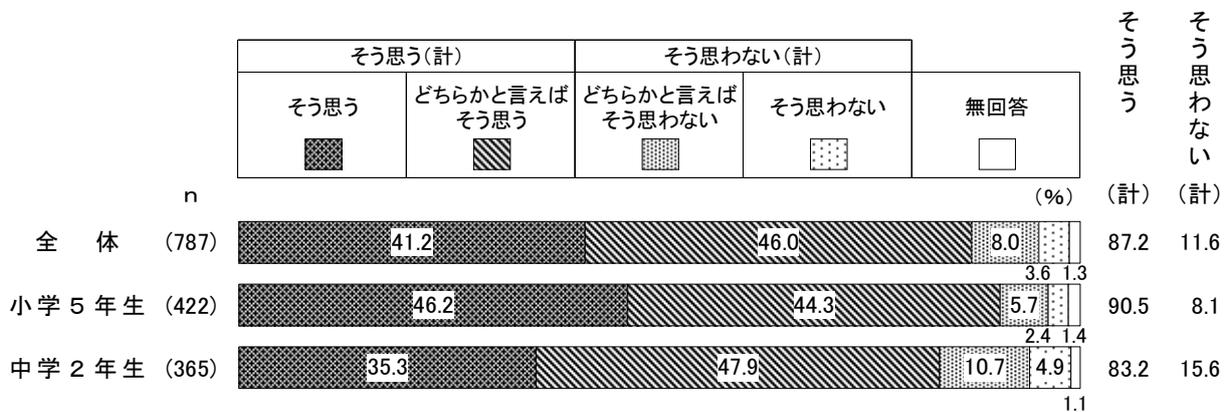
学校の部活動や地域のスポーツクラブ等に参加していない理由は、全体では「入りたい部活・クラブがないから」が52.4%で最も高く、次いで「塾や習い事が忙しいから」が22.0%、「一緒にいる友達がいないから」が13.1%、「費用がかかるから」が6.8%となっている。



(7) 社会のために役立つことをしたいと思うか

問29 あなたは社会のために役立つことをしたいと思いますか。1つに○をつけてください。

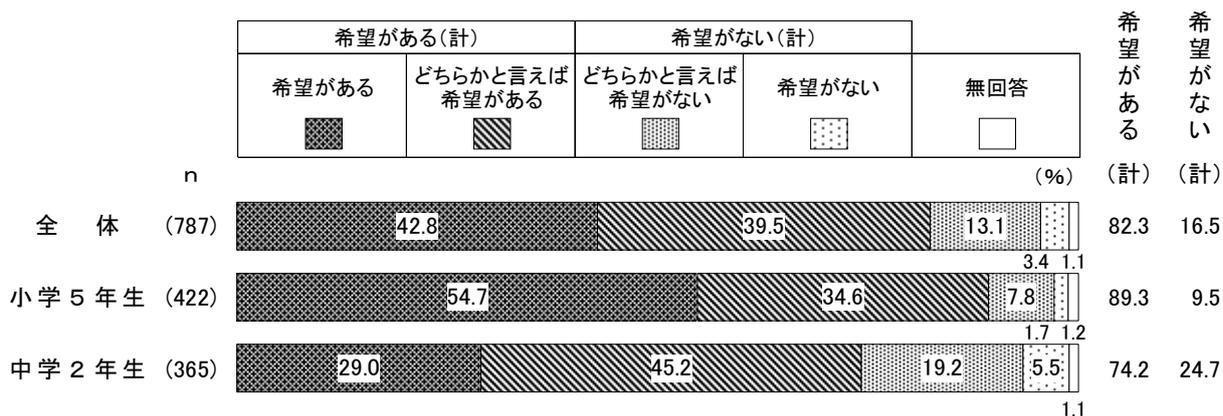
社会のために役立つことをしたいと思うかは、全体では「そう思う」(41.2%)と「どちらかと言えばそう思う」(46.0%)を合わせた『そう思う(計)』は87.2%となっている。一方、「どちらかと言えばそう思わない」(8.0%)と「そう思わない」(3.6%)を合わせた『そう思わない(計)』は11.6%となっている。



(8) 将来について明るい希望の有無

問30 あなたは自分の将来について明るい希望を持っていますか。1つに○をつけてください。

将来について明るい希望の有無は、全体では「希望がある」(42.8%)と「どちらかと言えば希望がある」(39.5%)を合わせた『希望がある(計)』は82.3%となっている。一方、「どちらかと言えば希望がない」(13.1%)と「希望がない」(3.4%)を合わせた『希望がない(計)』は16.5%となっている。



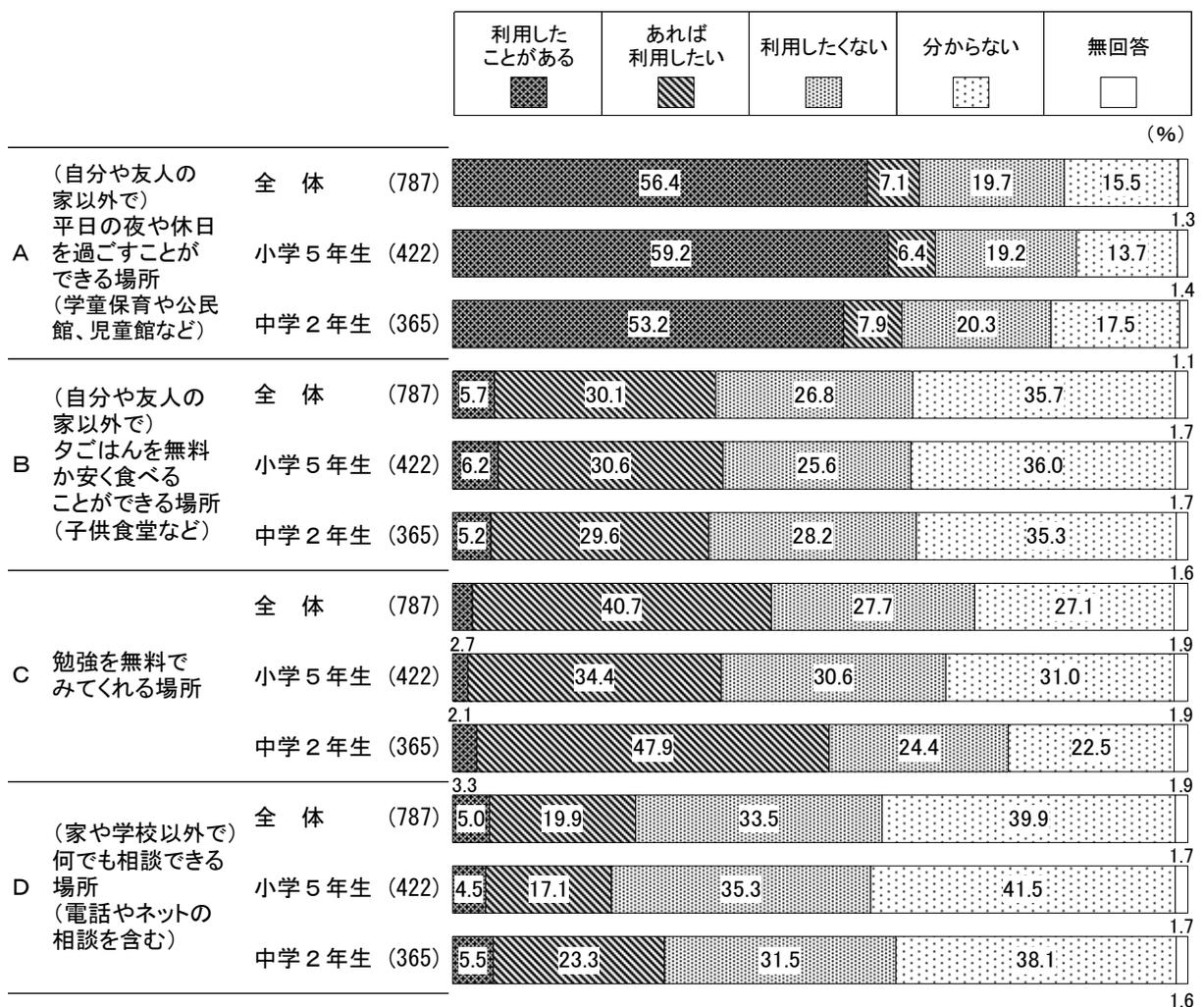
(9) 施設等の利用状況

問31 あなたは、次のA～Dのような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。A～Dそれぞれについて、1つに○をつけてください。

施設等の利用状況について、「利用したことがある」は、全体では“(自分や友人の家以外で) 平日の夜や休日を過ごすことができる場所 (学童保育や公民館、児童館など)”で56.4%と最も高く、次いで“(自分や友人の家以外で) 夕ごはんを無料か安く食べることができる場所 (子供食堂など)”で5.7%となっている。

また、「あれば利用したい」は、全体では“勉強を無料でみてくれる場所”で40.7%と最も高く、次いで“(自分や友人の家以外で) 夕ごはんを無料か安く食べることができる場所 (子供食堂など)”で30.1%となっている。

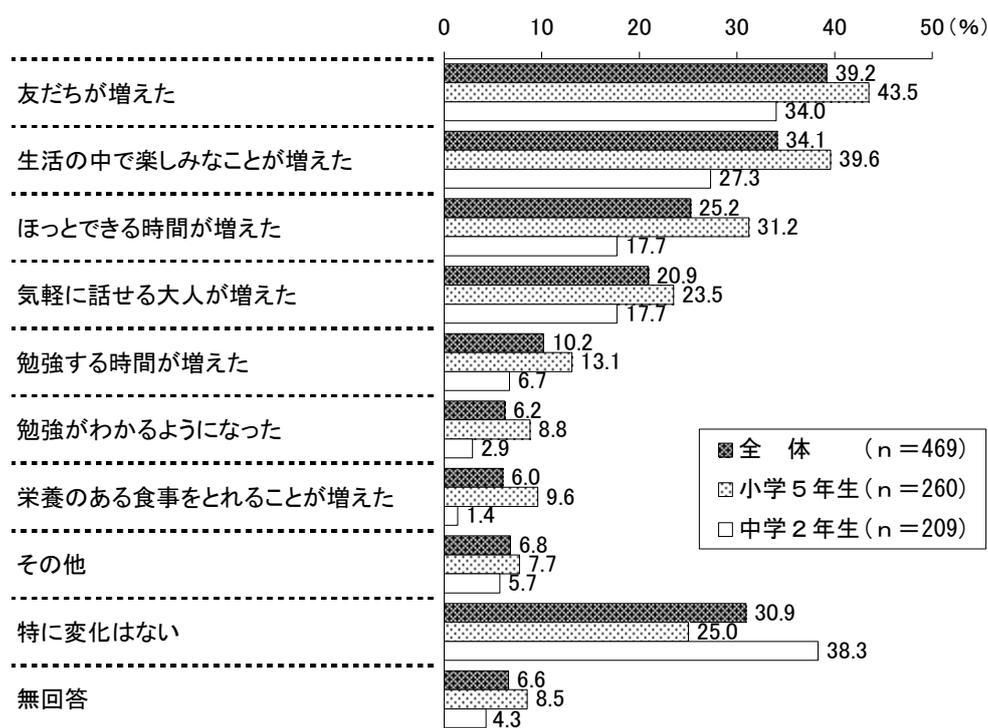
一方、「利用したくない」は、全体では“(家や学校以外で) 何でも相談できる場所 (電話やネットの相談を含む)”で33.5%と最も高く、次いで“勉強を無料でみてくれる場所”で27.7%となっている。



(10) 施設等を利用したことによる変化

問32 問31で、1つでも「利用したことがある」と答えた方にお聞きします。そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

施設等を利用したことによる変化は、全体では「友だちが増えた」が39.2%で最も高く、次いで「生活の中で楽しみなことが増えた」が34.1%、「ほっとできる時間が増えた」が25.2%、「気軽に話せる大人が増えた」が20.9%となっている。一方、「特に変化はない」は30.9%となっている。



厚木市子ども・子育て支援事業ニーズ調査
報告書
《概要版》
令和6年3月

発 行 厚木市

企画・編集 厚木市 こども未来部 こども育成課
〒243-8511 厚木市中町三丁目 17 番 17 号
電話 046 (225) 2262

調査協力 株式会社エスピー研